

# あいち文化芸術振興計画

2022

---

年次報告書 2020 年度

2021 年 10 月



## 目 次

◆ 年次報告書について	1
◆ 2020年度の主な施策の実施状況	2
新型コロナウイルス感染症に対応した文化芸術関連の主な取組	2
基本目標1 世界・未来へ“愛知発”の創造・発信	7
基本目標2 県民が等しく文化芸術に親しむことができる環境の整備	28
基本目標3 愛知の文化芸術のポテンシャルを活かした地域力の向上	40
◆ 数値目標の達成状況・評価	52
◆ まとめ	62
◆ 有識者意見	65

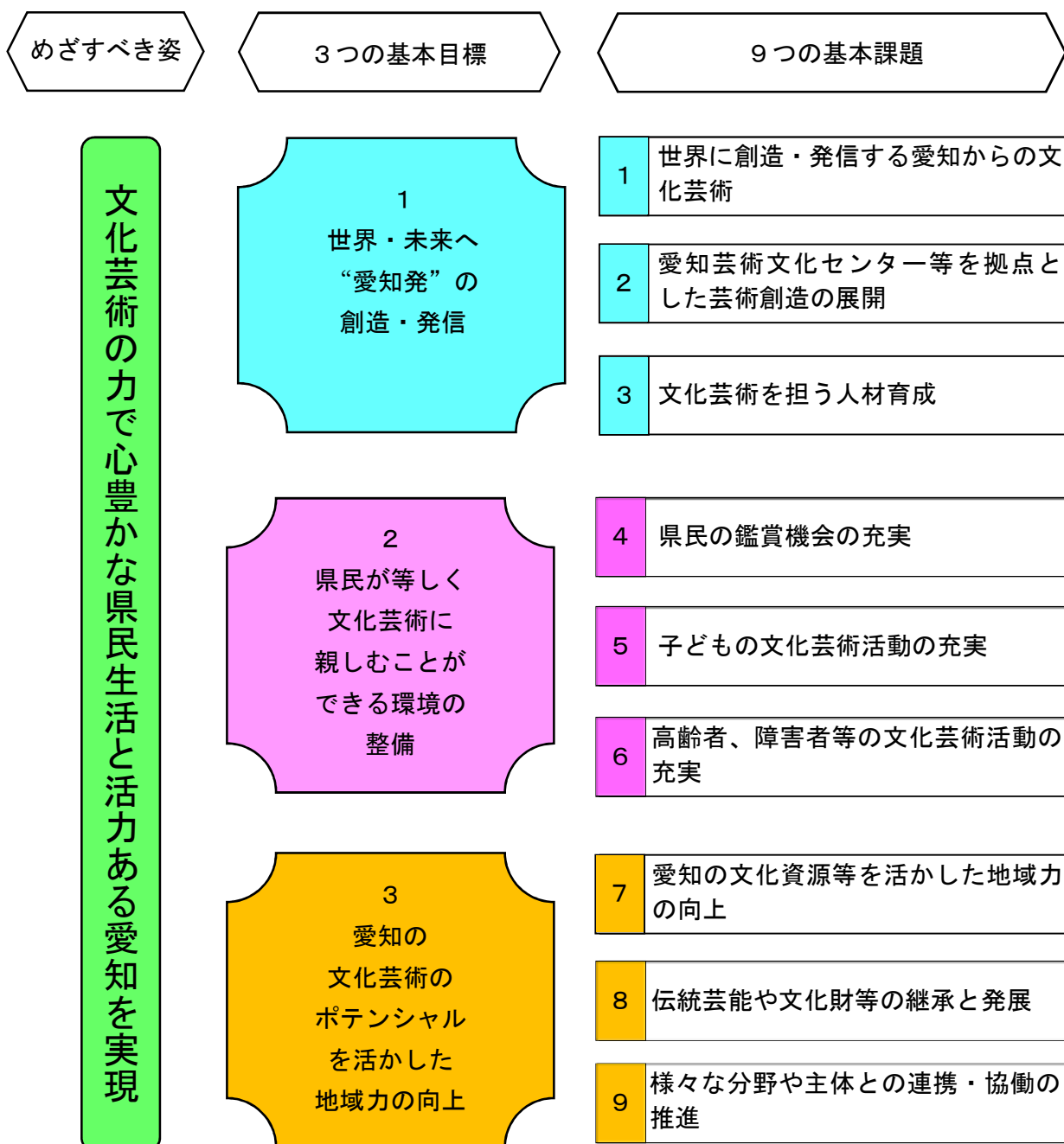
## 年次報告書について

県では、2018年7月に策定した「あいち文化芸術振興計画2022」（以下、「プラン」という。）において、めざすべき姿として「～文化芸術の力で心豊かな県民生活と活力ある愛知を実現～」を掲げ、この実現に向け、3つの基本目標と9つの基本課題を設定し、文化芸術の振興に取り組んでいます。

このプランに基づく取組については、毎年度、事業成果の評価・検証を行い、PDCAサイクルによる進捗管理を実施し、その結果を公表することとしています。

本書は、2020年度の取組についての年次報告書です。

## 計画の体系図



## 2020年度の主な施策の実施状況

ここでは、「あいち文化芸術振興計画 2022」で掲げた主な施策について、2020年度の実施状況を報告します。まず、始めに、計画想定時には、想定していなかった昨年度実施した新型コロナウイルス感染症への取組状況について報告します。

### 新型コロナウイルス感染症に対応した文化芸術関連の主な取組

2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な文化芸術関係のイベントが中止・延期された。その中で、県は2020年度において、文化芸術活動の継続を図るため、活動の場が減少した文化芸術活動関係者への本県独自の文化芸術活動応援金の交付や、愛知県芸術劇場の施設利用料金の50%減免などの支援を実施した。これらの取組は、単にコロナ禍での文化芸術活動の支援というだけでなく、今後の文化振興施策につながる有効な取組であったと考える。

#### ■主な取組の実施状況

##### ① 文化芸術活動応援金

・新型コロナウイルス感染症拡大による活動自粛要請等の影響により、文化芸術活動の継続が懸念される愛知県の文化芸術活動関係者に対し、今後の活動継続を支援するため、2020年6月17日から2021年2月28日まで申請を受け、応援金を交付した。

##### ② アーティスト等緊急支援事業

・活動の機会が減少したアーティストや、展示・設営など作品制作に関わる様々な分野のクリエイターに活動の場を提供し、活動継続に係る支援を行った。また、映像作品を発信することにより、県民に文化芸術作品の鑑賞機会を提供するとともに、文化施設の魅力を発信するため、県内文化施設の所蔵作品等を題材とした作品の制作をアーティストに依頼し、その映像作品について、2021年2月1日から3月21日まで、特設ウェブサイトを通したオンライン配信(AICHI5ONLINE)を実施した。

##### ③ 伝統文化活動緊急支援事業

・公演の中止等で活動の機会が減少した伝統文化活動者への表現の機会を提供し、また、公演活動を支える舞台技術者等の活動を支援し、加えて、その作品を発信することにより、県民に伝統文化の魅力を発信するため、県内で長く継承されている伝統的な文化芸術活動の魅力を伝える映像作品を制作し、地元テレビ局で2021年1月9日から3月15日まで番組として放映するとともに、2021年1月10日からオンライン配信を実施した。

##### ④ 文化活動事業費補助金の拡充

・県内文化芸術関係団体の文化活動事業の支援するため、広域的な事業や先駆的な事業、文化のすそ野を広げ地域に貢献している事業、また伝統文化の後継者育成事業に対し補助金を交付する「愛知県文化活動事業費補助金」について、採択件数を増やし、新型コロナウイルス感染症の影響により無観客・中止公演となった事業についても補助対象事業となるよう拡充した。

##### ⑤ 美術品等取得基金の特別枠の設置

・新型コロナウイルス感染症の影響により、作家・アーティストが作品を発表し、収入を得る機会が減少していることから、美術品等取得基金に2020年度から2022年度の3年間で1億円の特別枠を設け、若手作家の現代美術作品を重点的に購入することとし、2020年度の購入作品について、一部を除き、美術館のコレクション展で公開した。

##### ⑥ 県図書館における電子書籍貸出サービスの導入

・新型コロナウイルス感染症の影響により「新しい生活様式」が求められる中で、非来館型サービスの充実を図るため、2021年1月26日から電子書籍サービスを導入した(5,529冊)。

##### ⑦ 施設利用料金の減免等(現在も継続中)

・県芸術劇場の施設利用料金について、2020年7月1日の利用から文化芸術活動の事業継続を支援するため50%減免を実施した。また、施設利用料金について、2020年12月1日申請分から支払期限を、施設利用日の6か月前から1か月前に変更した。

- ・県芸術劇場、県文化情報センター及び県美術館において、2020年2月20日からの利用について新型コロナウイルス感染症の拡大防止を理由に施設利用を中止する場合は、事前に納付のあった施設利用料を全額還付することとした。

⑧ あいち山車まつり活性化事業

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により活動の縮小を余儀なくされている山車まつり保存団体に対し、あいち山車まつり緊急支援金を交付した。

⑨ 文化庁活動感染症対策事業費補助金

- ・県内の高等学校文化部活動の県大会等において、新型コロナウイルス感染症予防対策を十分に講じるための経費を支援した。

■関連事業の取組実績

取組内容	実績																											
① 文化芸術活動応援金	<table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>売上が前年同月比で50%以上減少している県内の文化芸術関係の法人、個人事業者</td> </tr> <tr> <td>交付額(定額)</td> <td>法人：20万円、個人事業者：10万円</td> </tr> <tr> <td>申請受付期間</td> <td>2020.6.17～2021.2.28</td> </tr> <tr> <td>交付状況</td> <td>法人：653件、個人事業者：3,660件</td> </tr> </table>	対象者	売上が前年同月比で50%以上減少している県内の文化芸術関係の法人、個人事業者	交付額(定額)	法人：20万円、個人事業者：10万円	申請受付期間	2020.6.17～2021.2.28	交付状況	法人：653件、個人事業者：3,660件																			
対象者	売上が前年同月比で50%以上減少している県内の文化芸術関係の法人、個人事業者																											
交付額(定額)	法人：20万円、個人事業者：10万円																											
申請受付期間	2020.6.17～2021.2.28																											
交付状況	法人：653件、個人事業者：3,660件																											
② アーティスト等緊急支援事業 「AICHI×ONLINE」  劇団うりんこ 映像プロジェクト  三浦よし木 読みきり漫画	・作品概要 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な参加アーティスト等</th> <th>作品名</th> <th>主な連携文化施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>劇団うりんこ ／うりんこ劇場(劇団)</td> <td>映像 「ベイビーシアター『MARIMO』」</td> <td>愛知県美術館 (名古屋市東区)</td> </tr> <tr> <td>小坂井 大輔(歌人) 始め9名</td> <td>短歌集制作 「ここでのこと」</td> <td>書店「ON READING」 (名古屋市千種区)</td> </tr> <tr> <td>武部 敬俊 (編集者)</td> <td>ライブ&amp;アーカイブ制作 「LIVERARY LIVE RALLY “Extra” —YOUR CITY IS GOOD—」</td> <td>ダイヤモンドホール (名古屋市中区)</td> </tr> <tr> <td>玉山 拓郎 (現代美術作家)</td> <td>オンライン・インスタレーション 「When I was born when I was born」</td> <td>愛知県美術館 (名古屋市東区)</td> </tr> <tr> <td>西尾 佳織(劇作家) 河村 美雪(映像作家)</td> <td>映像 「この町に住んでいる絵に会いにく」</td> <td>豊橋市美術博物館 (豊橋市)</td> </tr> <tr> <td>西田 雅希(キュレーター) 黒川 岳(現代美術作家)</td> <td>サウンド・インスタレーション 「甕々の声」</td> <td>愛知県陶磁美術館 (瀬戸市) とこなめ陶の森資料館 (常滑市)</td> </tr> <tr> <td>三浦 よし木 (漫画家/美術家)</td> <td>読みきり漫画 「花をうめる(原作:新美南吉)」</td> <td>新美南吉記念館 (半田市)</td> </tr> <tr> <td>明貫 紘子 (キュレーター)</td> <td>アーカイブ制作 「浮遊するアーカイブズ倉庫:愛知県の</td> <td>愛知県美術館 (名古屋市東区)</td> </tr> </tbody> </table>	主な参加アーティスト等	作品名	主な連携文化施設	劇団うりんこ ／うりんこ劇場(劇団)	映像 「ベイビーシアター『MARIMO』」	愛知県美術館 (名古屋市東区)	小坂井 大輔(歌人) 始め9名	短歌集制作 「ここでのこと」	書店「ON READING」 (名古屋市千種区)	武部 敬俊 (編集者)	ライブ&アーカイブ制作 「LIVERARY LIVE RALLY “Extra” —YOUR CITY IS GOOD—」	ダイヤモンドホール (名古屋市中区)	玉山 拓郎 (現代美術作家)	オンライン・インスタレーション 「When I was born when I was born」	愛知県美術館 (名古屋市東区)	西尾 佳織(劇作家) 河村 美雪(映像作家)	映像 「この町に住んでいる絵に会いにく」	豊橋市美術博物館 (豊橋市)	西田 雅希(キュレーター) 黒川 岳(現代美術作家)	サウンド・インスタレーション 「甕々の声」	愛知県陶磁美術館 (瀬戸市) とこなめ陶の森資料館 (常滑市)	三浦 よし木 (漫画家/美術家)	読みきり漫画 「花をうめる(原作:新美南吉)」	新美南吉記念館 (半田市)	明貫 紘子 (キュレーター)	アーカイブ制作 「浮遊するアーカイブズ倉庫:愛知県の	愛知県美術館 (名古屋市東区)
主な参加アーティスト等	作品名	主な連携文化施設																										
劇団うりんこ ／うりんこ劇場(劇団)	映像 「ベイビーシアター『MARIMO』」	愛知県美術館 (名古屋市東区)																										
小坂井 大輔(歌人) 始め9名	短歌集制作 「ここでのこと」	書店「ON READING」 (名古屋市千種区)																										
武部 敬俊 (編集者)	ライブ&アーカイブ制作 「LIVERARY LIVE RALLY “Extra” —YOUR CITY IS GOOD—」	ダイヤモンドホール (名古屋市中区)																										
玉山 拓郎 (現代美術作家)	オンライン・インスタレーション 「When I was born when I was born」	愛知県美術館 (名古屋市東区)																										
西尾 佳織(劇作家) 河村 美雪(映像作家)	映像 「この町に住んでいる絵に会いにく」	豊橋市美術博物館 (豊橋市)																										
西田 雅希(キュレーター) 黒川 岳(現代美術作家)	サウンド・インスタレーション 「甕々の声」	愛知県陶磁美術館 (瀬戸市) とこなめ陶の森資料館 (常滑市)																										
三浦 よし木 (漫画家/美術家)	読みきり漫画 「花をうめる(原作:新美南吉)」	新美南吉記念館 (半田市)																										
明貫 紘子 (キュレーター)	アーカイブ制作 「浮遊するアーカイブズ倉庫:愛知県の	愛知県美術館 (名古屋市東区)																										

	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>メディア・アート」</td> <td></td> </tr> <tr> <td>山下 敦弘 (映画監督)</td> <td>短編映画 「ランブラーズ 2」</td> <td>愛知芸術文化セン ター (名古屋市東区)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>配信期間:2021.2.1~3.21 特設ウェブサイトで公開</li> <li>一部の作品を除き愛知県美術館のウェブサイトで視聴可能 (2021.7.16 現在)</li> <li>ウェブサイトアクセス件数: 29,251 件 (2021.3.31 時点)</li> </ul>		メディア・アート」		山下 敦弘 (映画監督)	短編映画 「ランブラーズ 2」	愛知芸術文化セン ター (名古屋市東区)																				
	メディア・アート」																										
山下 敦弘 (映画監督)	短編映画 「ランブラーズ 2」	愛知芸術文化セン ター (名古屋市東区)																									
<p>③ 伝統文化活動緊急支援事業 「伎芸精髓(ぎげいせいずい) あいちのエスプリ」</p>  <p>能楽師狂言方と泉流野村派古典狂言「附子」</p>  <p>箏曲千景の会Vtuber「キミノミヤ」と協演</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品概要</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>出演団体及び出演者</th> <th>演目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>能</td> <td>能楽観世流 シテ方 久田 勘鷗</td> <td>・「羽衣」 ・新作能「鱒」</td> </tr> <tr> <td>狂言</td> <td>能楽師狂言方と泉流野村派 十四世当主 野村 又三郎</td> <td>・古典狂言「附子」 ・チャレンジ狂言 「Booby」</td> </tr> <tr> <td>箏</td> <td>箏曲千景の会 箏演奏家 浅井 大美子 箏アーティスト 浅井 りえ</td> <td>・「六段の調べ」、「日本 の心音」 ・日本伝統メディアアア ト「千本桜」 (あいち観光バーチャルサポ ーター バーチャル・ユ チューバー「キミノミヤ」 と協演)</td> </tr> <tr> <td>舞踊</td> <td>西川流 四世家元 西川 千雅</td> <td>・「連獅子」 ・日本舞踊と三味線・和 太鼓のセッション</td> </tr> <tr> <td>華道</td> <td>石田流 四世家元 石田 巳賀</td> <td>愛知の「かがり弁ギク」 を使用した ・花手前(古典花) ・花のパフォーマンス～ 美の音色と共に</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内全ケーブルテレビ局(14局)での放送</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>放映期間</td> <td>2021.1.9~3.15</td> </tr> <tr> <td>放送回数</td> <td>392回(196時間)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>特設ウェブサイト及びYouTube公式チャンネルの配信</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>配信期間</td> <td>2021.1.10~</td> </tr> <tr> <td>総再生回数</td> <td>404,639回(2021.3.31時点)</td> </tr> </table>	分野	出演団体及び出演者	演目	能	能楽観世流 シテ方 久田 勘鷗	・「羽衣」 ・新作能「鱒」	狂言	能楽師狂言方と泉流野村派 十四世当主 野村 又三郎	・古典狂言「附子」 ・チャレンジ狂言 「Booby」	箏	箏曲千景の会 箏演奏家 浅井 大美子 箏アーティスト 浅井 りえ	・「六段の調べ」、「日本 の心音」 ・日本伝統メディアアア ト「千本桜」 (あいち観光バーチャルサポ ーター バーチャル・ユ チューバー「キミノミヤ」 と協演)	舞踊	西川流 四世家元 西川 千雅	・「連獅子」 ・日本舞踊と三味線・和 太鼓のセッション	華道	石田流 四世家元 石田 巳賀	愛知の「かがり弁ギク」 を使用した ・花手前(古典花) ・花のパフォーマンス～ 美の音色と共に	放映期間	2021.1.9~3.15	放送回数	392回(196時間)	配信期間	2021.1.10~	総再生回数	404,639回(2021.3.31時点)
分野	出演団体及び出演者	演目																									
能	能楽観世流 シテ方 久田 勘鷗	・「羽衣」 ・新作能「鱒」																									
狂言	能楽師狂言方と泉流野村派 十四世当主 野村 又三郎	・古典狂言「附子」 ・チャレンジ狂言 「Booby」																									
箏	箏曲千景の会 箏演奏家 浅井 大美子 箏アーティスト 浅井 りえ	・「六段の調べ」、「日本 の心音」 ・日本伝統メディアアア ト「千本桜」 (あいち観光バーチャルサポ ーター バーチャル・ユ チューバー「キミノミヤ」 と協演)																									
舞踊	西川流 四世家元 西川 千雅	・「連獅子」 ・日本舞踊と三味線・和 太鼓のセッション																									
華道	石田流 四世家元 石田 巳賀	愛知の「かがり弁ギク」 を使用した ・花手前(古典花) ・花のパフォーマンス～ 美の音色と共に																									
放映期間	2021.1.9~3.15																										
放送回数	392回(196時間)																										
配信期間	2021.1.10~																										
総再生回数	404,639回(2021.3.31時点)																										
<p>④ 文化活動事業費補助金の拡充</p>	<p>2020年度募集内容の拡充(変更)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>採択件数の増(補助金額の増額)</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響による中止・廃止事業を補助対象事業に追加</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策のため無観客公演等とした事業を、広く一般の方が視聴や参加できることを条件に補助対象事業</li> </ul>																										

	<p>に追加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>応募締切を例年より2か月程度遅い7月31日に変更。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>申請期間</td> <td>2020. 5. 28(木)～ 7. 31(金)</td> </tr> <tr> <td>申請件数</td> <td>・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 83 件 ・後継者育成事業 5 件</td> </tr> <tr> <td>交付件数</td> <td>・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 72 件 ・後継者育成事業 5 件 (うち無観客公演件数8件、中止公演件数13件)</td> </tr> <tr> <td>補助実績</td> <td>・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 26,722 千円 ・後継者育成事業 1,200 千円</td> </tr> </table>	申請期間	2020. 5. 28(木)～ 7. 31(金)	申請件数	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 83 件 ・後継者育成事業 5 件	交付件数	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 72 件 ・後継者育成事業 5 件 (うち無観客公演件数8件、中止公演件数13件)	補助実績	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 26,722 千円 ・後継者育成事業 1,200 千円								
申請期間	2020. 5. 28(木)～ 7. 31(金)																
申請件数	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 83 件 ・後継者育成事業 5 件																
交付件数	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 72 件 ・後継者育成事業 5 件 (うち無観客公演件数8件、中止公演件数13件)																
補助実績	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 26,722 千円 ・後継者育成事業 1,200 千円																
<p>⑤ 美術品等取得基金の特別枠の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>若手作家の現代美術作品を購入、展示</li> </ul>  <p>渡辺 豪「フェイス（“ポートレート”）-27」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>購入作品数等 30 作家 78 作品</li> <li>一回目</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">購入</td> <td>作家数</td> <td>15 人</td> </tr> <tr> <td>作品数</td> <td>41 作品</td> </tr> <tr> <td>展示</td> <td colspan="2">第3期コレクション展 35 作品展示 (2020.9.19 (土)～12.6 (日))</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>二回目</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">購入</td> <td>作家数</td> <td>15 人</td> </tr> <tr> <td>作品数</td> <td>37 作品</td> </tr> <tr> <td>展示</td> <td colspan="2">第4期コレクション展 37 作品展示 (2021.1.15 (金)～4.11 (日))</td> </tr> </table>	購入	作家数	15 人	作品数	41 作品	展示	第3期コレクション展 35 作品展示 (2020.9.19 (土)～12.6 (日))		購入	作家数	15 人	作品数	37 作品	展示	第4期コレクション展 37 作品展示 (2021.1.15 (金)～4.11 (日))	
購入	作家数		15 人														
	作品数	41 作品															
展示	第3期コレクション展 35 作品展示 (2020.9.19 (土)～12.6 (日))																
購入	作家数	15 人															
	作品数	37 作品															
展示	第4期コレクション展 37 作品展示 (2021.1.15 (金)～4.11 (日))																
<p>⑥ 県図書館における電子書籍サービスの導入</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子書籍サービス</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>利用開始日</td> <td>2021. 1. 26(火)</td> </tr> <tr> <td>冊数</td> <td>5,529 冊</td> </tr> <tr> <td>利用状況</td> <td>47,847 件 (2021. 1. 26(火)～2021. 5. 31(月))</td> </tr> <tr> <td>1 日当たりの利用件数</td> <td>379.7 件/日</td> </tr> </table>	利用開始日	2021. 1. 26(火)	冊数	5,529 冊	利用状況	47,847 件 (2021. 1. 26(火)～2021. 5. 31(月))	1 日当たりの利用件数	379.7 件/日								
利用開始日	2021. 1. 26(火)																
冊数	5,529 冊																
利用状況	47,847 件 (2021. 1. 26(火)～2021. 5. 31(月))																
1 日当たりの利用件数	379.7 件/日																
<p>⑦ 施設利用料金の減免等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用料減免、納期限の配慮</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>対象</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">県芸術劇場</td> <td>大ホール、コンサートホール、小ホールの施設利用料金</td> <td>施設利用料金の50%減免 (2020. 7. 1 の利用から)</td> </tr> <tr> <td>施設利用料金の支払期限</td> <td>「施設利用日の6か月前まで」を「施設利用日の1か月前まで」に変更 (2020. 12. 1 申請分から)</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	対象	内容	県芸術劇場	大ホール、コンサートホール、小ホールの施設利用料金	施設利用料金の50%減免 (2020. 7. 1 の利用から)	施設利用料金の支払期限	「施設利用日の6か月前まで」を「施設利用日の1か月前まで」に変更 (2020. 12. 1 申請分から)								
施設名	対象	内容															
県芸術劇場	大ホール、コンサートホール、小ホールの施設利用料金	施設利用料金の50%減免 (2020. 7. 1 の利用から)															
	施設利用料金の支払期限	「施設利用日の6か月前まで」を「施設利用日の1か月前まで」に変更 (2020. 12. 1 申請分から)															

	<p>・新型コロナウイルス感染症によるキャンセルに伴う施設利用料金還付</p> <table border="1" data-bbox="778 315 1426 613"> <thead> <tr> <th data-bbox="778 315 979 367">施設名</th> <th data-bbox="979 315 1203 367"></th> <th data-bbox="1203 315 1426 367">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="778 367 979 427">愛知芸術文化センター(栄施設)</td> <td data-bbox="979 367 1203 427">愛知県芸術劇場</td> <td data-bbox="1203 367 1426 613" rowspan="3">施設利用を中止する場合は、事前に納付のあった施設利用料を全額還付(2020.2.20利用分から)</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="979 427 1203 510">文化情報センター(アトスペース)</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="979 510 1203 613">愛知県美術館(ギャラリー)</td> </tr> </tbody> </table>	施設名		内容	愛知芸術文化センター(栄施設)	愛知県芸術劇場	施設利用を中止する場合は、事前に納付のあった施設利用料を全額還付(2020.2.20利用分から)		文化情報センター(アトスペース)		愛知県美術館(ギャラリー)
施設名		内容									
愛知芸術文化センター(栄施設)	愛知県芸術劇場	施設利用を中止する場合は、事前に納付のあった施設利用料を全額還付(2020.2.20利用分から)									
	文化情報センター(アトスペース)										
	愛知県美術館(ギャラリー)										
<p>⑧ あいち山車まつり活性化事業</p>	<p>○山車まつり保存団体に対し、山車1台につき10万円の支援金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付団体数 76 団体 (対象：84 団体)</li> <li>・交付山車数 263 台 (対象：277 台)</li> </ul>										
<p>⑨ 文化庁活動感染症対策事業費補助金</p>	<table border="1" data-bbox="735 893 1434 1350"> <tr> <td data-bbox="735 893 951 949">対象</td> <td data-bbox="951 893 1434 949">愛知県高等学校文化連盟</td> </tr> <tr> <td data-bbox="735 949 951 1126">補助対象経費</td> <td data-bbox="951 949 1434 1126">高等学校文化庁活動にかかる感染予防対策経費(手指の消毒用アルコールや非接触型検温計等の購入費用、密をさけるために必要な会場使用料)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="735 1126 951 1182">補助額</td> <td data-bbox="951 1126 1434 1182">1 専門部(部門)あたり500千円(上限)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="735 1182 951 1350">対象部門</td> <td data-bbox="951 1182 1434 1350">吹奏楽、合唱、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠、郷土芸能、演劇、放送、囲碁、将棋、美術・工芸、書道、写真、自然科学、文芸、ボランティア</td> </tr> </table>	対象	愛知県高等学校文化連盟	補助対象経費	高等学校文化庁活動にかかる感染予防対策経費(手指の消毒用アルコールや非接触型検温計等の購入費用、密をさけるために必要な会場使用料)	補助額	1 専門部(部門)あたり500千円(上限)	対象部門	吹奏楽、合唱、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠、郷土芸能、演劇、放送、囲碁、将棋、美術・工芸、書道、写真、自然科学、文芸、ボランティア		
対象	愛知県高等学校文化連盟										
補助対象経費	高等学校文化庁活動にかかる感染予防対策経費(手指の消毒用アルコールや非接触型検温計等の購入費用、密をさけるために必要な会場使用料)										
補助額	1 専門部(部門)あたり500千円(上限)										
対象部門	吹奏楽、合唱、器楽・管弦楽、日本音楽、吟詠、郷土芸能、演劇、放送、囲碁、将棋、美術・工芸、書道、写真、自然科学、文芸、ボランティア										



## 基本目標 1 世界・未来へ“愛知発”の創造・発信

基本課題	主な施策	事業数
1-1 世界に創造・発信する愛知からの文化芸術	① 国際芸術祭の開催	7
	② 「あいち国際女性映画祭」の開催	
	③ 国際的なパートナーシップやネットワークの構築	
1-2 愛知芸術文化センター等を拠点とした芸術創造の展開	④ 愛知芸術文化センター	38
	⑤ 県美術館	
	⑥ 県芸術劇場	
	⑦ 県文化情報センター	
	⑧ 県図書館	
1-3 文化芸術を担う人材の育成	⑨ 県陶磁美術館	24
	⑩ 新進芸術家の活動発表・交流の場づくり	
	⑪ 世界へ躍進していくための環境づくり	
	⑫ 県立芸術大学における人材育成及び芸術の発信	
	⑬ アートマネジメントに関する人材の育成	
	⑭ 伝統的な芸能・工芸等を担う人材の育成	

### 1-1 世界に創造・発信する愛知からの文化芸術

#### ■主な施策の実施状況

##### ① 国際芸術祭「あいち 2022」の開催準備

- ・県民や芸術関係者、NPO、企業、市町村等と幅広い連携・協働を図りながら、3年ごとに定期的に開催する愛知から文化芸術を世界へ発信する国際的な芸術祭の準備を行った。
- ・2022年に開催する国際芸術祭に向けて、2020年9月に組織委員会を設立、11月に芸術監督就任、芸術祭の名称を決定（国際芸術祭「あいち2022」）、12月にテーマ・コンセプトを決定した。また、3月30日に企画概要を公表した。

#### テーマ

STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから

#### コンセプト

未曾有のパンデミックによって現代社会のさまざまな構造が浮き彫りになり、環境、政治、経済、文化といったあらゆる領域から新たな提言が求められています。現代美術やパフォーマンス・アーツといった芸術は、その歴史を振り返っても、常に時代を反映し、真実を追究し、不確かさのなかから未来のための新しい価値観を提示してきました。世界がさらに複雑化した今日では、芸術分野においても、多様な文化に対する理解や敬意を求める多様性（ダイバーシティ）や包摂性（インクルージョン）がますます重視され、同時に持続可能な世界の在り方が模索されています。

国際芸術祭「あいち 2022」のテーマ「STILL ALIVE」は、愛知県出身のコンセプチュアル・アーティスト河原温が、1970年代以降、電報で自身の生存を発信し続けた《I Am Still Alive》シリーズに着想を得ています。「あいち 2022」は、この「STILL

ALIVE」を多角的に解釈し、過去、現在、未来という時間軸を往来しながら、愛知県の誇る歴史、地場産業、伝統文化の再発見、生きることの根源的な意味などを考えます。また、現代美術の源流を再訪すると同時に、類型化されてきた領域の狭間にも注目します。とりわけ世界の現代美術の底流をなすコンセプチュアル・アート、文字を使った美術表現やポエトリー（詩）、現代美術とパフォーマンス・アーツを横断する表現などに光を当てます。さらに、多様なラーニング・プログラムを通して、国際芸術祭「あいち 2022」を不確かさや未知の世界、多様な価値観、圧倒的な美しさと出会う場と考えます。国際芸術祭「あいち 2022」が、人生のどの一瞬にあっても、明日を生きるためのポジティブなエネルギーに繋がる、心躍る出会いや体験の場になることを目指します。



## ② 「あいち国際女性映画祭 2020」の開催

- ・2020年9月3日から9月6日までの4日間、ウィルあいち会場を始め2会場で、25回目となる「あいち国際女性映画祭2020」を開催し、11か国・地域から出品された計30作品の長編・短編映画を上映した。

## ③ 国際的なパートナーシップやネットワークの構築

- ・県芸術劇場は、2020年9月21日にオンラインで開催された「アジア太平洋パフォーマンスセンター連盟」の総会に参加、7月9日、8月7日、9月11日、10月30日にオンラインによる研究会に参加し、同劇場のコロナ禍の取組みを発表するなど、海外の劇場関係者との情報交換や交流に努めた。
- ・舞台芸術においても、国際的なネットワークの強化を図るため、国際共同制作や海外のダンスカンパニーの招へいを企画していたが、新型コロナウイルス感染症による渡航制限などにより来日及び出国することができないため、2020年度は海外招へいの全事業を中止した。2021年度の招へいに向けて海外のダンスカンパニー等と再調整を行った。

■関連事業の取組実績

取組内容	実績																				
<p>① 国際芸術祭の開催</p> <p>・国際芸術祭「あいち2022」の企画概要の公表</p> 	<p>・企画概要</p> <table border="1" data-bbox="758 315 1425 701"> <tr> <td>芸術監督</td> <td>片岡真実（森美術館館長、国際美術館会議（CIMAM）会長）</td> </tr> <tr> <td>テーマ</td> <td>STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから</td> </tr> <tr> <td>開催時期</td> <td>2022. 7. 30（土）～10. 10（月・祝）73日間</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>愛知芸術文化センター、一宮市、常滑市、有松地区（名古屋市）</td> </tr> <tr> <td>主催</td> <td>国際芸術祭「あいち」組織委員会</td> </tr> </table> <p>・事業展開</p> <table border="1" data-bbox="758 745 1425 1193"> <tr> <td>現代美術</td> <td>国内外のアーティストの作品展示などで、最先端の現代美術を紹介</td> </tr> <tr> <td>パフォーマンスアート</td> <td>国内外の先鋭的な演劇、音楽、ダンスなどの舞台芸術作品を上演</td> </tr> <tr> <td>ラーニング</td> <td>幅広い層を対象とした様々な「ラーニング・プログラム」を実施</td> </tr> <tr> <td>連携事業</td> <td>県内の芸術大学を始め、多様な主体との連携による事業を展開 参加アーティストによる短期間の巡回展示を県内数か所で開催</td> </tr> <tr> <td>オンライン展開</td> <td>オンラインでの映像配信やプログラムなどを実施</td> </tr> </table>	芸術監督	片岡真実（森美術館館長、国際美術館会議（CIMAM）会長）	テーマ	STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから	開催時期	2022. 7. 30（土）～10. 10（月・祝）73日間	会場	愛知芸術文化センター、一宮市、常滑市、有松地区（名古屋市）	主催	国際芸術祭「あいち」組織委員会	現代美術	国内外のアーティストの作品展示などで、最先端の現代美術を紹介	パフォーマンスアート	国内外の先鋭的な演劇、音楽、ダンスなどの舞台芸術作品を上演	ラーニング	幅広い層を対象とした様々な「ラーニング・プログラム」を実施	連携事業	県内の芸術大学を始め、多様な主体との連携による事業を展開 参加アーティストによる短期間の巡回展示を県内数か所で開催	オンライン展開	オンラインでの映像配信やプログラムなどを実施
芸術監督	片岡真実（森美術館館長、国際美術館会議（CIMAM）会長）																				
テーマ	STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから																				
開催時期	2022. 7. 30（土）～10. 10（月・祝）73日間																				
会場	愛知芸術文化センター、一宮市、常滑市、有松地区（名古屋市）																				
主催	国際芸術祭「あいち」組織委員会																				
現代美術	国内外のアーティストの作品展示などで、最先端の現代美術を紹介																				
パフォーマンスアート	国内外の先鋭的な演劇、音楽、ダンスなどの舞台芸術作品を上演																				
ラーニング	幅広い層を対象とした様々な「ラーニング・プログラム」を実施																				
連携事業	県内の芸術大学を始め、多様な主体との連携による事業を展開 参加アーティストによる短期間の巡回展示を県内数か所で開催																				
オンライン展開	オンラインでの映像配信やプログラムなどを実施																				
<p>② あいち国際女性映画祭 2020 の開催</p> 	<table border="1" data-bbox="758 1245 1425 1659"> <tr> <td>開催日</td> <td>2020. 9. 3(木)～6(日)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>・ウィルあいち ・ミッドランドスクエア シネマ</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>・招待作品上映 ・トークイベント ・フィルム・コンペティション（実写・アニメーション） ・愛知県立大学多文化共生研究所との共同企画（シンポジウム）</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>5,772人</td> </tr> </table>	開催日	2020. 9. 3(木)～6(日)	会場	・ウィルあいち ・ミッドランドスクエア シネマ	主な内容	・招待作品上映 ・トークイベント ・フィルム・コンペティション（実写・アニメーション） ・愛知県立大学多文化共生研究所との共同企画（シンポジウム）	参加者	5,772人												
開催日	2020. 9. 3(木)～6(日)																				
会場	・ウィルあいち ・ミッドランドスクエア シネマ																				
主な内容	・招待作品上映 ・トークイベント ・フィルム・コンペティション（実写・アニメーション） ・愛知県立大学多文化共生研究所との共同企画（シンポジウム）																				
参加者	5,772人																				
<p>③ 県芸術劇場における国際的なパートナーシップやネットワークの構築</p>	<p>国際共同製作 <b>中止</b></p> <p>日本・香港・オーストラリアによるダンスと映像のコラボレーション作品「ON VIEW : Panorama」</p> <table border="1" data-bbox="758 1883 1425 2074"> <tr> <td>内容</td> <td>共同製作した公演の香港、シドニー公演を行い、ダンサー等を派遣</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>－（各3公演を予定）</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>①香港ウェストカオールン文化地区 ②パフォーマンス・スペース・シドニー</td> </tr> </table>	内容	共同製作した公演の香港、シドニー公演を行い、ダンサー等を派遣	開催日	－（各3公演を予定）	会場	①香港ウェストカオールン文化地区 ②パフォーマンス・スペース・シドニー														
内容	共同製作した公演の香港、シドニー公演を行い、ダンサー等を派遣																				
開催日	－（各3公演を予定）																				
会場	①香港ウェストカオールン文化地区 ②パフォーマンス・スペース・シドニー																				

※参考 2019年度の公演の様子



(C) Naoshi Hatori

【招へい公演】 **中止**

・テラッピン・パペットシアター（オーストラリア）

公演名	『小さな島とエヴァ』 県外ツアー
開催日	5月2日（土）、4日（月・祝）、29日（金）
会場	四日市市、津市、茨木市

・ディブウィク・ダンスカンパニー（ノルウェー）

公演名	『えんどうまめとおひめさま』愛知県芸術劇場公演 +愛知県内ツアー
開催日	2020.7.26（日）～28（火） （当劇場6公演） 2020.7.30（木）～8.22（土） （県内ツアー8カ所）
会場	小ホール、県内劇場

公演名	『よちよちの部屋』
開催日	8月5日（水）（3公演）
会場	大リハーサル室

・ナタリア・オシボワ&メリル・タンカード（イギリス、オーストラリア）

公演名	海外招聘ダンス公演 『Two Feet』
開催日	2020.9.18（金）、19（土）（2公演）
会場	大ホール

1-2 愛知芸術文化センター等を拠点とした芸術創造の展開

■主な施策の実施状況

- ・本県の文化芸術施策を展開する拠点施設である愛知芸術文化センターを中心として、県美術館、県芸術劇場、県図書館、県陶磁美術館において、芸術創造、文化情報の発信強化や多様な鑑賞機会や文化芸術活動の場所を提供することを通じ、利用者サービスの向上を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、2020年度当初は、愛知県独自の緊急事態措置及び国の緊急事態宣言発出による施設の休業要請を受けて、愛知芸術文化センター及び県陶磁美術館は休館した。
- ・その後、（公財）全国公立文化施設協会、（公財）日本博物館協会、（公財）日本図書館協会など、それぞれの業界団体が策定した感染拡大防止ガイドライン等を参考に感染拡大防止対策を取りながら施設を再開した。
- ・コロナ禍での文化芸術活動を支援するため、各施設において施設利用料金の減免などの取組を行った。

**再掲(P2)**

<休館の状況>

		対象施設	休館期間
愛知芸術文化センター	栄施設	愛知県美術館	2020.4.6～5.31※
		愛知県芸術劇場、文化情報センター	2020.4.25～5.31※
	愛知県図書館	2020.3.10～6.1	
		愛知県陶磁美術館	2020.4.11～5.18

※ 2020.4.25～5.31は全館休館

<利用料減免・納期限の配慮>

対象施設	内容	減免等内容
愛知県芸術劇場	大ホール、コンサートホール、小ホールの施設利用料金	50%減免(2020.7.1の利用から)(2021年度も継続実施)
	施設利用料金の支払期限	「施設利用日の6か月前まで」を「施設利用日の1か月前まで」に変更(2020.12.1申請分から)(2021年度も継続実施)

<新型コロナウイルス感染症によるキャンセルに伴う施設利用料金還付>

対象施設	内容
愛知芸術文化センター(栄施設)	愛知県芸術劇場 文化情報センター(アトスペース) 愛知県美術館(ギャラリー)
	施設利用を中止する場合は、事前に納付のあった施設利用料を全額還付(2020.2.20利用分から)(2021年度も継続実施)

④ 愛知芸術文化センター

- ・2020年度は、美術館、劇場とも新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあったが、創意工夫を重ね、新型コロナウイルス感染予防対策を講じた上で、展覧会や公演事業を実施した。
- ・貸館についても中止、利用取消が相次いだことから、コロナ禍での文化芸術活動を支援するため、2020年度中に新型コロナウイルス感染症の影響を理由に施設利用を中止する利用者には、事前に納付のあった施設利用料を全額還付することとした。(2021年度も継続実施) **再掲(P3)**
- ・愛知芸術文化センター栄施設において、防災設備の機能保全や吊り天井の安全対策など、大規模な改修を順次実施し、2020年度で、休館を伴わない工事を含め、当初予定した改修工事が完了した。引き続き安心して利用できる施設として必要な工事を実施していく。
- ・愛知芸術文化センターの栄施設において、2014年度から導入している指定管理者制度について、2019年度から、(公財)愛知県文化振興事業団を指定管理者とした第2期指定期間が開始した。今後とも、国内有数の文化施設としてふさわしい自主事業の充実・強化、柔軟で弾力的な運営による利用者サービスの向上を図っていく。
- ・「栄・都心部」に位置する立地特性を活かし、オアシス21や名古屋テレビ塔、セントラルパーク等の近隣施設との連携した栄北まちなか連携事業「久屋ぐるっとアート2020」をコロナ禍においても感染予防対策を講じながら、各参画団体が出来るイベントを実施し、芸術を軸とした多様な交流・創造を展開し、地域活性化に取り組み、来場者の反応も良好であった。

⑤ 県美術館

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により開催期間を短縮、延期するものもあったが、古代エジプト文明、現代美術家の大回顧展など多彩なテーマの企画展について、感染予防対策を講じた上で開催した。
- ・企画展の会期に合わせて開催するコレクション展では、所蔵作品の中から、会期ごとに作品を入れ替えながら公開した。また、先端的な映像表現のオリジナル映像作品の制作は新型コロナウイルス感染症の影響により延期としたが、前年度制作作品を初公開する上映会を開催した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、作家・アーティストが作品を発表し、収入を得る機会が失われていることから、美術品等取得基金に2020年度から2022年度の3年間で1億円の特別枠を

設け、若手作家の現代美術作品を重点的に購入し、2020年度には、30作家78作品をコレクション展で公開した。再掲(P2)

- ・県内文化施設の所蔵作品等を題材とした作品の制作をアーティストに依頼し、2021年2月1日から3月21日まで、特設ウェブサイトを通じたオンライン配信(AICHI\*ONLINE)を実施することにより、多様な鑑賞機会の提供を図った。再掲(P2)
- ・県美術館のギャラリーは、様々なジャンルの作品制作に取り組む地域の団体の方々の発表の場を提供しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用が大幅に減少した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響のために利用をキャンセルした場合の施設利用料金については全額返還することとした。再掲(P3)

#### ⑥ 県芸術劇場

- ・県芸術劇場では、新型コロナウイルスの影響で一部の事業が中止や延期となったが、新型コロナウイルス感染症対策をとって、可能な限り継続実施し、また代替の事業も展開した。
- ・国内外の主要劇場、芸術系大学、アーティスト等とのネットワークを活かし、地域の芸術機関のハブ的な役割を果たした。
- ・文化庁受託事業として、コロナ禍により失われた文化芸術体験の機会を取り戻すことを目的とした「ジャパン・ライブエール・プロジェクト@あいち2020」を実施した。
- ・「時期、ターゲット、志向」に合わせて、「会場、ジャンル、手法」を組み合わせ、上質な舞台芸術作品の提供する「愛知芸文フェス」、先駆的、実験的な作品への取組「ミニセレ」シリーズなど、一部中止やオンライン配信となったものもあったが、立体的に事業展開し、多種多様な芸術創造機能を強化した。
- ・文化庁文化芸術振興費補助金「劇場・音楽堂等機能総合支援事業」を活用し、創造発信力の強化、専門人材の養成、普及教育事業などを実施した。
- ・2020年2月20日から2021年3月31日の利用について、新型コロナウイルス感染症の影響のために利用をキャンセルした場合の施設利用料金については全額返還することとした。(2021年度も継続実施) 再掲(P3)
- ・コンサートやイベントの主催者は、新型コロナウイルスの影響により中止・延期を余儀なくされ、厳しい状況が続いていたことから、文化芸術活動の継続を支援するため、大ホール、コンサートホール及び小ホールの施設利用料金を2020年7月1日から50%減免することとした。(2021年度も継続実施) 再掲(P2)
- ・文化芸術団体の中には、新型コロナウイルスの影響により活動資金がなく、これまで県芸術劇場で行ってきた公演開催を断念する団体もでてきている中、前売券の売上金が手元に入れば利用料金を払うことができるため、納付期限を延長して欲しいという要望があった。そのため、施設利用料金の支払い期限を、2020年12月1日から6か月前から1か月前までに変更した。(2021年度も継続実施) 再掲(P2)
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、当劇場の「新型コロナウイルス感染拡大予防対策のお願い」(ガイドライン)を定めて、公演を開催するにあたり対策を踏まえた様々な相談に応じ、利用者との調整を図りながら、新型コロナウイルス感染症の防止に努めた。
- ・感染対策として、消毒液の設置、劇場内(センター内)の設備や備品に抗菌コーティングの施工、サーモグラフィーカメラの導入、換気の外気取込量の増加、ソーシャルディスタンスを示す表示の設置等を実施した。

#### ⑦ 県文化情報センター

- ・新型コロナウイルス感染予防対策のため、アールスペースにおいて、「新型コロナウイルス感染拡大

予防対策のお願い」(ガイドライン)を作成し、感染対策を行った上で、利用していただいた。  
新型コロナウイルス感染症の影響のために利用をキャンセルした場合の施設利用料金については全額返還することとした。**再掲(P3)**

#### ⑧ 県図書館

- ・県図書館は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年3月10日から6月1日まで休館した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により「新しい生活様式」が求められる中で、非来館型サービスの充実を図るため、2021年1月26日から電子書籍サービスを導入した(5,529冊)。**再掲(P2)**
- ・「県民に開かれた図書館」として市町村立図書館等と連携し、全ての県民が図書館サービスを受けられるよう拠点図書館としての市町村立図書館等への資料搬送便の充実、インターネットを活用した情報発信等を行った。また、図書館サービスを支える電算システムの維持・管理を行った。
- ・拠点図書館として、市町村立図書館のニーズが高い分野である、ものづくり文化、地域資料、健康・医療分野の資料を中心に収集・整理し、市町村立図書館の蔵書を補完する役割を果たすと共に、質の高いレファレンスサービスに活用し、県民の各種の調査・研究を支援した。
- ・「県内市町村立図書館へのバックアップを行う図書館」として、県内市町村立図書館、公民館図書室等がより質の高い図書館サービスを提供できるよう、県図書館蔵書の協力貸出や、域内図書館間の相互貸借支援、県図書館が実施する研修や、図書館関係団体による研修の提供、図書館間の情報交換の促進を行った。研修については、新型コロナウイルス感染症の予防のため、音声配信、資料配布や課題添削、情報共有など手法を工夫し、実施した。
- ・公立図書館のみならず各種図書館、美術館、行政機関、民間の様々な団体等外部との連携・協力によるイベントの開催等を通じて連携を深め、広域的な情報発信、交流の拠点化を図った。
- ・1階エントランス(愛称「Yotteko(ヨッテコ)」)においては、開放的で明るい空間のもと、誰もが気軽に訪れることができる交流の場として、感染症拡大防止策を講じながら、図書館資料やパネルの展示などの企画展示を積極的に実施した。

#### ⑨ 県陶磁美術館


- ・県陶磁美術館は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月11日から5月18日まで休館した。
- ・来館者の氏名、住所、連絡先の記入や、多人数での利用の場合には、分散入室の推奨、陶芸館を電話等による事前予約制とし、人数制限を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症対策をとりつつ「在宅」で、オンライン配信された動画を見ながら、やきものづくりを体験できる在宅陶芸「おうちで織部」を2020年9月4日から開催した。
- ・緊急事態宣言の発出などにより外出を控えた方々にも展覧会を御覧いただけるよう、2つの展覧会の模様を、オンラインで配信した。
- ・陶磁史上で果たしてきた愛知の重要な役割を踏まえ、陶磁資料等の収集、保存、展示及び調査研究や、陶芸教室及び陶芸展示室の利用・提供を、感染症対策を講じ行った。
- ・県陶磁美術館においては、県立芸術大学や県立大学との連携強化を図り、大学における講義の支援を行った。また、県内20の大学等との間で「愛知県陶磁美術館大学等パートナーシップ」事業を展開し、県陶磁美術館の利用促進を図るとともに、陶磁文化への理解を深めてもらえるよう努めた。
- ・子ども向け事業として、子どもと大人が愛知県児童総合センターの児童館と美術館を行き来し、アートを通じてのびのびと育つことを目的とした連携プログラムについては、感染症対策を講じ、実施した。なお、他の企画事業においては、新型コロナウイルスの影響により中止したものもあった。
- ・愛知芸術文化センターでサテライト展示を実施し、県陶磁美術館の所蔵作品の有効活用を図った。



■関連事業の取組実績

取組内容	実績																
<p>④ 愛知芸術文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知芸術文化センター栄施設の指定管理第2期開始</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>施設の名称</td> <td>愛知芸術文化センター愛知県芸術劇場及び愛知県文化情報センター</td> </tr> <tr> <td>指定管理者</td> <td>(公財)愛知県文化振興事業団 (任意指定)</td> </tr> <tr> <td>指定期間</td> <td>2019.4～2024.3</td> </tr> </table>	施設の名称	愛知芸術文化センター愛知県芸術劇場及び愛知県文化情報センター	指定管理者	(公財)愛知県文化振興事業団 (任意指定)	指定期間	2019.4～2024.3										
施設の名称	愛知芸術文化センター愛知県芸術劇場及び愛知県文化情報センター																
指定管理者	(公財)愛知県文化振興事業団 (任意指定)																
指定期間	2019.4～2024.3																
<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄北まちなか連携事業『久屋ぐるっとアート2020』の実施</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2020.10.31(土)～2020.11.3(火・祝)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>オアシス21ほか、オンライン</td> </tr> <tr> <td>参加団体</td> <td>22団体</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>延べ57,821人</td> </tr> </table>	開催期間	2020.10.31(土)～2020.11.3(火・祝)	会場	オアシス21ほか、オンライン	参加団体	22団体	来場者数	延べ57,821人								
開催期間	2020.10.31(土)～2020.11.3(火・祝)																
会場	オアシス21ほか、オンライン																
参加団体	22団体																
来場者数	延べ57,821人																
<p>⑤ 県美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大浮世絵展 <b>一部中止</b></li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2020.4.3(金)から2020.5.31(日)51日間 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4月5日をもって閉幕したため、3日間の開催</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>910人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジブリの大博覧会 <b>延期</b></li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2020.6.25(木)から2020.9.6(日)70日間 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、延期</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>—</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古代エジプト展</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2020.9.19(土)から2020.12.6(日)74日間</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>106,060人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GENKYO 横尾忠則</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2021.1.15(金)から2021.4.11(日)75日間</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>19,575人</td> </tr> </table>	開催期間	2020.4.3(金)から2020.5.31(日)51日間 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4月5日をもって閉幕したため、3日間の開催	入場者数	910人	開催期間	2020.6.25(木)から2020.9.6(日)70日間 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、延期	入場者数	—	開催期間	2020.9.19(土)から2020.12.6(日)74日間	入場者数	106,060人	開催期間	2021.1.15(金)から2021.4.11(日)75日間	入場者数	19,575人
開催期間	2020.4.3(金)から2020.5.31(日)51日間 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4月5日をもって閉幕したため、3日間の開催																
入場者数	910人																
開催期間	2020.6.25(木)から2020.9.6(日)70日間 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、延期																
入場者数	—																
開催期間	2020.9.19(土)から2020.12.6(日)74日間																
入場者数	106,060人																
開催期間	2021.1.15(金)から2021.4.11(日)75日間																
入場者数	19,575人																
 <p>GENKYO 横尾忠則</p>																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コレクション展の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1期 <b>一部中止</b></li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2020.4.3(金)から2020.5.31(日)51日間 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4月5日をもって閉幕したため、3日間の開催</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>544人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2020.6.25(木)から2020.9.6(日)64日間</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>2,612人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2020.9.19(土)から2020.12.6(日)74日間</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>16,662人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2021.1.15(金)から2021.4.11(日)75日間</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>9,629人</td> </tr> </table>	開催期間	2020.4.3(金)から2020.5.31(日)51日間 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4月5日をもって閉幕したため、3日間の開催	入場者数	544人	開催期間	2020.6.25(木)から2020.9.6(日)64日間	入場者数	2,612人	開催期間	2020.9.19(土)から2020.12.6(日)74日間	入場者数	16,662人	開催期間	2021.1.15(金)から2021.4.11(日)75日間	入場者数	9,629人
開催期間	2020.4.3(金)から2020.5.31(日)51日間 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、4月5日をもって閉幕したため、3日間の開催																
入場者数	544人																
開催期間	2020.6.25(木)から2020.9.6(日)64日間																
入場者数	2,612人																
開催期間	2020.9.19(土)から2020.12.6(日)74日間																
入場者数	16,662人																
開催期間	2021.1.15(金)から2021.4.11(日)75日間																
入場者数	9,629人																
 <p>第4期コレクション展</p>																	







取組内容	実績																														
<p>・若手作家の現代美術作品を購入、展示 <b>再掲(P5)</b></p>  <p>渡辺 豪「フェイス（“ポートレート”）-27」</p>	<p>・購入作品数等 30 作家 78 作品</p> <p>・一回目</p> <table border="1" data-bbox="775 338 1442 488"> <tr> <td rowspan="2">購入</td> <td>作家数</td> <td>15 人</td> </tr> <tr> <td>作品数</td> <td>41 作品</td> </tr> <tr> <td colspan="2">展示</td> <td>第3期コレクション展 35 作品展示 (2020.9.19 (土) ~ 12.6 (日)) 74 日間</td> </tr> </table> <p>・二回目</p> <table border="1" data-bbox="775 533 1442 683"> <tr> <td rowspan="2">購入</td> <td>作家数</td> <td>15 人</td> </tr> <tr> <td>作品数</td> <td>37 作品</td> </tr> <tr> <td colspan="2">展示</td> <td>第4期コレクション展 37 作品展示 (2021.1.15 (金) ~ 4.11 (日)) 75 日間</td> </tr> </table>	購入	作家数	15 人	作品数	41 作品	展示		第3期コレクション展 35 作品展示 (2020.9.19 (土) ~ 12.6 (日)) 74 日間	購入	作家数	15 人	作品数	37 作品	展示		第4期コレクション展 37 作品展示 (2021.1.15 (金) ~ 4.11 (日)) 75 日間														
購入	作家数		15 人																												
	作品数	41 作品																													
展示		第3期コレクション展 35 作品展示 (2020.9.19 (土) ~ 12.6 (日)) 74 日間																													
購入	作家数	15 人																													
	作品数	37 作品																													
展示		第4期コレクション展 37 作品展示 (2021.1.15 (金) ~ 4.11 (日)) 75 日間																													
<p>・アーティスト等緊急支援事業 <b>再掲(P3)</b> 「AICHI⇄ONLINE」</p>  <p>劇団うりんこ 映像プロジェクト</p>  <p>三浦よし木 読みきり漫画</p>	<p>・作品概要</p> <table border="1" data-bbox="775 741 1442 1957"> <thead> <tr> <th>主な参加アーティスト等</th> <th>作品名</th> <th>主な連携文化施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>劇団うりんこ ／うりんこ劇場 (劇団)</td> <td>映像 「バイビーシアター『MARIMO』」</td> <td>愛知県美術館 (名古屋市東区)</td> </tr> <tr> <td>小坂井 大輔 (歌人) 始め9名</td> <td>短歌集制作 「ここでのこと」</td> <td>書店「ON READING」 (名古屋市千種区)</td> </tr> <tr> <td>武部 敬俊 (編集者)</td> <td>ライブ&amp;アーカイブ制作 「LIVERARY LIVE RALLY “Extra” —YOUR CITY IS GOOD—」</td> <td>ダイヤモンドホール (名古屋市中区)</td> </tr> <tr> <td>玉山 拓郎 (現代美術作家)</td> <td>オンライン・インスタレーション 「When I was born when I was born」</td> <td>愛知県美術館 (名古屋市東区)</td> </tr> <tr> <td>西尾 佳織 (劇作家) 河村 美雪 (映像作家)</td> <td>映像 「この町に住んでいる絵に会いに行く」</td> <td>豊橋市美術博物館 (豊橋市)</td> </tr> <tr> <td>西田 雅希 (キュレーター) 黒川 岳 (現代美術作家)</td> <td>サウンド・インスタレーション 「甕々の声」</td> <td>愛知県陶磁美術館 (瀬戸市) とこなめ陶の森資料館 (常滑市)</td> </tr> <tr> <td>三浦 よし木 (漫画家/美術家)</td> <td>読みきり漫画 「花をうめる (原作: 新美南吉)」</td> <td>新美南吉記念館 (半田市)</td> </tr> <tr> <td>明貫 紘子 (キュレーター)</td> <td>アーカイブ制作 「浮遊するアーカイブズ倉庫: 愛知県のメディア・アート」</td> <td>愛知芸術文化センター (名古屋市東区)</td> </tr> <tr> <td>山下 敦弘 (映画監督)</td> <td>短編映画 「ランブラーズ2」</td> <td>愛知県美術館 (名古屋市東区)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・配信期間: 2021. 2. 1 ~ 3. 21 特設ウェブサイトで公開 一部の作品を除き愛知県美術館のウェブサイトで視聴可能 (2021. 7. 16 現在)</p>	主な参加アーティスト等	作品名	主な連携文化施設	劇団うりんこ ／うりんこ劇場 (劇団)	映像 「バイビーシアター『MARIMO』」	愛知県美術館 (名古屋市東区)	小坂井 大輔 (歌人) 始め9名	短歌集制作 「ここでのこと」	書店「ON READING」 (名古屋市千種区)	武部 敬俊 (編集者)	ライブ&アーカイブ制作 「LIVERARY LIVE RALLY “Extra” —YOUR CITY IS GOOD—」	ダイヤモンドホール (名古屋市中区)	玉山 拓郎 (現代美術作家)	オンライン・インスタレーション 「When I was born when I was born」	愛知県美術館 (名古屋市東区)	西尾 佳織 (劇作家) 河村 美雪 (映像作家)	映像 「この町に住んでいる絵に会いに行く」	豊橋市美術博物館 (豊橋市)	西田 雅希 (キュレーター) 黒川 岳 (現代美術作家)	サウンド・インスタレーション 「甕々の声」	愛知県陶磁美術館 (瀬戸市) とこなめ陶の森資料館 (常滑市)	三浦 よし木 (漫画家/美術家)	読みきり漫画 「花をうめる (原作: 新美南吉)」	新美南吉記念館 (半田市)	明貫 紘子 (キュレーター)	アーカイブ制作 「浮遊するアーカイブズ倉庫: 愛知県のメディア・アート」	愛知芸術文化センター (名古屋市東区)	山下 敦弘 (映画監督)	短編映画 「ランブラーズ2」	愛知県美術館 (名古屋市東区)
主な参加アーティスト等	作品名	主な連携文化施設																													
劇団うりんこ ／うりんこ劇場 (劇団)	映像 「バイビーシアター『MARIMO』」	愛知県美術館 (名古屋市東区)																													
小坂井 大輔 (歌人) 始め9名	短歌集制作 「ここでのこと」	書店「ON READING」 (名古屋市千種区)																													
武部 敬俊 (編集者)	ライブ&アーカイブ制作 「LIVERARY LIVE RALLY “Extra” —YOUR CITY IS GOOD—」	ダイヤモンドホール (名古屋市中区)																													
玉山 拓郎 (現代美術作家)	オンライン・インスタレーション 「When I was born when I was born」	愛知県美術館 (名古屋市東区)																													
西尾 佳織 (劇作家) 河村 美雪 (映像作家)	映像 「この町に住んでいる絵に会いに行く」	豊橋市美術博物館 (豊橋市)																													
西田 雅希 (キュレーター) 黒川 岳 (現代美術作家)	サウンド・インスタレーション 「甕々の声」	愛知県陶磁美術館 (瀬戸市) とこなめ陶の森資料館 (常滑市)																													
三浦 よし木 (漫画家/美術家)	読みきり漫画 「花をうめる (原作: 新美南吉)」	新美南吉記念館 (半田市)																													
明貫 紘子 (キュレーター)	アーカイブ制作 「浮遊するアーカイブズ倉庫: 愛知県のメディア・アート」	愛知芸術文化センター (名古屋市東区)																													
山下 敦弘 (映画監督)	短編映画 「ランブラーズ2」	愛知県美術館 (名古屋市東区)																													

取組内容	実績																												
<p>・映像事業の実施</p> 	<p>・ウェブサイトアクセス件数: 29,251件 (2021.3.31時点)</p> <p>・「愛知芸術文化センター愛知県美術館・オリジナル映像作品」第29作 ミヤギフトシ『音と変身/Sounds, Metamorphoses』初公開</p> <table border="1"> <tr> <td>上映日</td> <td>2020.10.3(土)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>愛知芸術文化センター アートスペースA</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>36人</td> </tr> </table> <p>・オリジナル映像作品第30作の制作 <b>延期</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度は準備期間とし、2021年度に実制作とした。</p> <p>・第25回アートフィルムフェスティバル <b>延期</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年度へ順延した。</p>	上映日	2020.10.3(土)	会場	愛知芸術文化センター アートスペースA	入場者数	36人																						
上映日	2020.10.3(土)																												
会場	愛知芸術文化センター アートスペースA																												
入場者数	36人																												
<p>・サテライト展示等の実施</p>	<p>・サテライト展示</p> <table border="1"> <tr> <td>県陶磁美術館常設展</td> <td>4件</td> </tr> </table> <p>・移動美術館 <b>中止</b></p> <table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2021.1.23(土)～3.7(日)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>豊橋市美術博物館</td> </tr> </table>	県陶磁美術館常設展	4件	開催期間	2021.1.23(土)～3.7(日)	会場	豊橋市美術博物館																						
県陶磁美術館常設展	4件																												
開催期間	2021.1.23(土)～3.7(日)																												
会場	豊橋市美術博物館																												
<p>・県美術館ギャラリー（A～Jの10室）の運営</p>	<table border="1"> <tr> <td>入場者数</td> <td>108,078人</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>38.4%</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>許可件数</td> <td>172件</td> </tr> <tr> <td>キャンセル件数</td> <td>106件</td> </tr> <tr> <td>開催件数</td> <td>66件</td> </tr> </table>	入場者数	108,078人	利用率	38.4%	許可件数	172件	キャンセル件数	106件	開催件数	66件																		
入場者数	108,078人																												
利用率	38.4%																												
許可件数	172件																												
キャンセル件数	106件																												
開催件数	66件																												
<p>⑥県芸術劇場</p> <p>・県芸術劇場の利用状況</p>	<p>・利用率</p> <table border="1"> <tr> <td>大ホール</td> <td>24.4%</td> </tr> <tr> <td>コンサートホール</td> <td>43.0%</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>66.0%</td> </tr> </table> <p>・入場者数</p> <table border="1"> <tr> <td>大ホール</td> <td>38,400人</td> </tr> <tr> <td>コンサートホール</td> <td>49,601人</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>9,704人</td> </tr> </table> <p>・キャンセル件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>申請件数</th> <th>キャンセル件数</th> <th>開催件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大ホール</td> <td>141件</td> <td>110件</td> <td>31件</td> </tr> <tr> <td>コンサートホール</td> <td>227件</td> <td>144件</td> <td>83件</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>120件</td> <td>62件</td> <td>58件</td> </tr> </tbody> </table>	大ホール	24.4%	コンサートホール	43.0%	小ホール	66.0%	大ホール	38,400人	コンサートホール	49,601人	小ホール	9,704人	区分	申請件数	キャンセル件数	開催件数	大ホール	141件	110件	31件	コンサートホール	227件	144件	83件	小ホール	120件	62件	58件
大ホール	24.4%																												
コンサートホール	43.0%																												
小ホール	66.0%																												
大ホール	38,400人																												
コンサートホール	49,601人																												
小ホール	9,704人																												
区分	申請件数	キャンセル件数	開催件数																										
大ホール	141件	110件	31件																										
コンサートホール	227件	144件	83件																										
小ホール	120件	62件	58件																										

取組内容	実績												
<p>・(公財)愛知県文化振興事業団による公演事業</p> 	<p>・「ファミリー・プログラム」「愛知芸文フェス」「ミニセレ」の3つの柱を軸に公演事業を実施</p> <p><b>一部中止</b> <b>一部オンライン</b></p> <table border="1" data-bbox="778 322 1442 1160"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業数・公演数</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファミリー・プログラム</td> <td>5事業 26公演 (うちオンライン配信3事業) ・「THE オルガンNIGHT&amp;DAY」、『どうする!?アンデルセンさん!』など  【中止6事業 34公演】</td> <td>586人 オンライン 視聴2,434回</td> </tr> <tr> <td>愛知芸文フェス</td> <td>7事業 15公演 (うちオンライン配信2事業) ・ダンス・セレクション、【勅使川原三郎芸術監督就任記念シリーズ】『調べー笹とダンスによる』など  【中止2事業 3公演】</td> <td>59,405人 オンライン 視聴1,285回</td> </tr> <tr> <td>ミニセレ</td> <td>8事業 22公演 (うち再掲4事業 13公演) (うちオンライン配信1事業) ・中川賢一・野村誠ピアノ・コンサートなど  【中止1事業 3公演】</td> <td>1,692人 オンライン 視聴85回</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業数・公演数	来場者数	ファミリー・プログラム	5事業 26公演 (うちオンライン配信3事業) ・「THE オルガンNIGHT&DAY」、『どうする!?アンデルセンさん!』など  【中止6事業 34公演】	586人 オンライン 視聴2,434回	愛知芸文フェス	7事業 15公演 (うちオンライン配信2事業) ・ダンス・セレクション、【勅使川原三郎芸術監督就任記念シリーズ】『調べー笹とダンスによる』など  【中止2事業 3公演】	59,405人 オンライン 視聴1,285回	ミニセレ	8事業 22公演 (うち再掲4事業 13公演) (うちオンライン配信1事業) ・中川賢一・野村誠ピアノ・コンサートなど  【中止1事業 3公演】	1,692人 オンライン 視聴85回
区分	事業数・公演数	来場者数											
ファミリー・プログラム	5事業 26公演 (うちオンライン配信3事業) ・「THE オルガンNIGHT&DAY」、『どうする!?アンデルセンさん!』など  【中止6事業 34公演】	586人 オンライン 視聴2,434回											
愛知芸文フェス	7事業 15公演 (うちオンライン配信2事業) ・ダンス・セレクション、【勅使川原三郎芸術監督就任記念シリーズ】『調べー笹とダンスによる』など  【中止2事業 3公演】	59,405人 オンライン 視聴1,285回											
ミニセレ	8事業 22公演 (うち再掲4事業 13公演) (うちオンライン配信1事業) ・中川賢一・野村誠ピアノ・コンサートなど  【中止1事業 3公演】	1,692人 オンライン 視聴85回											
<p>・地域の芸術機関のハブ的な役割に関する事業</p> 	<p>・文化庁の委託事業 ジャパン・ライブエール・プロジェクト@あいち 2020 &lt;あいちオーケストラフェスティバル&gt;</p> <table border="1" data-bbox="778 1303 1442 1729"> <tbody> <tr> <td>公演楽団</td> <td>①愛知室内オーケストラ ②セントラル愛知交響楽団 ③中部フィルハーモニー交響楽団 ④名古屋フィルハーモニー交響楽団</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>①2020. 11. 5 (木) ②2020. 12. 2 (水) ③2021. 1. 31 (日) ④2021. 2. 13 (土)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>①④コンサートホール ②春日井市民会館 ③幸田町民会館</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>2,241人</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;名古屋・尾張プロジェクト&gt;</p> <table border="1" data-bbox="778 1796 1442 2065"> <tbody> <tr> <td>公演</td> <td>①東海ゆかりの能・狂言 ②子どものための演劇公演 ～劇団うりんこ ③ナゴヤ大文化まつり ④創作舞踊劇『名古屋城天守物語』 ⑤黄金ダンスプロジェクト 『月灯りの移動劇場 Peeping Garden』</td> </tr> </tbody> </table>	公演楽団	①愛知室内オーケストラ ②セントラル愛知交響楽団 ③中部フィルハーモニー交響楽団 ④名古屋フィルハーモニー交響楽団	開催期間	①2020. 11. 5 (木) ②2020. 12. 2 (水) ③2021. 1. 31 (日) ④2021. 2. 13 (土)	会場	①④コンサートホール ②春日井市民会館 ③幸田町民会館	来場者数	2,241人	公演	①東海ゆかりの能・狂言 ②子どものための演劇公演 ～劇団うりんこ ③ナゴヤ大文化まつり ④創作舞踊劇『名古屋城天守物語』 ⑤黄金ダンスプロジェクト 『月灯りの移動劇場 Peeping Garden』		
公演楽団	①愛知室内オーケストラ ②セントラル愛知交響楽団 ③中部フィルハーモニー交響楽団 ④名古屋フィルハーモニー交響楽団												
開催期間	①2020. 11. 5 (木) ②2020. 12. 2 (水) ③2021. 1. 31 (日) ④2021. 2. 13 (土)												
会場	①④コンサートホール ②春日井市民会館 ③幸田町民会館												
来場者数	2,241人												
公演	①東海ゆかりの能・狂言 ②子どものための演劇公演 ～劇団うりんこ ③ナゴヤ大文化まつり ④創作舞踊劇『名古屋城天守物語』 ⑤黄金ダンスプロジェクト 『月灯りの移動劇場 Peeping Garden』												

取組内容	実績														
	<table border="1" data-bbox="775 226 1444 685"> <tr> <td data-bbox="775 226 927 398">開催期間</td> <td data-bbox="927 226 1444 398">           ①2020. 10. 24(土)            ②2020. 11. 8(日)、15(日)            ③2020. 11. 15(日)            ④2020. 12. 12 日(土)、13(日)            ⑤2020. 12. 20(日)、2021. 1. 31(日)、2. 7(日)         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="775 398 927 645">会場</td> <td data-bbox="927 398 1444 645">           ①名古屋能楽堂            ②名古屋文理大学文化フォーラム、            ურინკო 劇場            ③日本特殊陶業市民会館            ④名古屋市芸術創造センター            ⑤ダンスハウス黄金 4422、小牧市市民会館、知多市勤労文化会館         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="775 645 927 685">来場者数</td> <td data-bbox="927 645 1444 685">1,819 人</td> </tr> </table> <p data-bbox="775 719 1010 745">&lt;三河プロジェクト&gt;</p> <table border="1" data-bbox="775 745 1444 972"> <tr> <td data-bbox="775 745 927 786">公演</td> <td data-bbox="927 745 1444 786">和太鼓「志多ら」</td> </tr> <tr> <td data-bbox="775 786 927 860">開催期間</td> <td data-bbox="927 786 1444 860">           ①2020. 10. 12(月)、13(火)            ②2020. 10. 14(水)         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="775 860 927 934">会場</td> <td data-bbox="927 860 1444 934">           ①穂の国とよはし芸術劇場 PLAT            ②豊田市民文化会館         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="775 934 927 972">来場者数</td> <td data-bbox="927 934 1444 972">1,871 人</td> </tr> </table> <ul data-bbox="762 1003 1422 1066" style="list-style-type: none"> <li>・新国立劇場バレエ団「不思議の国のアリス」 <b>中止</b></li> <li>・ナタリア・オシポワ&amp;メリル・タンカード「Two Feet」 <b>中止</b></li> </ul> <ul data-bbox="762 1102 1453 1352" style="list-style-type: none"> <li>・人材養成事業        AAF 戯曲賞、アーティスト人材養成事業（オルガニスト養成プログラム、振付家・ダンサー養成プログラム、舞台芸術ワークショップファシリテーター&amp;コーディネーター養成プログラム）、舞台芸術人材養成ラボ（アートマネジメント講座、劇場インターンシップ、舞台芸術お仕事ナビ、劇場職員セミナー、舞台芸術創造セミナー、ワークショップファシリテーター&amp;コーディネーター養成プログラム）、愛公文セミナー     </li> </ul>	開催期間	①2020. 10. 24(土) ②2020. 11. 8(日)、15(日) ③2020. 11. 15(日) ④2020. 12. 12 日(土)、13(日) ⑤2020. 12. 20(日)、2021. 1. 31(日)、2. 7(日)	会場	①名古屋能楽堂 ②名古屋文理大学文化フォーラム、 ურინკო 劇場 ③日本特殊陶業市民会館 ④名古屋市芸術創造センター ⑤ダンスハウス黄金 4422、小牧市市民会館、知多市勤労文化会館	来場者数	1,819 人	公演	和太鼓「志多ら」	開催期間	①2020. 10. 12(月)、13(火) ②2020. 10. 14(水)	会場	①穂の国とよはし芸術劇場 PLAT ②豊田市民文化会館	来場者数	1,871 人
開催期間	①2020. 10. 24(土) ②2020. 11. 8(日)、15(日) ③2020. 11. 15(日) ④2020. 12. 12 日(土)、13(日) ⑤2020. 12. 20(日)、2021. 1. 31(日)、2. 7(日)														
会場	①名古屋能楽堂 ②名古屋文理大学文化フォーラム、 ურინკო 劇場 ③日本特殊陶業市民会館 ④名古屋市芸術創造センター ⑤ダンスハウス黄金 4422、小牧市市民会館、知多市勤労文化会館														
来場者数	1,819 人														
公演	和太鼓「志多ら」														
開催期間	①2020. 10. 12(月)、13(火) ②2020. 10. 14(水)														
会場	①穂の国とよはし芸術劇場 PLAT ②豊田市民文化会館														
来場者数	1,871 人														
<ul data-bbox="220 1406 737 1464" style="list-style-type: none"> <li>・文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」の活用</li> </ul>	<p data-bbox="762 1406 1342 1433">「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に基づき実施</p> <ul data-bbox="762 1469 995 1559" style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化事業 6 事業</li> <li>・人材養成事業 4 事業</li> <li>・普及啓発事業 6 事業</li> </ul>														
<p data-bbox="220 1628 523 1686"> <b>⑦県文化情報センター</b>          ・県文化情報センターの運営       </p>	<ul data-bbox="762 1628 874 1655" style="list-style-type: none"> <li>・入場者数</li> </ul> <table border="1" data-bbox="783 1659 1177 1912"> <tr> <td data-bbox="783 1659 1023 1700">アートプラザ</td> <td data-bbox="1023 1659 1177 1700">88,533 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="783 1700 1023 1877">アートスペース(会議室・展示室)</td> <td data-bbox="1023 1700 1177 1877">26,174 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="783 1877 1023 1912">アートルाइブラリー</td> <td data-bbox="1023 1877 1177 1912">28,048 人</td> </tr> </table> <p data-bbox="1187 1704 1406 1865">       ※利用率 31%        ※新型コロナウイルス感染症の影響により、340 件キャンセル     </p> <ul data-bbox="762 1917 1342 1944" style="list-style-type: none"> <li>・アートルाइブラリーにおける芸術資料の収集、閲覧等</li> </ul> <table border="1" data-bbox="783 1948 1177 1989"> <tr> <td data-bbox="783 1948 975 1989">図書等の所蔵数</td> <td data-bbox="975 1948 1177 1989">144,573 点</td> </tr> </table>	アートプラザ	88,533 人	アートスペース(会議室・展示室)	26,174 人	アートルाइブラリー	28,048 人	図書等の所蔵数	144,573 点						
アートプラザ	88,533 人														
アートスペース(会議室・展示室)	26,174 人														
アートルाइブラリー	28,048 人														
図書等の所蔵数	144,573 点														

取組内容	実績								
<p>⑧県図書館 ・電子書籍サービスの導入 <b>再掲(P5)</b></p> 	<table border="1"> <tr> <td>利用開始日</td> <td>2021. 1. 26 (火)</td> </tr> <tr> <td>冊数</td> <td>5,529 冊</td> </tr> <tr> <td>利用状況</td> <td>47,847 件 (2021. 1. 26 (火) ~2021. 5. 31 (月))</td> </tr> <tr> <td>1日当たりの利用件数</td> <td>379.7 件/日</td> </tr> </table>	利用開始日	2021. 1. 26 (火)	冊数	5,529 冊	利用状況	47,847 件 (2021. 1. 26 (火) ~2021. 5. 31 (月))	1日当たりの利用件数	379.7 件/日
利用開始日	2021. 1. 26 (火)								
冊数	5,529 冊								
利用状況	47,847 件 (2021. 1. 26 (火) ~2021. 5. 31 (月))								
1日当たりの利用件数	379.7 件/日								
<p>・インターネットを活用した情報発信</p>	<p>SNS を活用した広報に努めた</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォロワー数</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>2020 年度末</td> <td>2,123 人</td> </tr> <tr> <td>2019 年度末</td> <td>1,894 人</td> </tr> </table>	2020 年度末	2,123 人	2019 年度末	1,894 人				
2020 年度末	2,123 人								
2019 年度末	1,894 人								
<p>・重点分野の資料の受入れ</p>	<p>重点分野の資料について、受入点数が受入数全体の 53.5%であった。</p> <table border="1"> <tr> <td>重点分野の受入点数</td> <td>5,726 点</td> </tr> <tr> <td>受入数全体</td> <td>10,695 点</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>53.5%</td> </tr> </table> <p>重点分野：ものづくり文化、地域資料、健康・医療等の資料</p>	重点分野の受入点数	5,726 点	受入数全体	10,695 点	割合	53.5%		
重点分野の受入点数	5,726 点								
受入数全体	10,695 点								
割合	53.5%								
<p>・県内市町村立図書館へのバックアップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県内外図書館等への協力貸出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・14,879 冊・点</li> </ul> </li> <li>○県図書館を経由する相互貸借 <ul style="list-style-type: none"> <li>・41,217 冊・点</li> </ul> </li> <li>○県内図書館職員に提供する研修(団体が実施する研修を含む全計) <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 5 回、参加者 405 人</li> </ul> </li> <li>○県内外で実施された図書館や関係団体が主催する研修会等への講師や委員としての職員派遣(文献発表も含む。) <ul style="list-style-type: none"> <li>・14 件、職員 21 人を派遣</li> </ul> </li> </ul>								
<p>・様々な団体との連携・協力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県機関・団体等と連携した資料の展示会については 41 回実施。カフェ形式の講演会は民間団体と連携して実施したものを含め 4 回実施した。</li> </ul>								
<p>・県図書館における 1 階エントランス Yotteko (ヨッテコ) 等を利用した企画事業の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立高校の生徒の学習活動の成果を発表する場を提供</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 6. 2 (火) ~11. 11 (水)</td> <td>県立福江高校 パネル展 地域の活性化を目指して — 高校生のパワー —</td> </tr> <tr> <td>2020. 9. 11 (金) ~10. 7 (水)</td> <td>定時制通信制生徒による作品展示 個性は十人百色</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	テーマ	2020. 6. 2 (火) ~11. 11 (水)	県立福江高校 パネル展 地域の活性化を目指して — 高校生のパワー —	2020. 9. 11 (金) ~10. 7 (水)	定時制通信制生徒による作品展示 個性は十人百色		
実施日	テーマ								
2020. 6. 2 (火) ~11. 11 (水)	県立福江高校 パネル展 地域の活性化を目指して — 高校生のパワー —								
2020. 9. 11 (金) ~10. 7 (水)	定時制通信制生徒による作品展示 個性は十人百色								

取組内容	実績						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>リベラルアーツカフェ 新たな「知」の世界へ誘い、関連資料の利活用を促進するため、専門家を招いた講演会を実施</li> </ul> <table border="1" data-bbox="775 353 1445 465"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>テーマ</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021. 3. 10 (水)</td> <td>「新美南吉のふるさと風景を次世代につなぐ」</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	テーマ	参加者	2021. 3. 10 (水)	「新美南吉のふるさと風景を次世代につなぐ」	15人
実施日	テーマ	参加者					
2021. 3. 10 (水)	「新美南吉のふるさと風景を次世代につなぐ」	15人					
<p>⑨県陶磁美術館 ・特別展、企画展、テーマ展示の開催</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別展 「The 備前 —土と炎から生まれる造形美—」 開催期間 2020. 8. 8 (土) ～9. 27 (日) 44日間 出品件数 148件 観覧者数 4,634人</li> <li>特別展 「YAYOI・モダンデザイン —ニッポンの美、ここに始まる—」 開催期間 2020. 10. 10 (土) ～12. 13 (日) 56日間 出品件数 160件 観覧者数 4,905人</li> </ul> <p>※展覧会の模様をオンライン配信 (ニコニコ動画 2020. 11. 8 放送、視聴数 約2.1万人) <b>オンライン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画展 「異才 辻晋堂の陶彫 陶芸であらざるの造形から」 開催期間 2020. 5. 19 (火) ～6. 21 (日) 30日間 出品件数 75件 観覧者数 2,028人</li> </ul> <p>2020. 4. 11～5. 31 で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により5. 19 からに会期変更した。<b>延期</b> ※展覧会の模様をオンライン配信 <b>オンライン</b> (ニコニコ動画 2020. 6. 10 放送、視聴数 約1.6万人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画展 「日本陶磁の源・陶邑窯 —猿投窯の前に立ちはだかった巨大な壁—」 会期・日数 2021. 1. 9 (土) ～3. 21 (日) 62日間 出品件数 154件 観覧者数 4,381人</li> </ul> <p>2020. 6. 13～7. 26 で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021. 1. 9 からに会期変更した。<b>延期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ展示 「癒しのノベルティ楽園」 会期・日数 2020. 7. 4 (土) ～8. 2 (日) 26日間 出品件数 213件 観覧者数 1,350人</li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による展覧会変更により臨時開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企画展 「海洋文明展—中国 海南省博物館所蔵品展—」 <b>延期</b> 開催時期未定</li> </ul>						

取組内容	実績																				
<p>・在宅陶芸「おうちで織部」</p>	<p>・愛知県陶磁美術館 公式YouTubeにて動画配信 <b>オンライン</b>  <b>【陶芸体験】2020年 織部を焼こう</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイトル</th> <th>配信開始日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①復元古窯焼成とは</td> <td>2020. 9. 4</td> </tr> <tr> <td>②原料</td> <td>2020. 9. 11</td> </tr> <tr> <td>③作陶</td> <td>2020. 9. 18</td> </tr> <tr> <td>④作陶 2 織部釉の板皿</td> <td>2020. 9. 25</td> </tr> <tr> <td>⑤作陶 特別編 こま犬</td> <td>2020. 10. 2</td> </tr> <tr> <td>⑥特別編 作陶日に向けて</td> <td>2020. 10. 9</td> </tr> <tr> <td>⑦絵付</td> <td>2020. 10. 16</td> </tr> <tr> <td>⑧施釉</td> <td>2020. 10. 31</td> </tr> </tbody> </table> <p>再生回数 9,148 回 (2021. 7. 15 時点)</p>	タイトル	配信開始日	①復元古窯焼成とは	2020. 9. 4	②原料	2020. 9. 11	③作陶	2020. 9. 18	④作陶 2 織部釉の板皿	2020. 9. 25	⑤作陶 特別編 こま犬	2020. 10. 2	⑥特別編 作陶日に向けて	2020. 10. 9	⑦絵付	2020. 10. 16	⑧施釉	2020. 10. 31		
タイトル	配信開始日																				
①復元古窯焼成とは	2020. 9. 4																				
②原料	2020. 9. 11																				
③作陶	2020. 9. 18																				
④作陶 2 織部釉の板皿	2020. 9. 25																				
⑤作陶 特別編 こま犬	2020. 10. 2																				
⑥特別編 作陶日に向けて	2020. 10. 9																				
⑦絵付	2020. 10. 16																				
⑧施釉	2020. 10. 31																				
<p>・SNSでの情報発信</p>	<p>各 SNS のフォロワー数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>2021. 6. 1 現在</th> <th>2020. 6. 1 現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フェイスブック</td> <td>約 2,500 人</td> <td>約 2,500 人</td> </tr> <tr> <td>ツイッター</td> <td>約 1,200 人</td> <td>約 500 人</td> </tr> <tr> <td>インスタグラム</td> <td>約 1,500 人</td> <td>約 900 人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	2021. 6. 1 現在	2020. 6. 1 現在	フェイスブック	約 2,500 人	約 2,500 人	ツイッター	約 1,200 人	約 500 人	インスタグラム	約 1,500 人	約 900 人								
区分	2021. 6. 1 現在	2020. 6. 1 現在																			
フェイスブック	約 2,500 人	約 2,500 人																			
ツイッター	約 1,200 人	約 500 人																			
インスタグラム	約 1,500 人	約 900 人																			
<p>・連携・情報発信事業</p> <p>※参考 2019 年度の様子</p> 	<p>・連携イベント <b>中止</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>実施日</th> <th>会場</th> <th>定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>謎解きゲーム「くらしとやきものふしぎ発見(仮称)」</td> <td>—</td> <td>陶磁美術館の敷地内</td> <td>1,200 人</td> </tr> <tr> <td>愛陶茶会</td> <td>—</td> <td>本館講堂前</td> <td>50 人</td> </tr> <tr> <td>生け花ワークショップ</td> <td>—</td> <td>陶芸館・本館 1 階通路</td> <td>20 人</td> </tr> <tr> <td>出張 陶磁美術館のやきもの体験</td> <td>—</td> <td>大型集客施設</td> <td>60 人</td> </tr> </tbody> </table>	事業区分	実施日	会場	定員	謎解きゲーム「くらしとやきものふしぎ発見(仮称)」	—	陶磁美術館の敷地内	1,200 人	愛陶茶会	—	本館講堂前	50 人	生け花ワークショップ	—	陶芸館・本館 1 階通路	20 人	出張 陶磁美術館のやきもの体験	—	大型集客施設	60 人
事業区分	実施日	会場	定員																		
謎解きゲーム「くらしとやきものふしぎ発見(仮称)」	—	陶磁美術館の敷地内	1,200 人																		
愛陶茶会	—	本館講堂前	50 人																		
生け花ワークショップ	—	陶芸館・本館 1 階通路	20 人																		
出張 陶磁美術館のやきもの体験	—	大型集客施設	60 人																		
<p>・愛知県児童総合センター連携実施プログラム</p> 	<p>・「土を焼く」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 11. 8(日)</td> <td>愛知県児童総合センター</td> <td>10 人</td> </tr> <tr> <td>2020. 12. 6(日)</td> <td>愛知県児童総合センター</td> <td>18 人</td> </tr> <tr> <td>2020. 12. 13(日)</td> <td>愛知県児童総合センター</td> <td>16 人</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	会場	参加者数	2020. 11. 8(日)	愛知県児童総合センター	10 人	2020. 12. 6(日)	愛知県児童総合センター	18 人	2020. 12. 13(日)	愛知県児童総合センター	16 人								
実施日	会場	参加者数																			
2020. 11. 8(日)	愛知県児童総合センター	10 人																			
2020. 12. 6(日)	愛知県児童総合センター	18 人																			
2020. 12. 13(日)	愛知県児童総合センター	16 人																			

取組内容	実績
・所蔵作品の有効活用	・サテライト展示「喫茶を彩る ― ティーセットの世界」
	会期・日数 2020.4.1（水）～2021.3.31（木） 306日間
	会場 愛知芸術文化センター
	展示点数 5点
	・移動美術館の開催 <span style="background-color: #ffff00;">中止</span>
	開催期間 2021.1.23（土）～3.7（日） 38日間
	会場 豊橋市美術博物館

### 1-3 文化芸術を担う人材の育成

#### ■主な施策の実施状況

##### ⑩新進芸術家の活動発表・交流の場づくり

- ・アートラボあいちにおいて、地元芸術大学との連携による展示を行うなど、大学関係者と国際芸術祭「あいち2022」との連携の場づくりを進めた。
- ・県芸術劇場においては、ダンサー同士の交流の場を作りネットワークを構築する「ダンス・セレクション」や、勅使川原芸術監督による地元ダンサー養成プログラム等を実施した。また、表現者を育てるために、次代を担う劇作家と後世に残す戯曲を発掘する「AAF 戯曲賞」や、若手音楽家にレッスンをする「オルガニスト養成事業」等の「アーティスト人材養成事業」を実施した。
- ・現代美術地域展開事業「境界のかたち 現代美術 in 大府」において、おおぶ文化交流の杜 allobuを会場として、若手現代美術作家等による現代美術作品の制作・展示を実施し、現代芸術への理解を深めた。
- ・県陶磁美術館においては、若手アーティストを講師とした「陶芸教室」等を開催し、また、瀬戸・常滑など各産地の次世代を担う若手作家の作品を南館や各種アウトリーチ活動において展示・紹介した。

##### ⑪世界へ躍進していくための環境づくり

- ・芸術文化の各分野において顕著な業績をおさめた方を表彰する「愛知県芸術文化選奨」を実施し、芸術文化の各分野において、その向上発展に貢献し、業績が顕著な方を「文化賞」として表彰するとともに、本県の芸術文化の向上に将来にわたって貢献することが期待できる者を「文化新人賞」として表彰した。

##### ⑫県立芸術大学における人材育成及び芸術の発信

- ・海外協定校との交流を実施し、国際的な教育・研究活動を推進した。
- ・芸術を必要としていながらホールや美術館に足を運ぶことが困難な方たちのもとへ芸術家が出向いてアートを届ける活動のうち、届け先を病院に絞った「病院アウトリーチプロジェクト」については、音楽・美術の大学院生を対象に病院における良質な芸術活動に関わるアーティストの育成を図るものであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、病院等でのアウトリーチ活動ができな中、動画配信によるアウトリーチ活動を実践するための準備を行った。
- ・質の高い研究を活かし、文化財の保存修復など他団体等からの受託事業を実施した。
- ・自治体等と連携し、地域文化を担う人材の育成、地域の芸術文化の発展に貢献した。
- ・アートラボあいちでの芸術大学連携プロジェクトにおける展覧会の開催や、あいちアール・ブリュット展への参画など、県の施策に積極的に参画するとともに、県美術館や（公財）愛知県文化振興事業団等との共同した取組を推進し、地域の芸術文化の発展に貢献した。



- ・学内外における演奏会、展覧会や、地域への演奏派遣等を実施し、県民が芸術に親しむ機会を創出した。



### ⑬アートマネジメントに関する人材の育成




- ・県芸術劇場において、中部圏の舞台芸術の振興を図るとともに、地域における文化芸術活動を担う学生、劇場職員及びアーティスト等のスキルアップを目指し、「舞台芸術人材養成ラボ」を実施した。
- ・愛知芸術文化センターにおいて、芸術・情報系大学等の学生のインターンシップを受け入れ、文化芸術に携わる人材養成を支援した。
- ・県図書館において、文化芸術活動を支える専門性の高い司書を育成するため、音声配信や課題添削などの手法により研修を実施した。
- ・県陶磁美術館において、大学から学芸員資格取得のための博物館実習生を受け入れ、最新の美術館の状況を踏まえた実践的な研修を行った。また、中学生、高校生の就業体験を受け入れた。


### ⑭伝統的な芸能等を担う人材の育成


- ・子供たちが地域に伝わる民俗芸能の奥深さを理解し、地域を大切にする気持ちを高めるため、民俗芸能保存団体と交流できる環境を整備し、鑑賞にとどまらず、体験・練習及び発表を組み合わせた、あいち文化遺産保存活用推進事業「伝統文化出張講座」を実施した。
- ・「文化活動事業費補助金」により、県に古くから伝承し、愛知の文化の特色となっている指定文化財等を保存伝承する目的で行う後継者育成事業を支援した。 **再掲(P2)**

## ■関連事業の取組実績

取組内容	実績												
<p>⑩新進芸術家の活動発表・交流の場づくり</p> <p>・ダンス・セレクション</p> 	<p>・ダンス・セレクション</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 10. 2(金)、3(土)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>172人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会場	参加者数	2020. 10. 2(金)、3(土)	県芸術劇場小ホール	172人						
開催日	会場	参加者数											
2020. 10. 2(金)、3(土)	県芸術劇場小ホール	172人											
<p>・地元芸術大学との連携による展示（芸術大学連携プロジェクト）</p> 	<p>・「アトラボあいち」で、3つの芸術大学（愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学）の卒業生等、16人が参加して展覧会を開催。新型コロナウイルス感染症対策を適切に行いながら、計1,227人が来場し鑑賞した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催日</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知県立芸術大学主催展覧会</td> <td>2020. 7. 23（木・祝）～ 8. 30（日）</td> <td>562人</td> </tr> <tr> <td>名古屋造形大学主催展覧会</td> <td>2020. 9. 25（金）～10. 18 （日）</td> <td>222人</td> </tr> <tr> <td>名古屋芸術大学主催展覧会</td> <td>2020. 11. 27（金）～12. 20 （日）</td> <td>443人</td> </tr> </tbody> </table> <p>開催場所：アトラボあいち</p>	区分	開催日	来場者数	愛知県立芸術大学主催展覧会	2020. 7. 23（木・祝）～ 8. 30（日）	562人	名古屋造形大学主催展覧会	2020. 9. 25（金）～10. 18 （日）	222人	名古屋芸術大学主催展覧会	2020. 11. 27（金）～12. 20 （日）	443人
区分	開催日	来場者数											
愛知県立芸術大学主催展覧会	2020. 7. 23（木・祝）～ 8. 30（日）	562人											
名古屋造形大学主催展覧会	2020. 9. 25（金）～10. 18 （日）	222人											
名古屋芸術大学主催展覧会	2020. 11. 27（金）～12. 20 （日）	443人											

取組内容	実績																								
<p>・アーティスト人材養成事業</p> 	<table border="1" data-bbox="775 226 1428 949"> <thead> <tr> <th>実施事業名</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オルガニスト養成プログラム「集まれ、未来のオルガニスト」</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>振付家・ダンサー養成プログラム ①勅使川原三郎振付ダンス公演 宮沢賢治『風の又三郎』 出演者オーディション 1次募集・審査 ②同出演者オーディション 2次募集・審査 ③同出演者のためのワークショップ ④同公演に向けた出演者の稽古 ⑤同公演に向けた出演者の稽古(オンライン) <b>オンライン</b></td> <td>延べ75人</td> </tr> <tr> <td>舞台芸術ワークショップファシリテーター養成プログラム ①広場ラボ番外編～これまでを振り返ってこれからを考える～(オンライン開催) <b>オンライン</b> ②アーティストと社会をつなぐ広場ラボ「ワークショップづくり やってみる?ふりかえる!」</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・勅使川原三郎振付ダンス公演『風の又三郎』の出演者を東海地域から募集</p> <p>・合唱団養成プログラムは新型コロナウイルス感染症の影響により中止 <b>中止</b></p>	実施事業名	参加者	オルガニスト養成プログラム「集まれ、未来のオルガニスト」	5人	振付家・ダンサー養成プログラム ①勅使川原三郎振付ダンス公演 宮沢賢治『風の又三郎』 出演者オーディション 1次募集・審査 ②同出演者オーディション 2次募集・審査 ③同出演者のためのワークショップ ④同公演に向けた出演者の稽古 ⑤同公演に向けた出演者の稽古(オンライン) <b>オンライン</b>	延べ75人	舞台芸術ワークショップファシリテーター養成プログラム ①広場ラボ番外編～これまでを振り返ってこれからを考える～(オンライン開催) <b>オンライン</b> ②アーティストと社会をつなぐ広場ラボ「ワークショップづくり やってみる?ふりかえる!」	19人																
実施事業名	参加者																								
オルガニスト養成プログラム「集まれ、未来のオルガニスト」	5人																								
振付家・ダンサー養成プログラム ①勅使川原三郎振付ダンス公演 宮沢賢治『風の又三郎』 出演者オーディション 1次募集・審査 ②同出演者オーディション 2次募集・審査 ③同出演者のためのワークショップ ④同公演に向けた出演者の稽古 ⑤同公演に向けた出演者の稽古(オンライン) <b>オンライン</b>	延べ75人																								
舞台芸術ワークショップファシリテーター養成プログラム ①広場ラボ番外編～これまでを振り返ってこれからを考える～(オンライン開催) <b>オンライン</b> ②アーティストと社会をつなぐ広場ラボ「ワークショップづくり やってみる?ふりかえる!」	19人																								
<p>・現代美術地域展開事業の実施</p>  	<p>現代美術地域展開事業「境界のかたち 現代美術 in 大府」 開催地：大府市</p> <p>・現代美術展（アーティストトーク含む）</p> <table border="1" data-bbox="775 1249 1428 1352"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021. 1. 23(土)～2. 14 (日) 23日間</td> <td>おおぶ文化交流の杜 allobu</td> <td>42,685人</td> </tr> </tbody> </table> <p>若手現代美術作家等による現代美術作品の制作・展示（出展作家6組）</p> <p>・出展作家によるワークショップ</p> <table border="1" data-bbox="775 1485 1428 1588"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈴木一太郎「ドット絵をつくろう」</td> <td>2021. 2. 7(日)、 2. 13 (土)</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="775 1619 1428 1744"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>折原智江「自分も乗っても壊れない紙をつくろう」</td> <td>2021. 2. 11(木・祝)</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地元音楽団体メンバーによるコンサート</p> <table border="1" data-bbox="775 1816 1428 1977"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「kajii の日用品楽器コンサート～現代美術展で食器は歌う～」</td> <td>2021. 1. 30(土)</td> <td>209人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会場	参加者数	2021. 1. 23(土)～2. 14 (日) 23日間	おおぶ文化交流の杜 allobu	42,685人	事業名	開催日	参加者数	鈴木一太郎「ドット絵をつくろう」	2021. 2. 7(日)、 2. 13 (土)	20人	事業名	開催日	参加者数	折原智江「自分も乗っても壊れない紙をつくろう」	2021. 2. 11(木・祝)	9人	事業名	開催日	参加者数	「kajii の日用品楽器コンサート～現代美術展で食器は歌う～」	2021. 1. 30(土)	209人
開催日	会場	参加者数																							
2021. 1. 23(土)～2. 14 (日) 23日間	おおぶ文化交流の杜 allobu	42,685人																							
事業名	開催日	参加者数																							
鈴木一太郎「ドット絵をつくろう」	2021. 2. 7(日)、 2. 13 (土)	20人																							
事業名	開催日	参加者数																							
折原智江「自分も乗っても壊れない紙をつくろう」	2021. 2. 11(木・祝)	9人																							
事業名	開催日	参加者数																							
「kajii の日用品楽器コンサート～現代美術展で食器は歌う～」	2021. 1. 30(土)	209人																							

取組内容	実績																				
<p>⑪ 世界へ躍進していくための環境づくり</p> <p>・愛知県芸術文化選奨の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>「文化賞」として4名を表彰 <table border="1" data-bbox="770 257 1310 454"> <thead> <tr> <th>受賞者</th> <th>分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加藤 訓子</td> <td>打楽器</td> </tr> <tr> <td>川口 清三</td> <td>木工芸</td> </tr> <tr> <td>松村 公嗣</td> <td>日本画</td> </tr> <tr> <td>ワディム ソロマハ</td> <td>バレエ</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>「文化新人賞」として4名を表彰 <table border="1" data-bbox="770 510 1310 707"> <thead> <tr> <th>受賞者</th> <th>分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>荒木 由香里</td> <td>現代美術</td> </tr> <tr> <td>別所 知佳</td> <td>邦楽</td> </tr> <tr> <td>松井 真人</td> <td>演劇</td> </tr> <tr> <td>務川 慧悟</td> <td>ピアノ</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>	受賞者	分野	加藤 訓子	打楽器	川口 清三	木工芸	松村 公嗣	日本画	ワディム ソロマハ	バレエ	受賞者	分野	荒木 由香里	現代美術	別所 知佳	邦楽	松井 真人	演劇	務川 慧悟	ピアノ
受賞者	分野																				
加藤 訓子	打楽器																				
川口 清三	木工芸																				
松村 公嗣	日本画																				
ワディム ソロマハ	バレエ																				
受賞者	分野																				
荒木 由香里	現代美術																				
別所 知佳	邦楽																				
松井 真人	演劇																				
務川 慧悟	ピアノ																				
<p>⑫ 県立芸術大学における人材育成及び芸術の発信</p> <p>・アーティスト・イン・レジデンス事業の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アーティスト・イン・レジデンス事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた3件を全て中止としたが、うち2件は2021年度に実施することとした。 <b>中止 一部延期</b></li> </ul>																				
<p>・海外協定校等との交流の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヨーテボリ大学音楽演劇アカデミー（スウェーデン）と連携協定を締結</li> <li>ワイマール・フランツ・リスト音楽大学（ドイツ）管打楽器学科と県立芸術大学管打楽器コースとの間の連携協定を再開</li> <li>海外大学とのオンライン交流会に参加し、2大学（ドイツ・イギリス）と今後の交流・協定の可能性について協議</li> <li>カールスルーエ美術大学（ドイツ）とお互いの大学施設において相手方学生の作品群を展示する形式の国際交流ドローイング展を企画（県立芸術大学サテライトギャラリーにて先方大学学生の作品を展示）</li> </ul>																				
<p>・病院アウトリーチプロジェクトの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた活動ができない中、状況に応じて実践すべく準備を進め、動画配信によるアウトリーチ活動を2021年度に実践する準備を行った。</li> </ul>																				
<p>・文化財の修復等に関する受託事業の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の修復等に関する新規受託事業・受託研究を5件実施（野亨寺「親鸞聖人絵伝」、長久手中壁画 他）</li> <li>豊田市や長久手市などの自治体、民間企業等との共同研究を実施</li> </ul>																				
<p>・自治体等との連携の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長久手市との大学連携推進ビジョンによる事業として、2021年1月28日に、オンラインにて4大学合同ワーキング「町づくりのデザイン」を実施した。また2021年2月23日に、オンラインにて4大学合同ワーキング「4U ワーキング報告会&amp;ごちゃまぜワークショップ」を実施した。<b>オンライン</b></li> <li>一般財団法人神戸財団からの受託事業であるセラミックデザインコンペティション「第3回セラミックライフデザインアワード2020」を実施した。</li> <li>中部圏イノベーション推進機構との連携により、ジャズコンサートを実施したほか、「MUSIC INNOVATOR'S GARAGE 賞」を設立した。</li> </ul>																				
<p>・県の施策への参画の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術大学連携プロジェクトとして、アトラボあいちにおいて県芸術大学企画「ら抜き草の仕草」を開催（20日間、入場者数562名）。会期中には芸術講座として事前収録したアーティストトークを会場内、県芸術大学Webサイト及びアトラボあいちのWebサイトで公開した。</li> </ul>																				

取組内容	実績																					
	<table border="1" data-bbox="770 248 1428 360"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2020.7.23(木・祝)～8.30(日) 金・土・日曜及び祝日のみ</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>アートラボあいち(愛知県庁大津橋分室3階)</td> </tr> </table> <p data-bbox="756 394 1433 517">・「あいちアール・ブリュット展」への参画 サテライト展における展示「マテリアルの発見」を陶磁専攻及び彫刻専攻教員が監修。また、陶磁専攻教員がアート活動支援の出前講座を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="770 517 1428 600"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2021.2.9(火)～2.14(日)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>豊川市桜ヶ丘ミュージアム</td> </tr> </table>	開催期間	2020.7.23(木・祝)～8.30(日) 金・土・日曜及び祝日のみ	会場	アートラボあいち(愛知県庁大津橋分室3階)	開催期間	2021.2.9(火)～2.14(日)	会場	豊川市桜ヶ丘ミュージアム													
開催期間	2020.7.23(木・祝)～8.30(日) 金・土・日曜及び祝日のみ																					
会場	アートラボあいち(愛知県庁大津橋分室3階)																					
開催期間	2021.2.9(火)～2.14(日)																					
会場	豊川市桜ヶ丘ミュージアム																					
<p data-bbox="225 633 735 689">・学内外における演奏会、展示会や演奏派遣の実施</p>	<p data-bbox="756 633 1433 696">・展覧会やWebサイト上での作品展示、VRによる教員展、演奏会、地域への演奏派遣の実施 <b>オンライン</b></p>																					
<p data-bbox="217 730 663 790">③アートマネジメントに関する人材の育成 ・舞台芸術人材養成ラボの実施</p> 	<table border="1" data-bbox="770 741 1428 1272"> <thead> <tr> <th colspan="2">実施事業名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実践実習プログラム 職場体験プログラム</td> <td>劇場インターンシップ</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>実践実習プログラム 職場体験プログラム</td> <td>アートマネジメント講座</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>職場体験プログラム</td> <td>舞台芸術お仕事ナビ</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>技能習熟プログラム</td> <td>劇場職員セミナー <b>オンライン</b></td> <td>延べ458人 オンライン受講者延べ181人</td> </tr> <tr> <td>創造制作プログラム</td> <td>舞台芸術創造セミナー</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>普及啓発プログラム</td> <td>舞台芸術ワークショップ ファシリテーター養成プログラム</td> <td>19人</td> </tr> </tbody> </table>	実施事業名		参加者数	実践実習プログラム 職場体験プログラム	劇場インターンシップ	11人	実践実習プログラム 職場体験プログラム	アートマネジメント講座	48人	職場体験プログラム	舞台芸術お仕事ナビ	37人	技能習熟プログラム	劇場職員セミナー <b>オンライン</b>	延べ458人 オンライン受講者延べ181人	創造制作プログラム	舞台芸術創造セミナー	25人	普及啓発プログラム	舞台芸術ワークショップ ファシリテーター養成プログラム	19人
実施事業名		参加者数																				
実践実習プログラム 職場体験プログラム	劇場インターンシップ	11人																				
実践実習プログラム 職場体験プログラム	アートマネジメント講座	48人																				
職場体験プログラム	舞台芸術お仕事ナビ	37人																				
技能習熟プログラム	劇場職員セミナー <b>オンライン</b>	延べ458人 オンライン受講者延べ181人																				
創造制作プログラム	舞台芸術創造セミナー	25人																				
普及啓発プログラム	舞台芸術ワークショップ ファシリテーター養成プログラム	19人																				
<p data-bbox="225 1301 735 1391">・県図書館、愛知県公立図書館長協議会及び愛知図書館協会による県内図書館職員向けの研修の実施</p>	<table border="1" data-bbox="770 1328 1428 1485"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知県公立図書館長協議会の研修※</td> <td>2回</td> <td>延べ144人</td> </tr> <tr> <td>愛知図書館協会の研修※</td> <td>3回</td> <td>延べ261人</td> </tr> <tr> <td>館内研修</td> <td>9回</td> <td>延べ250人</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="775 1491 1433 1581">※会場に集合しての研修の開催を見合わせ、音声配信、資料配布や課題添削、メールによる情報共有などの手法により研修を行った。</p>	区分	実施回数	参加者数	愛知県公立図書館長協議会の研修※	2回	延べ144人	愛知図書館協会の研修※	3回	延べ261人	館内研修	9回	延べ250人									
区分	実施回数	参加者数																				
愛知県公立図書館長協議会の研修※	2回	延べ144人																				
愛知図書館協会の研修※	3回	延べ261人																				
館内研修	9回	延べ250人																				
<p data-bbox="225 1621 616 1644">・学生のインターンシップの受け入れ</p>	<table border="1" data-bbox="770 1671 1428 1765"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>劇場インターンシップ</td> <td>2020.10.17(土)～11.29(日)(全14日)</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	開催日	参加者数	劇場インターンシップ	2020.10.17(土)～11.29(日)(全14日)	11人															
区分	開催日	参加者数																				
劇場インターンシップ	2020.10.17(土)～11.29(日)(全14日)	11人																				
<p data-bbox="225 1816 735 1839">・学芸員資格取得のための博物館実習生の受け入れ</p>	<p data-bbox="756 1839 1219 1861">・カレッジプログラム「博物館実習」の実施</p> <table border="1" data-bbox="770 1868 1366 2018"> <thead> <tr> <th>実施日数</th> <th>参加大学・人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3日</td> <td>愛知県立芸術大学、愛知県立大学、愛知淑徳大学、愛知大学、中京大学、中部大学、東京大学 各1人 計7人</td> </tr> </tbody> </table>	実施日数	参加大学・人数	3日	愛知県立芸術大学、愛知県立大学、愛知淑徳大学、愛知大学、中京大学、中部大学、東京大学 各1人 計7人																	
実施日数	参加大学・人数																					
3日	愛知県立芸術大学、愛知県立大学、愛知淑徳大学、愛知大学、中京大学、中部大学、東京大学 各1人 計7人																					

取組内容	実績								
<p>⑭伝統的な芸能等を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あいち文化遺産保存活用推進事業「伝統文化出張講座」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校3校で実施</li> </ul> <table border="1" data-bbox="778 259 1324 407"> <thead> <tr> <th>実施校</th> <th>実施時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊田市立追分小学校</td> <td>2020. 10</td> </tr> <tr> <td>豊田市立道慈小学校</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>半田市立岩成小学校</td> <td>2021. 1</td> </tr> </tbody> </table>	実施校	実施時期	豊田市立追分小学校	2020. 10	豊田市立道慈小学校	〃	半田市立岩成小学校	2021. 1
実施校	実施時期								
豊田市立追分小学校	2020. 10								
豊田市立道慈小学校	〃								
半田市立岩成小学校	2021. 1								
<ul style="list-style-type: none"> <li>文化活動事業費補助金（後継者育成事業）の交付 <b>再掲(P4)</b></li> </ul>	<table border="1" data-bbox="785 434 1037 515"> <tbody> <tr> <td>申請件数</td> <td>5 団体</td> </tr> <tr> <td>交付件数</td> <td>5 団体</td> </tr> </tbody> </table>	申請件数	5 団体	交付件数	5 団体				
申請件数	5 団体								
交付件数	5 団体								

## 基本目標 2 県民が等しく文化芸術に親しむことができる環境の整備

基本課題	主な施策	事業数
2-1 県民の鑑賞機会の充実	⑮ 文化芸術に関する施設の充実	15
	⑯ 鑑賞等の支援	
	⑰ アウトリーチ活動等による普及啓発、鑑賞機会の拡大	
	⑱ 所蔵作品の有効活用	
2-2 子どもの文化芸術活動の充実	⑲ 優れた文化芸術に触れる機会の提供	26
	⑳ 学校教育への支援・協力	
2-3 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実	㉑ 高齢者の文化芸術活動の充実	21
	㉒ 障害者の文化芸術活動の充実	
	㉓ 多言語での文化情報の提供等	

### 2-1 県民の鑑賞機会の充実

#### ■ 主な施策の実施状況

#### ⑮ 文化芸術に関する施設の充実

- ・ 県芸術劇場においては、大ホール及びコンサートホールに車椅子スペースが設けられているほか、大ホールにはおやこ室も設置されており、それぞれ活用されている。また、自主事業では聴覚障害者のための日本語字幕対応や磁気ループシステム対応、視覚障害者のための開演前の説明会、点字プログラムの作成等を行い、さらには Web サイトにバリアフリー情報を掲載するなどして、情報保障を促進し、県民の誰もが気軽に文化芸術を鑑賞できるよう配慮に努めた。
- ・ 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、スタッフは全員マスクを着用し、必要に応じてフェースシールド・手袋も着用、すべての出演者、スタッフに対して検温の実施、来場時のサーモグラフィーによる検温などを実施した。

#### ⑯ 鑑賞等の支援

- ・ 県美術館や県陶磁美術館において視覚障害者が気軽に美術鑑賞できるプログラムの実施については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止した事業もあったが、オンラインを活用するなど事業実施を図った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響のなか、県内文化施設の所蔵作品等を題材とした作品の制作をアーティストに依頼し、特設ウェブサイトを通して、オンライン配信（AICHI\*ONLINE）を実施した。また、伝統的な文化芸術活動の魅力を伝える映像作品を制作し、地元テレビ局での放映、オンラインでの配信（愛知県伝統文化活動緊急支援事業「伎芸精髓（ぎげいせいずい） あいちのエスプリ」）を実施した。**再掲(P2)**  
また、新型コロナウイルス感染症対策をとりつつ「在宅」で、オンライン配信された動画を見ながら、やきものづくりを体験できる在宅陶芸「おうちで織部」を開催した。**再掲(P13)**
- ・ 県芸術劇場において、若者を対象に一般より安価な料金を設定した公演日に「U25（25歳以下対象の割引料金）」や、より多くの方に観覧してもらうため、障害がある方への鑑賞サポート、託児サービス、多言語対応等を行った。
- ・ 中部を代表するプロオーケストラ集団である「名古屋フィルハーモニー交響楽団」の優れた生演奏

を、多くの県民が低料金で鑑賞することができるように支援した。

- ・人材育成も視野に入れつつ、セントラル愛知交響楽団、愛知室内オーケストラ、名古屋少年少女合唱団等、実演家団体等との連携を一層強化し、優れた文化芸術の鑑賞機会の充実に努めた。
- ・県芸術劇場においては、文化庁受託事業として、コロナ禍により失われた文化芸術体験の機会を取り戻すことを目的とした「ジャパン・ライブエール・プロジェクト@あいち 2020」を実施した。

#### 再掲(P12)

- ・県立芸術大学においては、県民が気軽に文化芸術を体験できるように、受講者と一体となって学ぶ「参加型」の講座である「愛知芸大芸術講座」を実施した。



#### ⑪アウトリーチ活動等による普及啓発、鑑賞機会の拡大

- ・県芸術劇場においては、地域の文化施設等と協力しながら芸術の一端を体験してもらえよう、市町村の劇場と連携してワークショップ等を実施した。
- ・県陶磁美術館においては、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となった事業もあったが、「県政お届け講座」や「愛知県児童総合センター連携実施プログラム」といった体験型の普及啓発活動を通じて、美術の楽しみ方を伝えた。再掲(P13)
- ・県陶磁美術館においては、「在宅」で、オンライン配信された動画を見ながら、やきものづくりを体験できる在宅陶芸「おうちで織部」を開催した。再掲(P13)
- ・県立芸術大学において、文化芸術に触れる機会の少ない人に良質なアートを届ける、病院アウトリーチ・プロジェクトを例年実施している。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた県内の病院等での活動ができない中、状況に応じて実践すべく準備を進め、動画配信によるアウトリーチ活動を2021年度に実践する準備を行った。再掲(P22)
- ・県芸術劇場では、幅広い年齢、対象者に合わせて、地域の人材を活用するなどにより、ワークショップや講座等の多様なプログラムを開催した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となった事業もあったが、県美術館では、県内の各地域に赴き、「県政お届け講座」や、県図書館での連続講座を通じて、美術の楽しみ方を説明した。
- ・次代を担う若手芸術家の発掘・育成を行うとともに、子どもたちを始め、多くの県民の方々に文化芸術に触れていただき、文化芸術のすそ野を広げていくためのイベント、現代美術地域展開事業「境界のかたち 現代美術 in 大府」を開催した。再掲(P22)

#### ⑩所蔵作品の有効活用



- ・県美術館、県陶磁美術館では、県内外における他の美術館等からの要請に応じて所蔵資料の貸出を行うなど、所蔵作品の有効活用を図った。また、県陶磁美術館では、愛知芸術文化センターでサテライト展示を行った。再掲(P13)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、気軽に県美術館・県陶磁美術館の所蔵作品に親しんでもらう「移動美術館」は、開催中止となった。



■関連事業の取組実績

取組内容	実績																																
<p>⑮文化芸術に関する施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の鑑賞支援</li> </ul> 	<p>&lt;視覚障害者向け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点字翻訳パンフレットの配布</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>配布数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリスマスはオルガンだ！2020</td> <td>2020. 12. 23(水)</td> <td>県芸術劇場コンサートホール</td> <td>2冊</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサート公演前の説明会</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリスマスはオルガンだ！2020</td> <td>2020. 12. 23(水)</td> <td>県芸術劇場コンサートホール</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;聴覚障害者向け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・字幕設置</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公演名</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オペラ『ラ・ボエーム』</td> <td>2021. 2. 6(土)</td> <td>県芸術劇場大ホール</td> <td>不明</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;ワークショップの開催&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ソーシャルインクルージョン・ワークショップ 2021～アートとコミュニケーションについて考え・体験し・話す3日間～</td> <td>2021. 1. 28(木)～30(土)</td> <td>県芸術劇場小ホール、オンライン <b>オンライン</b></td> <td>45人 オンライン受講者 52人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※公演予定だったバリアフリーのノウハウをつめこんだ多感覚パフォーマンス『ジャンボリー』が新型コロナウイルス感染症の影響により中止になったことから、代替としてワークショップを開催した。</p>	公演名	開催日	会場	配布数	クリスマスはオルガンだ！2020	2020. 12. 23(水)	県芸術劇場コンサートホール	2冊	公演名	開催日	会場	利用者数	クリスマスはオルガンだ！2020	2020. 12. 23(水)	県芸術劇場コンサートホール	2人	公演名	開催日	会場	利用者数	オペラ『ラ・ボエーム』	2021. 2. 6(土)	県芸術劇場大ホール	不明	事業名	開催日	会場	参加者数	ソーシャルインクルージョン・ワークショップ 2021～アートとコミュニケーションについて考え・体験し・話す3日間～	2021. 1. 28(木)～30(土)	県芸術劇場小ホール、オンライン <b>オンライン</b>	45人 オンライン受講者 52人
公演名	開催日	会場	配布数																														
クリスマスはオルガンだ！2020	2020. 12. 23(水)	県芸術劇場コンサートホール	2冊																														
公演名	開催日	会場	利用者数																														
クリスマスはオルガンだ！2020	2020. 12. 23(水)	県芸術劇場コンサートホール	2人																														
公演名	開催日	会場	利用者数																														
オペラ『ラ・ボエーム』	2021. 2. 6(土)	県芸術劇場大ホール	不明																														
事業名	開催日	会場	参加者数																														
ソーシャルインクルージョン・ワークショップ 2021～アートとコミュニケーションについて考え・体験し・話す3日間～	2021. 1. 28(木)～30(土)	県芸術劇場小ホール、オンライン <b>オンライン</b>	45人 オンライン受講者 52人																														
<p>⑯鑑賞等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋フィルハーモニー交響楽団への支援</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助額</th> <th>補助対象事業</th> <th>実施回数</th> <th>中止回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">76,500千円</td> <td>定期演奏会</td> <td>19回</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>巡回演奏会</td> <td>10回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>移動音楽教室</td> <td>13回</td> <td>20回</td> </tr> </tbody> </table>	補助額	補助対象事業	実施回数	中止回数	76,500千円	定期演奏会	19回	8回	巡回演奏会	10回	5回	移動音楽教室	13回	20回																		
補助額	補助対象事業	実施回数	中止回数																														
76,500千円	定期演奏会	19回	8回																														
	巡回演奏会	10回	5回																														
	移動音楽教室	13回	20回																														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実演家団体等と連携した文化芸術の鑑賞機会の充実</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャパン・ライブエール・プロジェクト@あいち 2020 <b>再掲(P17)</b></li> </ul> <p>&lt;あいちオーケストラフェスティバル&gt;</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>公演楽団</td> <td>①愛知室内オーケストラ ②セントラル愛知交響楽団 ③中部フィルハーモニー交響楽団 ④名古屋フィルハーモニー交響楽団</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>①2020. 11. 5(木) ②2020. 12. 2(水) ③2021. 1. 31(日) ④2021. 2. 13(土)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>①④コンサートホール ②春日井市民会館 ③幸田町民会館</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>2,241人</td> </tr> </tbody> </table>	公演楽団	①愛知室内オーケストラ ②セントラル愛知交響楽団 ③中部フィルハーモニー交響楽団 ④名古屋フィルハーモニー交響楽団	開催期間	①2020. 11. 5(木) ②2020. 12. 2(水) ③2021. 1. 31(日) ④2021. 2. 13(土)	会場	①④コンサートホール ②春日井市民会館 ③幸田町民会館	来場者数	2,241人																								
公演楽団	①愛知室内オーケストラ ②セントラル愛知交響楽団 ③中部フィルハーモニー交響楽団 ④名古屋フィルハーモニー交響楽団																																
開催期間	①2020. 11. 5(木) ②2020. 12. 2(水) ③2021. 1. 31(日) ④2021. 2. 13(土)																																
会場	①④コンサートホール ②春日井市民会館 ③幸田町民会館																																
来場者数	2,241人																																



取組内容	実績																																								
	<p>&lt;名古屋・尾張プロジェクト&gt;</p> <table border="1" data-bbox="772 257 1428 846"> <tr> <td>公演</td> <td>①東海ゆかりの能・狂言 ②子どものための演劇公演 ～ 劇団うりんこ ③ナゴヤ大文化まつり ④創作舞踊劇『名古屋城天守物語』 ⑤黄金ダンスプロジェクト 『月灯りの移動劇場 Peeping Garden』</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>①2020.10.24(土) ②2020.11.8(日)、15(日) ③2020.11.15(日) ④2020.12.12(土)、13(日) ⑤2020.12.20(日)、2021.1.31(日)、2.7(日)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>①名古屋能楽堂 ②名古屋文理大学文化フォーラム、うりんこ劇場 ③日本特殊陶業市民会館 ④名古屋市芸術創造センター ⑤黄金 4422、小牧市市民会館、 知多市勤労文化会館</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>1,819 人</td> </tr> </table> <p>&lt;三河プロジェクト&gt;</p> <table border="1" data-bbox="772 909 1428 1122"> <tr> <td>公演</td> <td>和太鼓「志多ら」</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>①2020.10.12(月)、13(火) ②2020.10.14(水)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>①穂の国とよはし芸術劇場 PLAT ②豊田市民文化会館</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>1,871 人</td> </tr> </table> <p>・新国立劇場バレエ団「不思議の国のアリス」<b>中止</b></p> <table border="1" data-bbox="772 1184 1428 1319"> <thead> <tr> <th>団体等名</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セントラル愛知交響楽団</td> <td>2020.6.20(土)、 21(日)</td> <td>県芸術劇場大ホール</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「アラジンと魔法の音楽会」<b>中止</b></p> <table border="1" data-bbox="772 1382 1428 1516"> <thead> <tr> <th>団体等名</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知室内オーケストラ</td> <td>2020.8.20(木)</td> <td>県芸術劇場大ホール</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「バスティアンとバスティエンス」<b>中止</b></p> <table border="1" data-bbox="772 1579 1428 1713"> <thead> <tr> <th>団体等名</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知室内オーケストラ</td> <td>2020.6.14(日)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>○勅使川原芸術監督と愛知県内バレエ団との意見交換会の開催 <b>中止</b> 4月13日に2回目の懇談会を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となった。</p>	公演	①東海ゆかりの能・狂言 ②子どものための演劇公演 ～ 劇団うりんこ ③ナゴヤ大文化まつり ④創作舞踊劇『名古屋城天守物語』 ⑤黄金ダンスプロジェクト 『月灯りの移動劇場 Peeping Garden』	開催期間	①2020.10.24(土) ②2020.11.8(日)、15(日) ③2020.11.15(日) ④2020.12.12(土)、13(日) ⑤2020.12.20(日)、2021.1.31(日)、2.7(日)	会場	①名古屋能楽堂 ②名古屋文理大学文化フォーラム、うりんこ劇場 ③日本特殊陶業市民会館 ④名古屋市芸術創造センター ⑤黄金 4422、小牧市市民会館、 知多市勤労文化会館	来場者数	1,819 人	公演	和太鼓「志多ら」	開催期間	①2020.10.12(月)、13(火) ②2020.10.14(水)	会場	①穂の国とよはし芸術劇場 PLAT ②豊田市民文化会館	来場者数	1,871 人	団体等名	開催日	会場	来場者数	セントラル愛知交響楽団	2020.6.20(土)、 21(日)	県芸術劇場大ホール	—	団体等名	開催日	会場	来場者数	愛知室内オーケストラ	2020.8.20(木)	県芸術劇場大ホール	—	団体等名	開催日	会場	来場者数	愛知室内オーケストラ	2020.6.14(日)	県芸術劇場小ホール	—
公演	①東海ゆかりの能・狂言 ②子どものための演劇公演 ～ 劇団うりんこ ③ナゴヤ大文化まつり ④創作舞踊劇『名古屋城天守物語』 ⑤黄金ダンスプロジェクト 『月灯りの移動劇場 Peeping Garden』																																								
開催期間	①2020.10.24(土) ②2020.11.8(日)、15(日) ③2020.11.15(日) ④2020.12.12(土)、13(日) ⑤2020.12.20(日)、2021.1.31(日)、2.7(日)																																								
会場	①名古屋能楽堂 ②名古屋文理大学文化フォーラム、うりんこ劇場 ③日本特殊陶業市民会館 ④名古屋市芸術創造センター ⑤黄金 4422、小牧市市民会館、 知多市勤労文化会館																																								
来場者数	1,819 人																																								
公演	和太鼓「志多ら」																																								
開催期間	①2020.10.12(月)、13(火) ②2020.10.14(水)																																								
会場	①穂の国とよはし芸術劇場 PLAT ②豊田市民文化会館																																								
来場者数	1,871 人																																								
団体等名	開催日	会場	来場者数																																						
セントラル愛知交響楽団	2020.6.20(土)、 21(日)	県芸術劇場大ホール	—																																						
団体等名	開催日	会場	来場者数																																						
愛知室内オーケストラ	2020.8.20(木)	県芸術劇場大ホール	—																																						
団体等名	開催日	会場	来場者数																																						
愛知室内オーケストラ	2020.6.14(日)	県芸術劇場小ホール	—																																						
<p>・愛知芸大芸術講座の開催</p>	<p>・「現代音楽からミュージカルへ」や「フィンランドと日本の音楽」等、愛知県立芸術大学の教育研究成果を生かした芸術講座を計5回実施（延べ1,082名参加）</p>																																								

取組内容	実績																		
<p>⑪アウトリーチ活動等による普及啓発、鑑賞機会の拡大</p> <p>・県芸術劇場によるワークショップの実施</p> 	<p>○多文化子育てサロン・ワークショップ「赤ちゃんと一緒にダンス！」 <b>オンライン</b></p> <table border="1" data-bbox="772 288 1428 371"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 12. 20 (日)</td> <td>オンライン開催</td> <td>11組 19人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○多文化共生プログラムの一環として在住外国人を対象に演劇ワークショップを県内市町村で実施。 <b>中止</b></p> <p>○館内喫茶店にて「カフェトーク」を実施。 <b>中止</b></p>	開催日	会場	参加者数	2020. 12. 20 (日)	オンライン開催	11組 19人												
開催日	会場	参加者数																	
2020. 12. 20 (日)	オンライン開催	11組 19人																	
<p>・県陶磁美術館におけるアウトリーチ活動等の実施</p> 	<p>・県政お届け講座</p> <table border="1" data-bbox="772 676 1428 759"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 10. 14(水)</td> <td>瀬戸市立特別支援学校</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ワークショップ <b>中止</b></p> <p>・愛知県児童総合センター連携実施プログラム <b>再掲(P21)</b></p> <table border="1" data-bbox="772 869 1428 1041"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 11. 8(日)</td> <td>県児童総合センター</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>2020. 12. 6(日)</td> <td>県児童総合センター</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>2020. 12. 13(日)</td> <td>県児童総合センター</td> <td>16人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会場	参加者数	2020. 10. 14(水)	瀬戸市立特別支援学校	5人	開催日	会場	参加者数	2020. 11. 8(日)	県児童総合センター	10人	2020. 12. 6(日)	県児童総合センター	18人	2020. 12. 13(日)	県児童総合センター	16人
開催日	会場	参加者数																	
2020. 10. 14(水)	瀬戸市立特別支援学校	5人																	
開催日	会場	参加者数																	
2020. 11. 8(日)	県児童総合センター	10人																	
2020. 12. 6(日)	県児童総合センター	18人																	
2020. 12. 13(日)	県児童総合センター	16人																	
<p>・ワークショップ等の開催</p>	<p>・げきじょうたんけんツアー <b>オンライン</b></p> <table border="1" data-bbox="772 1122 1428 1256"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>観覧者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 9. 25 (金) ~</td> <td>オンライン</td> <td>1,196回 (2021. 3. 31時点)</td> </tr> </tbody> </table> <p>例年は小学校低学年を対象に、愛知県芸術劇場スタッフが劇場を案内するツアーを開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により劇場開催を中止し、代替として大ホールを探検する動画を撮影しYouTubeにて配信した。</p> <p>・赤ちゃんと踊ろう <b>オンライン</b></p> <table border="1" data-bbox="772 1447 1428 1529"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 7. 25(土)</td> <td>オンライン</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「ダンス・スコール」特別講座シンポジウム 「踊る女性の身体」ドイツ・イタリア・ロシアのアヴァンギャルド舞踊</p> <table border="1" data-bbox="772 1655 1428 1760"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021. 3. 27(土)</td> <td>愛知芸術文化センター アートスペースA</td> <td>116人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会場	観覧者数	2020. 9. 25 (金) ~	オンライン	1,196回 (2021. 3. 31時点)	開催日	会場	参加者数	2020. 7. 25(土)	オンライン	11人	開催日	会場	参加者数	2021. 3. 27(土)	愛知芸術文化センター アートスペースA	116人
開催日	会場	観覧者数																	
2020. 9. 25 (金) ~	オンライン	1,196回 (2021. 3. 31時点)																	
開催日	会場	参加者数																	
2020. 7. 25(土)	オンライン	11人																	
開催日	会場	参加者数																	
2021. 3. 27(土)	愛知芸術文化センター アートスペースA	116人																	
<p>・県政お届け講座の実施</p>	<p>愛知県美術館 「美術館の仕事～もっと楽しむ美術と美術館」</p> <p>・尾張旭市中央公民館 長寿学園 <b>中止</b> 2020. 7. 28</p> <p>・小牧市東部市民センター 東部つつじ学級で実施 2020. 8. 28 参加者 30人</p>																		

取組内容	実績																								
<p>・県図書館での連続講座の実施</p>	<p>・アーツスペシャリストによる連続講座 場所：県図書館 5階 大会議室</p> <table border="1" data-bbox="772 286 1428 533"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>行事名</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 10. 28 (水)</td> <td>『ラ・ボエーム』に見る人間関係とオペラスタッフのコミュニケーション</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>2020. 11. 25 (水)</td> <td>文学・言葉と美術</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>2020. 12. 16 (水)</td> <td>近代の人 宮沢賢治</td> <td>17人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	行事名	参加者	2020. 10. 28 (水)	『ラ・ボエーム』に見る人間関係とオペラスタッフのコミュニケーション	20人	2020. 11. 25 (水)	文学・言葉と美術	21人	2020. 12. 16 (水)	近代の人 宮沢賢治	17人												
開催日	行事名	参加者																							
2020. 10. 28 (水)	『ラ・ボエーム』に見る人間関係とオペラスタッフのコミュニケーション	20人																							
2020. 11. 25 (水)	文学・言葉と美術	21人																							
2020. 12. 16 (水)	近代の人 宮沢賢治	17人																							
<p>・現代美術地域展開事業の実施 <b>再掲(P24)</b></p>  	<p>現代美術地域展開事業「境界のかたち 現代美術 in 大府」 開催地：大府市</p> <p>・現代美術展（アーティストトーク含む）</p> <table border="1" data-bbox="772 712 1428 817"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021. 1. 23(土)～2. 14 (日) 23日間</td> <td>おおぶ文化交流の杜 allobu</td> <td>42,685人</td> </tr> </tbody> </table> <p>若手現代美術作家等による現代美術作品の制作・展示（出展作家6組）</p> <p>・出展作家によるワークショップ</p> <table border="1" data-bbox="772 943 1428 1048"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈴木一太郎「ドット絵をつくろう」</td> <td>2021. 2. 7(日)、2. 13 (土)</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="772 1077 1428 1211"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>折原智江「自分が乗っても壊れない紙をつくろう」</td> <td>2021. 2. 11(木・祝)</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地元音楽団体メンバーによるコンサート</p> <table border="1" data-bbox="772 1272 1428 1440"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「kajii の日用品楽器コンサート～現代美術展で食器は歌う～」</td> <td>2021. 1. 30(土)</td> <td>209人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会場	参加者数	2021. 1. 23(土)～2. 14 (日) 23日間	おおぶ文化交流の杜 allobu	42,685人		開催日	参加者数	鈴木一太郎「ドット絵をつくろう」	2021. 2. 7(日)、2. 13 (土)	20人		開催日	参加者数	折原智江「自分が乗っても壊れない紙をつくろう」	2021. 2. 11(木・祝)	9人		開催日	参加者数	「kajii の日用品楽器コンサート～現代美術展で食器は歌う～」	2021. 1. 30(土)	209人
開催日	会場	参加者数																							
2021. 1. 23(土)～2. 14 (日) 23日間	おおぶ文化交流の杜 allobu	42,685人																							
	開催日	参加者数																							
鈴木一太郎「ドット絵をつくろう」	2021. 2. 7(日)、2. 13 (土)	20人																							
	開催日	参加者数																							
折原智江「自分が乗っても壊れない紙をつくろう」	2021. 2. 11(木・祝)	9人																							
	開催日	参加者数																							
「kajii の日用品楽器コンサート～現代美術展で食器は歌う～」	2021. 1. 30(土)	209人																							
<p>⑩所蔵作品の有効活用</p> <p>・県美術館、県陶磁美術館によるサテライト展示の実施 <b>再掲(P16、P22)</b></p>	<p>・県美術館</p> <table border="1" data-bbox="772 1547 1428 1653"> <thead> <tr> <th>会期</th> <th>会場</th> <th>展示点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 4. 1(水)～ 2021. 3. 31(水)</td> <td>県陶磁美術館常設展</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・県陶磁美術館</p> <table border="1" data-bbox="772 1713 1428 1818"> <thead> <tr> <th>会期</th> <th>会場</th> <th>展示点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 4. 1(水)～ 2021. 3. 31(水)</td> <td>愛知芸術文化センター</td> <td>5点</td> </tr> </tbody> </table> <p>・移動美術館 <b>中止</b></p> <table border="1" data-bbox="772 1868 1428 1951"> <thead> <tr> <th>開催期間</th> <td>2021. 1. 23(土)～3. 7(日)</td> </tr> <tr> <th>会場</th> <td>豊橋市美術博物館</td> </tr> </thead> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止</p>	会期	会場	展示点数	2020. 4. 1(水)～ 2021. 3. 31(水)	県陶磁美術館常設展	4件	会期	会場	展示点数	2020. 4. 1(水)～ 2021. 3. 31(水)	愛知芸術文化センター	5点	開催期間	2021. 1. 23(土)～3. 7(日)	会場	豊橋市美術博物館								
会期	会場	展示点数																							
2020. 4. 1(水)～ 2021. 3. 31(水)	県陶磁美術館常設展	4件																							
会期	会場	展示点数																							
2020. 4. 1(水)～ 2021. 3. 31(水)	愛知芸術文化センター	5点																							
開催期間	2021. 1. 23(土)～3. 7(日)																								
会場	豊橋市美術博物館																								

## 2-2 子どもの文化芸術活動の充実

### ■主な施策の実施状況

#### ⑱優れた文化芸術に触れる機会の提供



- ・次代を担う若手芸術家の発掘・育成を行うとともに、子どもたちを始め、多くの県民の方々に文化芸術に触れていただき、文化芸術のすそ野を広げていくためのイベント、現代美術地域展開事業「境界のかたち 現代美術 in 大府」を開催した。**再掲(P22)**
- ・県芸術劇場においては、将来の観客を育成するために、高校生のゲネプロへの無料招待を実施し、質の高い舞台芸術の体験機会の拡大・充実を図った。さらに、昨年に引き続き、県内の公立劇場・ホールに「劇場と子ども7万人プロジェクト」への賛同の働きかけも積極的に行った。  
なお、小中学生を対象に、学校単位で招待する愛知県芸術劇場舞台芸術鑑賞教室は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、次年度以降、実施していく。
- ・県芸術劇場では、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止、オンラインでの実施となったものもあったが、「ファミリー・プログラム」などを実施し、子どもを中心に幅広い年齢層が芸術文化に触れる機会を提供した。
- ・「愛知県子供読書活動推進計画」に基づき、子供の読書活動に関する施策を総合的に推進している中で、「高校生ビブリオバトル愛知県大会」を開催し、発表者16名、観覧者64名が参加した。
- ・読書を通じて青少年の健全育成を図る「青少年によい本をすすめる県民運動」については、毎年10月を「青少年によい本をすすめる県民運動」強調月間に設定し、県内に在住、在勤、在学している青少年を対象に読書感想文・感想画を募集した。総数で13,868点の応募があり、愛知県書店商業組合の協賛により応募の多かった61校に1,150冊の図書を寄贈した。

#### ⑳学校教育への支援・協力

- ・国際芸術祭「あいち2022」における、学校向けプログラムなどの実施に向けて、開催準備を行った。
- ・県美術館においては、小学校・中学校・高校の教員を対象とした「鑑賞学習ワーキンググループ」を一部実施し、また県陶磁美術館においては、スクールプログラムとして「学校出前講座」を実施し、鑑賞教育の支援を行った。
- ・文化芸術への関心を高め、創造性豊かな人間を育成するため、1999年度から毎年実施し、県内の国公立高等学校文化部生徒による一大祭典である、「アートフェスタ - 愛知県高等学校総合文化祭 - 」を開催した。
- ・文化部活動感染症対策事業費補助金として、高等学校文化部活動にかかる県大会等において、新型コロナウイルス感染症予防対策を十分に講じるための経費を支援した。**再掲(P3)**

■関連事業の取組実績

取組内容	実績																								
<p>⑱優れた文化芸術に触れる機会の提供</p> <p>・現代美術地域展開事業の実施 <b>再掲(P24)</b></p>  	<p>現代美術地域展開事業「境界のかたち 現代美術 in 大府」 開催地：大府市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代美術展（アーティストトーク含む）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021. 1. 23(土)～2. 14 (日) 23 日間</td> <td>おおぶ文化交流の杜 allobu</td> <td>42, 685 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>若手現代美術作家等による現代美術作品の制作・展示（出展作家 6 組）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出展作家によるワークショップ</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鈴木一太郎「ドット絵をつくろう」</td> <td>2021. 2. 7(日)、 2. 13 (土)</td> <td>20 人</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>折原智江「自分が乗っても壊れない紙をつくろう」</td> <td>2021. 2. 11(木・祝)</td> <td>9 人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>地元音楽団体メンバーによるコンサート</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「kajii の日用品楽器コンサート～現代美術展で食器は歌う～」</td> <td>2021. 1. 30(土)</td> <td>209 人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会場	参加者数	2021. 1. 23(土)～2. 14 (日) 23 日間	おおぶ文化交流の杜 allobu	42, 685 人		開催日	参加者数	鈴木一太郎「ドット絵をつくろう」	2021. 2. 7(日)、 2. 13 (土)	20 人		開催日	参加者数	折原智江「自分が乗っても壊れない紙をつくろう」	2021. 2. 11(木・祝)	9 人		開催日	参加者数	「kajii の日用品楽器コンサート～現代美術展で食器は歌う～」	2021. 1. 30(土)	209 人
開催日	会場	参加者数																							
2021. 1. 23(土)～2. 14 (日) 23 日間	おおぶ文化交流の杜 allobu	42, 685 人																							
	開催日	参加者数																							
鈴木一太郎「ドット絵をつくろう」	2021. 2. 7(日)、 2. 13 (土)	20 人																							
	開催日	参加者数																							
折原智江「自分が乗っても壊れない紙をつくろう」	2021. 2. 11(木・祝)	9 人																							
	開催日	参加者数																							
「kajii の日用品楽器コンサート～現代美術展で食器は歌う～」	2021. 1. 30(土)	209 人																							
<p>・劇場と子ども7万人プロジェクトの実施</p> <p>※参考 2019 年度の様子</p>  <p>(C)Kosaku Nakagawa</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室 2020 ニッセイ名作シリーズ 2020 オペラ『セビリアの理髪師』 <b>中止</b></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 12. 3(木)</td> <td>県芸術劇場大ホール</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県芸術劇場舞台芸術鑑賞教室 2020 『小さな島とエヴァ』県内ツアー <b>中止</b></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 5. 8(金)、22(金)、 27(水)</td> <td>新城市、北名古屋市、 西尾市</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室 2020 オペラ『バステイアンとバステイエンヌ』 <b>中止</b></li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 6. 19(金)</td> <td>碧南市芸術文化ホール</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会場	参加者数	2020. 12. 3(木)	県芸術劇場大ホール	—	開催日	会場	参加者数	2020. 5. 8(金)、22(金)、 27(水)	新城市、北名古屋市、 西尾市	—	開催日	会場	参加者数	2020. 6. 19(金)	碧南市芸術文化ホール	—						
開催日	会場	参加者数																							
2020. 12. 3(木)	県芸術劇場大ホール	—																							
開催日	会場	参加者数																							
2020. 5. 8(金)、22(金)、 27(水)	新城市、北名古屋市、 西尾市	—																							
開催日	会場	参加者数																							
2020. 6. 19(金)	碧南市芸術文化ホール	—																							
<p>・高校生をゲネプロに招待</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>第 18 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演「朽ちた蔓延る」</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 11. 6 (金)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>13 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により、学校単位での招待は実施しなかったが、希望者を招待した。</p>	開催日	会場	参加者数	2020. 11. 6 (金)	県芸術劇場小ホール	13 人																		
開催日	会場	参加者数																							
2020. 11. 6 (金)	県芸術劇場小ホール	13 人																							

取組内容	実績																																	
<p>・ファミリー・プログラムの実施</p> 	<p>・「どうする！？アンデルセンさん」</p> <table border="1" data-bbox="772 250 1428 459"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 8. 5(水)、8(土)、9(日)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>2020. 8. 7(金)、15(土)、20(木)</td> <td>名古屋市千種文化小劇場、名古屋市瑞穂文化小劇場、幸田町民会館</td> <td>133人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※社会的距離を取った新しい形での子ども向けパフォーマンスを創作し、愛知県芸術劇場と、愛知県内の劇場3か所と連携してツアー公演を行った。</p> <p>・赤ちゃんと踊ろう <b>オンライン</b> <b>再掲(P32)</b></p> <table border="1" data-bbox="772 616 1428 698"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 7. 25(土)</td> <td>オンライン</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・げきじょうたんけんツアー <b>オンライン</b> <b>再掲(P32)</b></p> <table border="1" data-bbox="772 761 1428 891"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>観覧者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 9. 25(金)～</td> <td>オンライン</td> <td>1,196回 (2021. 3. 31現在)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※例年は小学校低学年を対象に、愛知県芸術劇場スタッフが劇場を案内するツアーを開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により劇場開催を中止し、代替として大ホールを探検する動画を撮影しYouTubeにて配信した。</p> <p>・THE オルガンNIGHT &amp; DAY 2020</p> <table border="1" data-bbox="772 1086 1428 1191"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 7. 29(水)、30(木)</td> <td>県芸術劇場コンサートホール</td> <td>391人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※全3公演のうち、1公演を中止し、無観客での演奏を撮影してYouTube配信した <b>一部オンライン</b></p> <p>・キッズダンスワークショップ <b>中止</b></p> <table border="1" data-bbox="772 1321 1428 1400"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 7. 24(金・祝)</td> <td>県芸術劇場大リハーサル室</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会場	参加者数	2020. 8. 5(水)、8(土)、9(日)	県芸術劇場小ホール	51人	2020. 8. 7(金)、15(土)、20(木)	名古屋市千種文化小劇場、名古屋市瑞穂文化小劇場、幸田町民会館	133人	開催日	会場	参加者数	2020. 7. 25(土)	オンライン	11人	開催日	会場	観覧者数	2020. 9. 25(金)～	オンライン	1,196回 (2021. 3. 31現在)	開催日	会場	参加者数	2020. 7. 29(水)、30(木)	県芸術劇場コンサートホール	391人	開催日	会場	参加者数	2020. 7. 24(金・祝)	県芸術劇場大リハーサル室	—
開催日	会場	参加者数																																
2020. 8. 5(水)、8(土)、9(日)	県芸術劇場小ホール	51人																																
2020. 8. 7(金)、15(土)、20(木)	名古屋市千種文化小劇場、名古屋市瑞穂文化小劇場、幸田町民会館	133人																																
開催日	会場	参加者数																																
2020. 7. 25(土)	オンライン	11人																																
開催日	会場	観覧者数																																
2020. 9. 25(金)～	オンライン	1,196回 (2021. 3. 31現在)																																
開催日	会場	参加者数																																
2020. 7. 29(水)、30(木)	県芸術劇場コンサートホール	391人																																
開催日	会場	参加者数																																
2020. 7. 24(金・祝)	県芸術劇場大リハーサル室	—																																
<p>・高校生ビブリオバトル愛知県大会</p> 	<p>・高校生ビブリオバトル愛知県大会</p> <table border="1" data-bbox="772 1438 1428 1608"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予選</td> <td>2020. 10. 25(日)</td> <td>愛知県図書館</td> <td>発表者16人 一般観覧なし</td> </tr> <tr> <td>決勝</td> <td>2020. 11. 1(日)</td> <td>愛知県図書館</td> <td>発表者6人 観覧者64人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	開催日	会場	参加者数	予選	2020. 10. 25(日)	愛知県図書館	発表者16人 一般観覧なし	決勝	2020. 11. 1(日)	愛知県図書館	発表者6人 観覧者64人																					
区分	開催日	会場	参加者数																															
予選	2020. 10. 25(日)	愛知県図書館	発表者16人 一般観覧なし																															
決勝	2020. 11. 1(日)	愛知県図書館	発表者6人 観覧者64人																															

取組内容	実績																		
<p>⑳学校教育への支援・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県美術館、県陶磁美術館における教育支援の実施</li> </ul> 	<p>【県美術館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞学習ワーキンググループ 4回実施</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e0f7fa;">開催日</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">会場</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 7. 4 (土)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">県美術館</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>2020. 9. 19 (土)</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>2020. 11. 7 (土)</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>2021. 3. 20 (土・祝)</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞学習交流会 <span style="background-color: #ffcdd2; padding: 2px;">中止</span></li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により未実施</p> <p>【県陶磁美術館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校出前講座</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e0f7fa;">開催日</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">会場</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021. 2. 4 (木)</td> <td>名古屋市立東築地小学校</td> <td>69人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校教員向け陶磁講座 <span style="background-color: #ffcdd2; padding: 2px;">中止</span></li> </ul> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により未実施</p>	開催日	会場	参加者数	2020. 7. 4 (土)	県美術館	8人	2020. 9. 19 (土)	9人	2020. 11. 7 (土)	8人	2021. 3. 20 (土・祝)	10人	開催日	会場	参加者数	2021. 2. 4 (木)	名古屋市立東築地小学校	69人
開催日	会場	参加者数																	
2020. 7. 4 (土)	県美術館	8人																	
2020. 9. 19 (土)		9人																	
2020. 11. 7 (土)		8人																	
2021. 3. 20 (土・祝)		10人																	
開催日	会場	参加者数																	
2021. 2. 4 (木)	名古屋市立東築地小学校	69人																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>アートフェスター愛知県高等学校総合文化祭一の開催</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○アートフェスター愛知県高等学校総合文化祭一 <span style="background-color: #ffcdd2; padding: 2px;">一部中止</span></li> <li>・会 場：愛知芸術文化センター</li> <li>・参加者数：905人</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e0f7fa;">部門</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>展示部門</td> <td>2020. 8. 18(火)～ 8. 23(日)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※舞台部門・パネル部門・文芸部門は新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	部門	開催日	展示部門	2020. 8. 18(火)～ 8. 23(日)														
部門	開催日																		
展示部門	2020. 8. 18(火)～ 8. 23(日)																		

### 2-3 高齢者、障害者等の文化芸術活動の充実

#### ■主な施策の実施状況

##### ⑴高齢者の文化芸術活動の充実

- 生涯学習推進センターにおいて、生涯学習情報システム「学びネットあいち」による講座・イベント等の学習情報を提供した。
- 高齢者に学習の場を提供し、生きがい・健康づくりの促進や地域における社会活動の中核を担う人材の養成を図るため、「あいちシルバーカレッジ」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
- 学習活動や地域活動の拠点となる公民館活動を支援するため、愛知県公民館連合会研修会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

##### ⑵障害者の文化芸術活動の充実

- 障害者の芸術・文化活動を通じて、障害者の社会参加や障害の有無を越えた交流が広がることを目指し、作品展や映像作品の上映を行う「あいちアール・ブリュット展」を開催した。

- ・県図書館では、視覚障害者等の読書活動を支援するため、視覚障害者用資料の収集・提供、朗読協力員の協力を得て、対面朗読や録音図書作成を行った。また、心身障害者の読書活動を支援するため、心身障害者への郵送貸出を実施した。
- ・県美術館では、これまで視覚障害者等への美術鑑賞プログラムを実施してきたが、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。一方、高校生との交流プログラムについては、特別支援学校と県立高校の生徒がオンラインあるいは直接対面して鑑賞し、交流した。
- ・県陶磁美術館では、これまで視覚障害者等が気軽に美術鑑賞できるプログラム等を実施してきたが、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。



### ②③多言語での文化情報の提供等

- ・愛知芸術文化センターにおいては、Web ページを6か国語（日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、タイ語）で対応している。また、県陶磁美術館においても、常設展のキャプションを4か国語（日本語、英語、中国語、韓国語）で記載するなど、多言語による文化情報の提供を図っている。
- ・県図書館においては、多文化サービスコーナーでの図書別置ラベル、サインなどを各言語等のテーマカラーで統一し視認性を高める等サインの改善や、図書館ホームページに各言語（日本語、英語、中国語、韓国語、ポルトガル語）のページを設けて、図書館情報等の提供を行っている。また、多文化サービスコーナーに、外国人児童の母語習得に資するため絵本コーナー（2020年度末時点 567冊）を設置したり、各外国語図書や日本語学習用資料を収集（計 198 冊）したりするなどサービスの更なる充実を図っている。

### ■関連事業の取組実績

取組内容	実績						
<b>①高齢者の文化芸術活動の充実</b> ・生涯学習情報システム「学びネットあいち」による学習情報を提供	・新型コロナウイルス感染症の影響により講座・イベント等が中止となり、情報登録件数が減少したが、148,148件の「学びネットあいち」のトップページアクセス件数を得た						
・あいちシルバーカレッジの開講	・あいちシルバーカレッジ <b>中止</b> <table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>県内在住で満60歳以上</td> </tr> <tr> <td>修学年限</td> <td>1年（年30日間）</td> </tr> <tr> <td>定員</td> <td>630名</td> </tr> </table>	対象者	県内在住で満60歳以上	修学年限	1年（年30日間）	定員	630名
対象者	県内在住で満60歳以上						
修学年限	1年（年30日間）						
定員	630名						
・公民館活動支援	・愛知県公民館連合会研修会 <b>中止</b> <table border="1"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2020. 6. 2(火)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>安城市文化センター</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>・公民館と小学校を核とした地域づくりを推進している、南国市立稲生ふれあい館顧問 前田 学浩 氏を招聘し、講演を行う。</td> </tr> </table>	開催期間	2020. 6. 2(火)	開催場所	安城市文化センター	主な内容	・公民館と小学校を核とした地域づくりを推進している、南国市立稲生ふれあい館顧問 前田 学浩 氏を招聘し、講演を行う。
開催期間	2020. 6. 2(火)						
開催場所	安城市文化センター						
主な内容	・公民館と小学校を核とした地域づくりを推進している、南国市立稲生ふれあい館顧問 前田 学浩 氏を招聘し、講演を行う。						



取組内容	実績																												
<p>②障害者の文化芸術活動の充実</p> <p>・あいちアール・ブリュット展の開催</p> 	<p>・あいちアール・ブリュット展</p> <table border="1" data-bbox="855 257 1407 461"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2020. 9. 17(木) ～ 9. 22(火・祝)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>名古屋市民ギャラリー矢田</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>・作品展 (666 点) ・映像作品上映</td> </tr> </table> <p>・あいちアール・ブリュット・サテライト展</p> <table border="1" data-bbox="855 508 1407 658"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2021. 2. 9(火)～ 2. 14(日)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>豊川市桜ヶ丘ミュージアム</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>・優秀作品展 (30 点) ・特別展示</td> </tr> </table> <p>・あいちアール・ブリュット優秀作品特別展</p> <table border="1" data-bbox="855 689 1407 947"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2021. 3. 16(火)～ 3. 21(日)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>愛知芸術文化センター</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>・表彰 ・優秀作品展 (2019 年度分 30 点(※) 2020 年度分 30 点) (※)新型コロナウイルス感染症の影響により延期とした 2019 年度分も合わせて展示</td> </tr> </table>	開催期間	2020. 9. 17(木) ～ 9. 22(火・祝)	開催場所	名古屋市民ギャラリー矢田	主な内容	・作品展 (666 点) ・映像作品上映	開催期間	2021. 2. 9(火)～ 2. 14(日)	開催場所	豊川市桜ヶ丘ミュージアム	主な内容	・優秀作品展 (30 点) ・特別展示	開催期間	2021. 3. 16(火)～ 3. 21(日)	開催場所	愛知芸術文化センター	主な内容	・表彰 ・優秀作品展 (2019 年度分 30 点(※) 2020 年度分 30 点) (※)新型コロナウイルス感染症の影響により延期とした 2019 年度分も合わせて展示										
開催期間	2020. 9. 17(木) ～ 9. 22(火・祝)																												
開催場所	名古屋市民ギャラリー矢田																												
主な内容	・作品展 (666 点) ・映像作品上映																												
開催期間	2021. 2. 9(火)～ 2. 14(日)																												
開催場所	豊川市桜ヶ丘ミュージアム																												
主な内容	・優秀作品展 (30 点) ・特別展示																												
開催期間	2021. 3. 16(火)～ 3. 21(日)																												
開催場所	愛知芸術文化センター																												
主な内容	・表彰 ・優秀作品展 (2019 年度分 30 点(※) 2020 年度分 30 点) (※)新型コロナウイルス感染症の影響により延期とした 2019 年度分も合わせて展示																												
<p>・県図書館、視覚障害者支援</p>	<p>・視覚障害者用資料について、収集は、録音図書ダイジェスト 58 タイトル、カセット 1 タイトル、点字図書 9 タイトル、マルチメディアダイジェスト 5 タイトルの増加。他施設への貸出は 312 タイトル (前年度比 78%) であったが、個人貸出は 547 タイトル (同 102%) であった。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響により、対面朗読は一時中断したが、安全な対策をとって再開し、加えてオンライン対面朗読を新規に開始した。 <b>一部オンライン</b></p> <p>・心身障害者への郵送貸出を実施し、その読書活動を支援した (郵送貸出は 713 点)。</p>																												
<p>・県美術館、障害者への美術鑑賞プログラムの実施</p> 	<p>・視覚に障害がある方との鑑賞プログラム <b>中止</b></p> <table border="1" data-bbox="855 1339 1273 1541"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 5. 21(木)</td> <td rowspan="4">県美術館</td> </tr> <tr> <td>2020. 5. 23(土)</td> </tr> <tr> <td>2020. 10. 22(木)</td> </tr> <tr> <td>2020. 10. 24(土)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p> <p>・高校生との交流プログラム (名古屋盲学校、岩倉総合高校 全日両校が参加) (企画展鑑賞・造形ワークショップは、両校に加え、他高校複数参加)</p> <table border="1" data-bbox="855 1697 1433 2024"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020. 9. 23(水)</td> <td>オンライン鑑賞会 (学校交流)</td> <td>17 人</td> </tr> <tr> <td>2020. 9. 29(火)</td> <td>オンライン鑑賞会 (学校交流)</td> <td>17 人</td> </tr> <tr> <td>2020. 10. 14(水)</td> <td>オンライン鑑賞会 (屋外展示)</td> <td>17 人</td> </tr> <tr> <td>2020. 10. 21(水)</td> <td>オンライン鑑賞会 (屋内展示)</td> <td>17 人</td> </tr> <tr> <td>2020. 11. 14(土)</td> <td>企画展鑑賞・造形ワークショップ</td> <td>23 人</td> </tr> <tr> <td>2021. 3. 27(土)</td> <td>企画展鑑賞・造形ワークショップ</td> <td>15 人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	会場	2020. 5. 21(木)	県美術館	2020. 5. 23(土)	2020. 10. 22(木)	2020. 10. 24(土)	開催日	内容	参加者数	2020. 9. 23(水)	オンライン鑑賞会 (学校交流)	17 人	2020. 9. 29(火)	オンライン鑑賞会 (学校交流)	17 人	2020. 10. 14(水)	オンライン鑑賞会 (屋外展示)	17 人	2020. 10. 21(水)	オンライン鑑賞会 (屋内展示)	17 人	2020. 11. 14(土)	企画展鑑賞・造形ワークショップ	23 人	2021. 3. 27(土)	企画展鑑賞・造形ワークショップ	15 人
開催日	会場																												
2020. 5. 21(木)	県美術館																												
2020. 5. 23(土)																													
2020. 10. 22(木)																													
2020. 10. 24(土)																													
開催日	内容	参加者数																											
2020. 9. 23(水)	オンライン鑑賞会 (学校交流)	17 人																											
2020. 9. 29(火)	オンライン鑑賞会 (学校交流)	17 人																											
2020. 10. 14(水)	オンライン鑑賞会 (屋外展示)	17 人																											
2020. 10. 21(水)	オンライン鑑賞会 (屋内展示)	17 人																											
2020. 11. 14(土)	企画展鑑賞・造形ワークショップ	23 人																											
2021. 3. 27(土)	企画展鑑賞・造形ワークショップ	15 人																											

### 基本目標3 愛知の文化芸術のポテンシャルを活かした地域力の向上

基本課題	主な施策	事業数
3-1 愛知の文化資源を活かした地域力の向上	②④ モノづくり文化を活かした地域力の向上	27
	②⑤ アニメーション等を活かした地域力の向上	
	②⑥ 生活文化の振興	
	②⑦ 地域の文化資源の情報発信	
	②⑧ 文化資源等を活かした活動への支援	
3-2 伝統芸能や文化財等の継承と発展	②⑨ 伝統芸能等の継承と発展	10
	②⑩ 文化財等の継承と発展	
3-3 様々な分野や主体との連携・協働の推進	③① 様々な分野との連携	71
	③② 市町村との連携	
	③③ 文化芸術団体等との連携	
	③④ 民間事業者等との連携	
	③⑤ 芸術系大学等との連携	
	③⑥ 文化施設間の連携	
	③⑦ ボランティア活動の促進	

#### 3-1 愛知の文化資源を活かした地域力の向上

##### ■主な施策の実施状況

##### ②④モノづくり文化を活かした地域力の向上

- ・地域の歴史と生活文化に根ざした貴重な財産である伝統的工芸品等の振興を図るため、PR用パンフレットの作成や展示会への出展支援を行った。また、伝統的工芸品産地企業へマーケティング専門家を派遣し、販路開拓への支援を行った。さらに、愛知県伝統的工芸品産業功労者等表彰を実施し、顕著な功績を収めた個人を表彰した。
- ・県図書館において、「あいちものづくり文庫」の構築に向け、企業経営、機械工学、電気工学、繊維工学等に関する資料について、幅広く収集し、整理を行った。
- ・愛知・岐阜・三重広域観光推進協議会では、伝統工芸、自動車など様々な分野の「産業観光施設」、城・城跡などの「武将観光施設」を紹介するパンフレット「見にトリップ／戦トリップ」を作成し、掲載施設を巡るスタンプラリー等を開催した。スタンプラリー掲載施設への訪問者数及び応募者数は2019年度より増加し、更なる観光の振興を図った。

##### ②⑤アニメーション等を活かした地域力の向上

- ・アニメ、ゲーム、コスプレ等の「ポップカルチャー」を観光資源として捉え、観光の振興を図るため、総合ポップカルチャーイベント「AICHI IMPACT! 2021」の中で、「あいちポップカルチャーフェスティバル」をオンラインで開催し、地域の活性化につなげた。
- ・愛知万博の理念を次世代へ継承しながら、愛・地球博記念公園の魅力を高め、子どもから大人まで愛知県民のみならず広く国内外からの来園者に楽しんでもらえる公園とするため、同公園内にスタジオジブリ作品の世界観を表現する「ジブリパーク」を整備する構想を進めており、全体5つのエリアのうち、2022年秋に開業を予定している3エリア「青春の丘エリア」「ジブリの大倉庫エリア」「どんどこ森エリア」の整備工事に着手するとともに、展示・演示計画の検討を行った。また、3エリアの概ね1年後の開業を目指している2エリア「もののけの里エリア」「魔女の谷エリア」につい

て、実施設計を行った。

#### ②⑥生活文化の振興

- ・広域的、国際的な事業や先駆的な事業、文化のすそ野を広げ地域に貢献している事業、また伝統文化の後継者育成事業に対し、「愛知県文化活動事業費補助金」を交付することにより、広く支援を行った。**再掲(P2)**
- ・食育推進ボランティアの活動支援、Web ページ「食育ネットあいち」による情報発信、地域の食文化継承等の取組に対する助成、地産地消と無駄や廃棄の少ない調理を学ぶ調理講習会などを実施し、コロナ禍ではあったが、多様な方法で食文化や食事作法等の理解と継承を含む食育の推進を図った。
- ・「なごやめし普及促進協議会」では、イベントへの出展等を通じて、愛知・名古屋における特徴的な食文化である「なごやめし」の普及促進を図った。2020 年度においては、飲食店周遊キャンペーン等の実施により、なごやめし PR 協力事業者数が増加し、更なる「なごやめし」の普及促進を図った。

#### ②⑦地域の文化資源の情報発信

- ・県図書館において、「愛知県図書館と東三河地域の市町村及び観光団体との地域振興に係る情報発信の連携・協力に関する協定」を締結し、東三河コーナーを常設化した（2021 年 3 月 26 日）。また、2020 年度は、連携企画として「第 9 回穂っとネット東三河フォトコンテスト入賞作品展」などを実施した。
- ・農山漁村の伝統文化や食、景観などの魅力ある地域資源を紹介するとともに、これらの地域資源を巡るモデルルートの作成・紹介を行い、農山漁村を PR することで、都市と農山漁村の交流を推進した。
- ・本県に多数存在する城郭・城址の持つ価値の再発見を促すとともに、市町村同士の情報共有、協議会として広域に効率的に情報発信を行うことにより、市町村の連携を深め、本県が全国に誇る「お城観光」の推進を図った。
- ・東海道・美濃路・飯田街道など県内の街道の魅力を広く発信するため、愛知県街道観光推進協議会において、広域街道観光ガイドブックの作成や、街道をテーマとしたまち歩きテレビ番組を活用した PR などを実施した。

#### ②⑧文化資源等を活かした活動への支援

- ・文化庁や(一財)地域創造、(一財)自治総合センター等の公的機関による助成制度について、情報を幅広く収集・整理し、助成の対象となる市町村等に情報提供を行うとともに、助成申請等に関する相談やアドバイスを行った。

### ■関連事業の取組実績

取組内容	実績						
②④モノづくり文化を活かした地域力の向上 ・伝統的工芸品等の産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR パンフレット「あいちの伝統的工芸品」の作成（1,000 部）</li> <li>・東京都内百貨店で開催した「伝統的工芸品展 WAZA2021」（2021. 2）の開催費の負担支援</li> <li>・伝統的工芸品産業功労者等表彰の実施（2020. 10）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受賞者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知県伝統的工芸品産業功労者表彰</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>愛知県伝統的工芸品産業優秀技術者表彰</td> <td>5 名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	受賞者数	愛知県伝統的工芸品産業功労者表彰	2 名	愛知県伝統的工芸品産業優秀技術者表彰	5 名
区分	受賞者数						
愛知県伝統的工芸品産業功労者表彰	2 名						
愛知県伝統的工芸品産業優秀技術者表彰	5 名						

取組内容	実績												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「見にとりっ／戦とりっ」の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプラリーの開催 <table border="1" data-bbox="774 248 1406 539"> <tr> <td>開催期間</td> <td>2020. 10. 1(木)～ 2021. 2. 28(日)</td> </tr> <tr> <td>参加施設</td> <td>パンフレット掲載施設 229 施設 (愛知県：69 施設、岐阜県：75 施設、三重県：85 施設) 内、スタンプラリー対象施設 174 施設 (愛知県：60 施設、岐阜県：54 施設、三重県：60 施設)</td> </tr> <tr> <td>応募者数</td> <td>2, 546 名 (うち有効応募者数 2, 401 名)</td> </tr> <tr> <td>施設訪問者数</td> <td>14, 161 人</td> </tr> </table> </li> </ul>	開催期間	2020. 10. 1(木)～ 2021. 2. 28(日)	参加施設	パンフレット掲載施設 229 施設 (愛知県：69 施設、岐阜県：75 施設、三重県：85 施設) 内、スタンプラリー対象施設 174 施設 (愛知県：60 施設、岐阜県：54 施設、三重県：60 施設)	応募者数	2, 546 名 (うち有効応募者数 2, 401 名)	施設訪問者数	14, 161 人				
開催期間	2020. 10. 1(木)～ 2021. 2. 28(日)												
参加施設	パンフレット掲載施設 229 施設 (愛知県：69 施設、岐阜県：75 施設、三重県：85 施設) 内、スタンプラリー対象施設 174 施設 (愛知県：60 施設、岐阜県：54 施設、三重県：60 施設)												
応募者数	2, 546 名 (うち有効応募者数 2, 401 名)												
施設訪問者数	14, 161 人												
<ul style="list-style-type: none"> <li>②⑤アニメーション等を活かした地域力の向上</li> <li>・「あいちポップカルチャーフェスティバル」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいちポップカルチャーフェスティバル」 <b>オンライン</b> <table border="1" data-bbox="774 607 1406 696"> <tr> <td>開催日</td> <td>2021. 2. 27(土)、28 (日)</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>オンライン開催</td> </tr> </table> </li> </ul>	開催日	2021. 2. 27(土)、28 (日)	開催場所	オンライン開催								
開催日	2021. 2. 27(土)、28 (日)												
開催場所	オンライン開催												
<ul style="list-style-type: none"> <li>②⑥生活文化の振興</li> <li>・文化活動事業費補助金 (企画提案事業及び文化芸術すそ野づくり事業、後継者育成事業) の交付 <b>再掲(P4)</b></li> </ul>	<table border="1" data-bbox="774 759 1406 1032"> <tr> <td>申請期間</td> <td>2020. 5. 28(木)～ 7. 31(金)</td> </tr> <tr> <td>申請件数</td> <td>・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 83 件 ・後継者育成事業 5 件</td> </tr> <tr> <td>交付件数</td> <td>・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 72 件 ・後継者育成事業 5 件</td> </tr> <tr> <td>補助実績</td> <td>・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 26, 722 千円 ・後継者育成事業 1, 200 千円</td> </tr> </table> <p>※うち、分野別で「生活文化」に対する補助</p> <table border="1" data-bbox="774 1077 1038 1144"> <tr> <td>申請件数</td> <td>5 件</td> </tr> <tr> <td>交付件数</td> <td>5 件</td> </tr> </table>	申請期間	2020. 5. 28(木)～ 7. 31(金)	申請件数	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 83 件 ・後継者育成事業 5 件	交付件数	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 72 件 ・後継者育成事業 5 件	補助実績	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 26, 722 千円 ・後継者育成事業 1, 200 千円	申請件数	5 件	交付件数	5 件
申請期間	2020. 5. 28(木)～ 7. 31(金)												
申請件数	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 83 件 ・後継者育成事業 5 件												
交付件数	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 72 件 ・後継者育成事業 5 件												
補助実績	・企画提案、文化芸術すそ野づくり事業 26, 722 千円 ・後継者育成事業 1, 200 千円												
申請件数	5 件												
交付件数	5 件												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化や郷土料理等の理解促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の食文化継承等の取組に対する助成 6 事業主体への助成</li> <li>・地域食育推進ボランティア研修の実施 交流会を県内各地 7 回開催 (うち書面開催 3 ヶ所)</li> <li>・Web ページ「食育ネットあいち」による情報発信 行事食や郷土料理等の紹介</li> <li>・地産地消等の調理を学ぶ調理講習会の開催 2021. 1. 25 (聴講型)、2021. 1. 28 (実習型)</li> </ul>												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なごやめし」の普及促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「なごやめし普及促進協議会」による、PR・プロモーション活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントへの出展</li> <li>・飲食店周遊キャンペーンの実施</li> <li>・PR 協力事業者数(2019 年度 204 件 → 2020 年度 213 件)</li> </ul> </li> </ul>												

取組内容	実績										
<p>⑦地域の文化資源の情報発信</p> <p>・県図書館における連携企画の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展「地域の活性化を目指して：高校生のパワー」<b>再掲</b> <b>(P19)</b> (2020.6.2(火)～11.11(水)) (連携：県立福江高校)</li> <li>・パネル展「第8回穂つとネット東三河 フォトコンテスト入賞作品展」(2020.6.2(火)～7.8(水)) (連携：県東三河総局)</li> <li>・パネル展「okumikawAwake (オクミカワアウェイク) /メザメ奥三河」(2020.12.11(金)～2021.3.10(水)) (連携：県東三河総局、県新城設楽振興事務所、(一社)奥三河観光協議会)</li> <li>・展示「新美南吉のものがたりと風景をつなぐ観光PRキャンペーン」(2020.12.11(金)～2021.2.11(木)) (連携：県観光振興課、半田市観光協会)</li> <li>・リベラルアーツカフェ「新美南吉のふるさと風景を次世代につなぐ」(2021.3.10(水)) (連携：NPO法人ごんのふるさとネットワーク事務局) <b>再掲(P20)</b></li> <li>・パネル展「第9回穂つとネット東三河 フォトコンテスト入賞作品展」(2021.3.19(金)～4.7(水)) (連携：県東三河総局)</li> </ul>										
<p>・愛知のお城観光の推進</p>	<p>勉強会・情報交換会の開催 <b>中止</b></p> <p>お城 EXPO への出展</p> <table border="1" data-bbox="770 846 1291 927"> <tr> <td>開催日</td> <td>2020.12.19(土)、20(日)</td> </tr> <tr> <td>実施内容</td> <td>お城 EXPO2020 (横浜市) へ出展</td> </tr> </table> <p>首都圏での城郭イベントの開催 <b>中止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時期 2020.10.4(日)</li> <li>・開催場所 二子玉川ライズ ガレリア (東京都世田谷区)</li> </ul> <p>県内での城郭イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名称 にっぽん城まつり</li> </ul> <table border="1" data-bbox="770 1155 1291 1272"> <tr> <td>開催日</td> <td>2021.3.20(土)、21(日)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>Aichi Sky Expo</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>約6,000人</td> </tr> </table>	開催日	2020.12.19(土)、20(日)	実施内容	お城 EXPO2020 (横浜市) へ出展	開催日	2021.3.20(土)、21(日)	会場	Aichi Sky Expo	入場者数	約6,000人
開催日	2020.12.19(土)、20(日)										
実施内容	お城 EXPO2020 (横浜市) へ出展										
開催日	2021.3.20(土)、21(日)										
会場	Aichi Sky Expo										
入場者数	約6,000人										
<p>・街道観光の推進</p>	<p>ガイドブック作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20,000部</li> </ul> <p>メディア (TV旅番組) を活用したPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめまして特番</li> <li>・ぐっさん家</li> </ul> <p>旅行会社連携ツアー造成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海道、美濃路、飯田街道計3ツアー</li> </ul> <p>東海道シンポジウムの開催</p> <table border="1" data-bbox="770 1630 1385 1747"> <tr> <td>開催日</td> <td>2021.2.1(月)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>ANA クラウンプラザホテル</td> </tr> <tr> <td>入場者数</td> <td>沿線都道府県・街道観光関係者等 約50人</td> </tr> </table>	開催日	2021.2.1(月)	会場	ANA クラウンプラザホテル	入場者数	沿線都道府県・街道観光関係者等 約50人				
開催日	2021.2.1(月)										
会場	ANA クラウンプラザホテル										
入場者数	沿線都道府県・街道観光関係者等 約50人										

取組内容	実績																						
<b>⑳文化資源等を活かした活動への支援</b> ・芸術文化振興基金、(一財)地域創造及び(一財)自治総合センターへの助成申請等に関する相談・アドバイス	・芸術文化振興基金助成事業 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>申請件数</th> <th>採択件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table> ・(一財)地域創造 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>申請件数</th> <th>採択件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域の文化・芸術活動助成事業</td> <td>10件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>地域伝統芸能等保存事業</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> ・(一財)自治総合センター <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>申請件数</th> <th>採択件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宝くじ文化公演事業</td> <td>6件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>コミュニティ助成事業</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>	申請件数	採択件数	10件	5件	事業名	申請件数	採択件数	地域の文化・芸術活動助成事業	10件	10件	地域伝統芸能等保存事業	2件	2件	事業名	申請件数	採択件数	宝くじ文化公演事業	6件	1件	コミュニティ助成事業	2件	2件
申請件数	採択件数																						
10件	5件																						
事業名	申請件数	採択件数																					
地域の文化・芸術活動助成事業	10件	10件																					
地域伝統芸能等保存事業	2件	2件																					
事業名	申請件数	採択件数																					
宝くじ文化公演事業	6件	1件																					
コミュニティ助成事業	2件	2件																					

## ■主な施策の実施状況

### 3-2 伝統芸能や文化財等の継承と発展

#### ㉑伝統芸能等の継承と発展




- 指定・未指定を問わず県内に伝承されている無形民俗文化財等の保存・伝承を図るとともに、その鑑賞を通して民俗芸能をはじめとした伝統文化に対する県民の理解と認識を深めるため、「愛知県民俗芸能大会」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
- 「あいち山車まつり日本一協議会」の活動を支援し、共催研修会(新規)や「日本の祭シンポジウム」、「あいち山車文化魅力発見講座」の開催、「あいち山車まつり図鑑」の制作などを通じ、愛知の山車文化を県内外へ広く発信した。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により活動の縮小を余儀なくされている山車まつり保存団体に対し、あいち山車まつり緊急支援金を交付した。(山車1台につき10万円) **再掲(P3)**

#### ㉒文化財等の継承と発展

- 東海地方最大の弥生集落である朝日遺跡の魅力を発信する「清洲貝殻山貝塚資料館」を拡充整備し、「あいち朝日遺跡ミュージアム」を2020年11月22日に開館した。
- 県内に所在する国・県指定文化財を適切に後世に伝えるため、「文化財保存修理費補助金」により、文化財の所有者または管理者が行った保存修理等事業に対して助成した。
- 文化財の適切な保護のために、「文化財保護指導委員」を設置し、県内の文化財の巡視や文化財所有者その他関係者に対する指導及び助言を行い、文化財の保存管理状況の把握、保護思想の普及啓発に努めた。
- 国指定の重要文化財である愛知県庁本庁舎の観光資源化を目指して、「愛知県庁本庁舎公開イベント」を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
- 県立芸術大学において、文化財の模写と修復の事業を受託し、文化財の保護・継承を行いながら、専門家の育成を図る取組を実施した。

## ■関連事業の取組実績

取組内容	実績						
<b>㉑伝統芸能等の継承と発展</b> ・「愛知県民俗芸能大会」の開催	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"><b>中止</b></div> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tbody> <tr> <td>開催日</td> <td>2020. 10. 11 (日)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>あま市美和文化会館</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	2020. 10. 11 (日)	会場	あま市美和文化会館	来場者数	—
開催日	2020. 10. 11 (日)						
会場	あま市美和文化会館						
来場者数	—						

取組内容	実績																		
<p>・あいち山車まつり日本一協議会 共催研修会や公開イベント等の開催</p> 	<p>○「あいち山車まつり日本一協議会」 <b>一部中止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会（書面開催）、研修会（中止）</li> <li>・共催研修会 （学校法人至学館コミュニケーション研究所との共催）</li> </ul> <table border="1" data-bbox="855 353 1331 526"> <tr> <td>開催日</td> <td>2020. 8. 4（火）、10. 1（木）、 12. 1（火）</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>愛知産業労働センター（ウイ ンクあいち）</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>のべ111人</td> </tr> </table> <p>○「日本の祭シンポジウム」開催 （学校法人至学館コミュニケーション研究所との共催）</p> <table border="1" data-bbox="855 636 1331 786"> <tr> <td>開催日</td> <td>2020. 11. 14（土）</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>知立リリオ・コンサートホー ル</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>約200人</td> </tr> </table> <p>○「あいち山車文化魅力発見講座」開催</p> <table border="1" data-bbox="855 846 1331 1019"> <tr> <td>開催日</td> <td>2021. 1. 26（火）、2. 17（水）、 2. 28（日）</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>愛知産業労働センター（ウイ ンクあいち）</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>延べ159人</td> </tr> </table>	開催日	2020. 8. 4（火）、10. 1（木）、 12. 1（火）	会場	愛知産業労働センター（ウイ ンクあいち）	参加者数	のべ111人	開催日	2020. 11. 14（土）	会場	知立リリオ・コンサートホー ル	参加者数	約200人	開催日	2021. 1. 26（火）、2. 17（水）、 2. 28（日）	会場	愛知産業労働センター（ウイ ンクあいち）	参加者数	延べ159人
開催日	2020. 8. 4（火）、10. 1（木）、 12. 1（火）																		
会場	愛知産業労働センター（ウイ ンクあいち）																		
参加者数	のべ111人																		
開催日	2020. 11. 14（土）																		
会場	知立リリオ・コンサートホー ル																		
参加者数	約200人																		
開催日	2021. 1. 26（火）、2. 17（水）、 2. 28（日）																		
会場	愛知産業労働センター（ウイ ンクあいち）																		
参加者数	延べ159人																		
<p>・あいち山車まつり緊急支援事業 <b>再掲(P6)</b></p>	<p>○山車まつり保存団体に対し、山車1台につき10万円の支援金を交付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付団体数 76団体（対象：84団体）</li> <li>・交付山車数 263台（対象：277台）</li> </ul>																		
<p>⑩文化財等の継承と発展</p> <p>・あいち朝日遺跡ミュージアム開館</p>  	<p>○施設の概要（2020. 11. 22（日）開館）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地面積：15,716㎡ （うち国史跡貝殻山貝塚10,169㎡）</li> <li>・施設内容 本館〈新施設〉/RC造2階建、延床面積1,953.77㎡</li> </ul> <table border="1" data-bbox="833 1485 1426 2004"> <thead> <tr> <th></th> <th>基本展示室1</th> <th>基本展示室2</th> <th>企画展示室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1階</td> <td>アニメ映像、ジ オラマなどによ る朝日遺跡の紹 介</td> <td>国指定重要文 化財の展示</td> <td>弥生時代や朝日遺跡 に関する様々なテー マによる展示</td> </tr> <tr> <td>研 修 室</td> <td>体験学習室</td> <td>キッズ考古ラボ</td> </tr> <tr> <td>講演会や学校団 体等のガイドン スに利用</td> <td>勾玉づくりや 土器づくり体 験</td> <td>弥生時代の道具体 験、衣装体験、土器パ ズル体験など</td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td colspan="3">収蔵庫、特別収蔵庫</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡貝殻山貝塚交流館/RC造平屋建、延床面積479.79㎡ ガイダンス室、収蔵庫など</li> </ul>		基本展示室1	基本展示室2	企画展示室	1階	アニメ映像、ジ オラマなどによ る朝日遺跡の紹 介	国指定重要文 化財の展示	弥生時代や朝日遺跡 に関する様々なテー マによる展示	研 修 室	体験学習室	キッズ考古ラボ	講演会や学校団 体等のガイドン スに利用	勾玉づくりや 土器づくり体 験	弥生時代の道具体 験、衣装体験、土器パ ズル体験など	2階	収蔵庫、特別収蔵庫		
	基本展示室1	基本展示室2	企画展示室																
1階	アニメ映像、ジ オラマなどによ る朝日遺跡の紹 介	国指定重要文 化財の展示	弥生時代や朝日遺跡 に関する様々なテー マによる展示																
	研 修 室	体験学習室	キッズ考古ラボ																
	講演会や学校団 体等のガイドン スに利用	勾玉づくりや 土器づくり体 験	弥生時代の道具体 験、衣装体験、土器パ ズル体験など																
2階	収蔵庫、特別収蔵庫																		

取組内容	実績								
	※1975年4月に開館した清洲貝殻山貝塚資料館をリニューアル ・屋外施設 竪穴住居2棟、高床倉庫1棟、方形周溝墓、水田、環濠復元、貝層断面展示など 入館者数 24,430人(2021年3月31日時点)								
・「文化財保存修理費補助金」の交付	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e0f7fa;">事業名</th> <th style="background-color: #e0f7fa;">対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国指定文化財保存修理費補助金</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>県指定文化財保存修理費補助金</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>国指定文化財管理費補助金</td> <td>36件</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	対象	国指定文化財保存修理費補助金	21件	県指定文化財保存修理費補助金	5件	国指定文化財管理費補助金	36件
事業名	対象								
国指定文化財保存修理費補助金	21件								
県指定文化財保存修理費補助金	5件								
国指定文化財管理費補助金	36件								
・「文化財保護指導委員」の設置	県内の7地区(尾張・海部・知多・西三河・東三河・新城・設楽)に計58名を設置 ・巡視件数 3,176件 ・指摘件数 56件								
・「愛知県庁本庁舎公開イベント」の実施	<div style="background-color: #ffeb3b; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">中止</div> <table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">実施日</td> <td>2020.11.3(火)</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">来場者数</td> <td>－人</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0f7fa;">主な内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎見学(講堂・知事室・貴賓室・正庁等)</li> <li>・正面玄関ステージイベント</li> <li>・講堂コンサート</li> <li>・屋上カフェ</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	実施日	2020.11.3(火)	来場者数	－人	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎見学(講堂・知事室・貴賓室・正庁等)</li> <li>・正面玄関ステージイベント</li> <li>・講堂コンサート</li> <li>・屋上カフェ</li> </ul>		
実施日	2020.11.3(火)								
来場者数	－人								
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎見学(講堂・知事室・貴賓室・正庁等)</li> <li>・正面玄関ステージイベント</li> <li>・講堂コンサート</li> <li>・屋上カフェ</li> </ul>								

### 3-3 様々な分野や主体との連携・協働の推進

#### ■主な施策の実施状況

##### ①様々な分野との連携

- ・「武将のふるさと愛知」として、「武将観光」を推進するため、「サムライ・ニンジャ フェスティバル 2020」の開催、徳川家康と服部半蔵忍者隊による県の魅力発信、武将パンフレット等の作成を行い、国内外からの観光客の誘致を図り、地域の活性化を図った。
- ・県や市町村、大学等高等教育機関などの生涯学習機関・団体等が有する生涯学習に関する情報を一元的に提供する生涯学習情報システム「学びネットあいち」を運営し、県民の高度かつ多様化する学習ニーズに対応する情報提供を行った。再掲(P37)
- ・「あいち中小企業応援ファンド助成事業」により、中小企業者等が行う地域資源を活用した新製品(商品)開発や販路拡大などの新事業展開の取組を支援した。
- ・地場産業の販路拡大に向け、東京都内の百貨店で開催した「伝統的工芸品展 WAZA2021」(2021.2)や愛知県体育館で開催した「やきものワールド」(2020.11)等の展示会の開催支援を行った。
- ・「愛知の住みやすさ発信事業」により、SNSを活用した情報の発信・拡散や東京圏在住若年女性を対象とした懇談会などを開催し、他の大都市圏と比べた本県の強みである「住みやすさ」を県内外に広く発信した。
- ・文化を通じた機運醸成を図るため、「beyond2020プログラム」の認証を推進し、本県の地域性豊かで多様性に富んだ文化活動の魅力を発信した。



- ・「文化芸術連携推進事業」により、「愛知県文化芸術振興条例」の普及・啓発のため、愛知の多様な文化資源を活用し、関係団体と連携したワークショップを実施した。

### ③②市町村との連携

- ・県内市町村の文化行政担当者、文化施設職員等担当者の企画制作能力や広報・アートマネジメント力などの資質向上をめざすとともに、県と市あるいは市町村相互のネットワーク促進を図り、地域の文化力の向上と文化行政の活性化を図るため、「市町村文化行政ネットワーク会議」を開催した。
- ・地域文化の振興を図るために活動している市町村文化協会の連合体である愛知県文化協会連合会に対して助言を行うとともに、主催事業に協力し、美術展、茶会、芸能大会等を実施した。

### ③③文化芸術団体等との連携

- ・県内劇場やアーティストのネットワークを活かし、文化庁受託事業である「ジャパン・ライブエール・プロジェクト@あいち 2020」を実施した。また、勅使川原芸術監督と愛知県内バレエ団との交流等も行い、実演家団体等との連携を一層強化しつつ、優れた文化芸術の鑑賞機会の充実に努めた。

再掲(P12)

### ③④民間事業者等との連携

- ・県図書館において、返却スリップに2件広告（東三河総局）を掲載した。また、2021年度開館カレンダーに、県青少年育成県民会議（県社会活動推進課）及び航空ミュージアムの広告掲載を行い、事業者との継続的な協力関係の構築に努めた。
- ・県図書館では、中日新聞社、日本政策金融公庫、（公社）認知症の人と家族の会、（特非）半田市観光協会、（一社）奥三河観光協議会、（特非）犯罪被害当事者ネットワーク緒あしすと連携した展示会の他、（特非）ごんのふるさとネットワークの方を講師として講演会を実施し、複数の民間企業やNPO法人等民間団体と連携した企画展示を実施した。

### ③⑤芸術系大学等との連携

- ・県芸術劇場と愛知県立芸術大学との共催により、東海地方唯一の公立芸術大学管弦楽団である「愛知県立芸術大学管弦楽団」の定期演奏会を、愛知芸術文化センターで開催した。
- ・アートラボあいちにおいて、地元芸術大学との連携による展示を行うなど、大学関係者と国際芸術祭「あいち 2022」との連携の場づくりを進めた。再掲(P22)

### ③⑥文化施設間の連携



- ・県図書館では、2018、2019年度に引き継ぎ、県美術館等との共同企画として開催した連続講座を、県図書館の主催により、県芸術劇場・県美術館・県陶磁美術館職員を講師として開催した。再掲(P29)
- ・県美術館と県陶磁美術館の所蔵品を県内市町村の施設に運んで展示する「移動美術館」を年一回開催しているが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。再掲(P22)
- ・県芸術劇場が主催するファミリープログラムの一環として、市町村劇場との連携のもと、『えんどうまめとおひめさま』の県内巡回公演を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。代替として、『えんどうまめとおひめさま』の物語をモチーフとした「すごろく」を作成し、ウェブ上などで配布し、また、短時間・感染予防に配慮した作品「どうする！？アンデルセンさん！」の創作を行ない、県内巡回公演を行った。再掲(P34)
- ・県芸術劇場については、全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修や研究会を開催した。
- ・県陶磁美術館で2020年10月10日から12月13日まで開催した「YAYOI・モダンデザイン展」では、2020年11月22日に開館した「あいち朝日遺跡ミュージアム」と関連して、近年の発掘調査によって出土した代表的な遺物を一堂に集め、弥生時代を「歴史」だけではなく「美」や「デザイン」の


視点から紹介した。また、本展では、あいち朝日遺跡ミュージアム及び一宮博物館との相互割引を実施した。


### ⑦ボランティア活動の促進


- ・国際芸術祭「あいち 2022」に向けて、国際芸術祭「あいち」組織委員会を設立し、開催準備を行った。
- ・県図書館においては、「おはなし会サポーター」、「朗読協力員」などの育成、支援の取組を推進し、現在活動中のボランティア向けの研修・交流会については、書面開催及びオンライン開催で実施した。
- ・陶磁美術館では、NPO 等との連携を一層強化しながら、運営ボランティアや解説ボランティアの養成、支援の取組を推進してきたが、2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、展示解説等一部ボランティア活動を縮小した。

### ■関連事業の取組実績

取組内容	実績										
<p>⑧様々な分野との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サムライ・ニンジャ フェスティバル 2020」の開催</li> </ul> 	<table border="1"> <tr> <td>開催日</td> <td>2020. 11. 8 (日)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>県営都市公園大高緑地・若草山</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>28,000 人</td> </tr> </table>	開催日	2020. 11. 8 (日)	会場	県営都市公園大高緑地・若草山	来場者数	28,000 人				
開催日	2020. 11. 8 (日)										
会場	県営都市公園大高緑地・若草山										
来場者数	28,000 人										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あいち中小企業応援ファンド助成事業」による支援</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>申請件数</td> <td>採択件数</td> </tr> <tr> <td>87 件</td> <td>49 件</td> </tr> </table>	申請件数	採択件数	87 件	49 件						
申請件数	採択件数										
87 件	49 件										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「愛知の住みやすさ発信事業」による PR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット及び Web ページによる情報発信</li> <li>・SNS を活用した情報の発信・拡散</li> <li>・学生向け情報サイトへの広告記事掲載（掲載サイト：マイナビ学生の窓口）</li> <li>・若年女性及びファミリー層向け情報サイトへの広告記事掲載（掲載サイト：マイナビウーマン、Woman type）</li> <li>・東京圏在住若年女性及びファミリー層を対象とした懇談会の開催</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>開催日</td> <td>2020. 10. 10 (土)、2021. 2. 26 (金)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>オンライン (Zoom や Facebook による LIVE 配信)</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>24 名 (10/10)、70 名 (2/26)</td> </tr> </table>	開催日	2020. 10. 10 (土)、2021. 2. 26 (金)	会場	オンライン (Zoom や Facebook による LIVE 配信)	参加者数	24 名 (10/10)、70 名 (2/26)				
開催日	2020. 10. 10 (土)、2021. 2. 26 (金)										
会場	オンライン (Zoom や Facebook による LIVE 配信)										
参加者数	24 名 (10/10)、70 名 (2/26)										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「beyond2020 プログラム」の認証推進</li> </ul> 	<table border="1"> <tr> <td>2017 年度認証件数</td> <td>31 件</td> </tr> <tr> <td>2018 年度認証件数</td> <td>269 件</td> </tr> <tr> <td>2019 年度認証件数</td> <td>310 件</td> </tr> <tr> <td>2020 年度認証件数</td> <td>66 件</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>676 件</td> </tr> </table> <p>※全国の認証件数 約 18,000 件</p>	2017 年度認証件数	31 件	2018 年度認証件数	269 件	2019 年度認証件数	310 件	2020 年度認証件数	66 件	累計	676 件
2017 年度認証件数	31 件										
2018 年度認証件数	269 件										
2019 年度認証件数	310 件										
2020 年度認証件数	66 件										
累計	676 件										

取組内容	実績																																								
<p>・「文化芸術連携推進事業」の実施</p> 	<p>・「文化芸術フェスタあいち in 知多」 <b>中止</b></p> <table border="1" data-bbox="774 248 1369 434"> <tr> <td>開催日</td> <td>2021. 2. 13(土)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>国際展示場 大会議室</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>ミニチュア写真家 田中達也氏によるトークショー 等</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>一名</td> </tr> </table> <p>・文化芸術ワークショップの開催 <b>一部中止</b></p> <table border="1" data-bbox="774 499 1369 748"> <tr> <td>実施時期</td> <td>2020. 10. 14 (水)</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>杜の家 (名古屋市名東区)</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>障害者施設において、専門家の指導のもと、あいちアール・ブリュットパートナーシップ事業応募作品等の創作活動を実施。</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>7名</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="774 779 1369 1030"> <tr> <td>実施時期</td> <td>2020. 10. 25 (日)</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>小幡緑地公園 (名古屋市守山区)</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>生物とカメラの講師を招き、公園内を散策しながら発見した動植物等を解説・撮影。写真を素材にモザイクアートの創作活動を実施。</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>19名</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="774 1061 1369 1274"> <tr> <td>開催日</td> <td>2021. 1. 16 (土)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>道の駅とよはし (豊橋市)</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>道の駅等において、廃棄される花を活用したブルームシャワーにより、フラワーカードの創作活動を実施 (中止)</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>一名</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="774 1305 1369 1556"> <tr> <td>開催日</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>「あいち観光まちづくりゼミ」のゼミ生が作成したまち歩きコースを芸術家とともに歩き、音を切り口にまちの魅力を発見するツアーを開催 (中止)</td> </tr> <tr> <td>来場者数</td> <td>一名</td> </tr> </table>	開催日	2021. 2. 13(土)	会場	国際展示場 大会議室	主な内容	ミニチュア写真家 田中達也氏によるトークショー 等	来場者数	一名	実施時期	2020. 10. 14 (水)	実施場所	杜の家 (名古屋市名東区)	主な内容	障害者施設において、専門家の指導のもと、あいちアール・ブリュットパートナーシップ事業応募作品等の創作活動を実施。	参加者	7名	実施時期	2020. 10. 25 (日)	実施場所	小幡緑地公園 (名古屋市守山区)	主な内容	生物とカメラの講師を招き、公園内を散策しながら発見した動植物等を解説・撮影。写真を素材にモザイクアートの創作活動を実施。	参加者	19名	開催日	2021. 1. 16 (土)	会場	道の駅とよはし (豊橋市)	主な内容	道の駅等において、廃棄される花を活用したブルームシャワーにより、フラワーカードの創作活動を実施 (中止)	来場者数	一名	開催日	—	会場	—	主な内容	「あいち観光まちづくりゼミ」のゼミ生が作成したまち歩きコースを芸術家とともに歩き、音を切り口にまちの魅力を発見するツアーを開催 (中止)	来場者数	一名
開催日	2021. 2. 13(土)																																								
会場	国際展示場 大会議室																																								
主な内容	ミニチュア写真家 田中達也氏によるトークショー 等																																								
来場者数	一名																																								
実施時期	2020. 10. 14 (水)																																								
実施場所	杜の家 (名古屋市名東区)																																								
主な内容	障害者施設において、専門家の指導のもと、あいちアール・ブリュットパートナーシップ事業応募作品等の創作活動を実施。																																								
参加者	7名																																								
実施時期	2020. 10. 25 (日)																																								
実施場所	小幡緑地公園 (名古屋市守山区)																																								
主な内容	生物とカメラの講師を招き、公園内を散策しながら発見した動植物等を解説・撮影。写真を素材にモザイクアートの創作活動を実施。																																								
参加者	19名																																								
開催日	2021. 1. 16 (土)																																								
会場	道の駅とよはし (豊橋市)																																								
主な内容	道の駅等において、廃棄される花を活用したブルームシャワーにより、フラワーカードの創作活動を実施 (中止)																																								
来場者数	一名																																								
開催日	—																																								
会場	—																																								
主な内容	「あいち観光まちづくりゼミ」のゼミ生が作成したまち歩きコースを芸術家とともに歩き、音を切り口にまちの魅力を発見するツアーを開催 (中止)																																								
来場者数	一名																																								
<p>⑫市町村との連携</p> <p>・「市町村文化行政ネットワーク会議」の開催</p>	<p>・第1回</p> <table border="1" data-bbox="774 1615 1369 1771"> <tr> <td>開催日</td> <td>2021. 1. 20 (水) ~ 22 (金)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>愛知芸術文化センター</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>劇場職員セミナーと共同開催</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>21名</td> </tr> </table> <p>・第2回</p> <table border="1" data-bbox="774 1818 1369 2004"> <tr> <td>開催日</td> <td>2021. 2. 12 (金)、2. 16 (火)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>あいち朝日遺跡ミュージアム</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>講演「朝日遺跡、あいち朝日遺跡ミュージアムについて」等</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>12名</td> </tr> </table>	開催日	2021. 1. 20 (水) ~ 22 (金)	会場	愛知芸術文化センター	主な内容	劇場職員セミナーと共同開催	参加者	21名	開催日	2021. 2. 12 (金)、2. 16 (火)	会場	あいち朝日遺跡ミュージアム	主な内容	講演「朝日遺跡、あいち朝日遺跡ミュージアムについて」等	参加者	12名																								
開催日	2021. 1. 20 (水) ~ 22 (金)																																								
会場	愛知芸術文化センター																																								
主な内容	劇場職員セミナーと共同開催																																								
参加者	21名																																								
開催日	2021. 2. 12 (金)、2. 16 (火)																																								
会場	あいち朝日遺跡ミュージアム																																								
主な内容	講演「朝日遺跡、あいち朝日遺跡ミュージアムについて」等																																								
参加者	12名																																								

取組内容	実績												
<p>③⑤芸術系大学等との連携</p> <p>・「愛知県立芸術大学管弦楽団」第31回定期演奏会</p>	<table border="1"> <tr> <td>開催日</td> <td>2020.11.27(金)</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>県芸術劇場コンサートホール</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td>指揮：ユベール・スターン 管弦楽：愛知県立芸術大学管弦楽団</td> </tr> <tr> <td>来場者</td> <td>630人</td> </tr> </table>	開催日	2020.11.27(金)	会場	県芸術劇場コンサートホール	主な内容	指揮：ユベール・スターン 管弦楽：愛知県立芸術大学管弦楽団	来場者	630人				
開催日	2020.11.27(金)												
会場	県芸術劇場コンサートホール												
主な内容	指揮：ユベール・スターン 管弦楽：愛知県立芸術大学管弦楽団												
来場者	630人												
<p>・地元芸術大学との連携による展示（芸術大学連携プロジェクト）<b>再掲(P23)</b></p> 	<p>・「アートラボあいち」で、3つの芸術大学（愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学）の卒業生等、16人が参加して展覧会を開催。 新型コロナウイルス感染症対策を適切に行いながら、計1,227人が来場し鑑賞した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催日</th> <th>来場者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知県立芸術大学主催展覧会</td> <td>2020.7.23(木・祝)～8.30(日)</td> <td>562人</td> </tr> <tr> <td>名古屋造形大学主催展覧会</td> <td>2020.9.25(金)～10.18(日)</td> <td>222人</td> </tr> <tr> <td>名古屋芸術大学主催展覧会</td> <td>2020.11.27(金)～12.20(日)</td> <td>443人</td> </tr> </tbody> </table> <p>開催場所：アートラボあいち</p>	区分	開催日	来場者数	愛知県立芸術大学主催展覧会	2020.7.23(木・祝)～8.30(日)	562人	名古屋造形大学主催展覧会	2020.9.25(金)～10.18(日)	222人	名古屋芸術大学主催展覧会	2020.11.27(金)～12.20(日)	443人
区分	開催日	来場者数											
愛知県立芸術大学主催展覧会	2020.7.23(木・祝)～8.30(日)	562人											
名古屋造形大学主催展覧会	2020.9.25(金)～10.18(日)	222人											
名古屋芸術大学主催展覧会	2020.11.27(金)～12.20(日)	443人											
<p>③⑥文化施設間の連携</p> <p>・県図書館において、愛知芸術文化センターで開催される企画展等にあわせ関連する図書館資料による企画・展示を行った</p> <p>・県芸術劇場・県美術館・県陶磁美術館と県図書館との共同企画 <b>再掲(P33)</b></p>	<p>・栄北エリアの文化施設が連携して実施するアートの祭典「久屋ぐるっとアート」に、県図書館の職員が蔵書を紹介する企画展示「読書の木に実がなりました！」で参加（新型コロナウイルス感染症の影響により職員派遣と蔵書の展示は中止）</p> <p>・アーツスペシャリストによる連続講座 場所：県図書館 5階 大会議室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>演 題</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020.10.28(水)</td> <td>『ラ・ボエーム』に見る人間関係とオペラスタッフのコミュニケーション (愛知県芸術劇場)</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>2020.11.25(水)</td> <td>文学・言葉と美術 (愛知県美術館)</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>2020.12.16(水)</td> <td>近代の人 宮沢賢治 (愛知県陶磁美術館)</td> <td>17人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	演 題	参加者	2020.10.28(水)	『ラ・ボエーム』に見る人間関係とオペラスタッフのコミュニケーション (愛知県芸術劇場)	20人	2020.11.25(水)	文学・言葉と美術 (愛知県美術館)	21人	2020.12.16(水)	近代の人 宮沢賢治 (愛知県陶磁美術館)	17人
開催日	演 題	参加者											
2020.10.28(水)	『ラ・ボエーム』に見る人間関係とオペラスタッフのコミュニケーション (愛知県芸術劇場)	20人											
2020.11.25(水)	文学・言葉と美術 (愛知県美術館)	21人											
2020.12.16(水)	近代の人 宮沢賢治 (愛知県陶磁美術館)	17人											
<p>・県芸術劇場における県内巡回公演 <b>再掲(P36)</b></p>	<p>・「えんどうまめとおひめさま」すごろく配布 新型コロナウイルス感染症の影響により公演を中止した。代替として『えんどうまめとおひめさま』の物語をモチーフにした「すごろく」を作成し、ウェブ上などで配布した。</p> <p>・「どうする!? アンデルセンさん」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020.8.5(水)、8(土)、9(日)</td> <td>県芸術劇場小ホール</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td>2020.8.7(金)、15(土)、20(木)</td> <td>名古屋市千種文化小劇場、名古屋市瑞穂文化小劇場、幸田町民会館</td> <td>133人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※社会的距離を取った新しい形での子ども向けパフォーマンスを創作し、県芸術劇場と、愛知県内の劇場3か所と連携してツアー公演を行った。</p>	開催日	会場	参加者数	2020.8.5(水)、8(土)、9(日)	県芸術劇場小ホール	51人	2020.8.7(金)、15(土)、20(木)	名古屋市千種文化小劇場、名古屋市瑞穂文化小劇場、幸田町民会館	133人			
開催日	会場	参加者数											
2020.8.5(水)、8(土)、9(日)	県芸術劇場小ホール	51人											
2020.8.7(金)、15(土)、20(木)	名古屋市千種文化小劇場、名古屋市瑞穂文化小劇場、幸田町民会館	133人											

取組内容	実績								
<p>・県陶磁美術館とあいち朝日遺跡ミュージアムとの連携（YAYOI・モダンデザイン）</p> 	<p>・「YAYOI・モダンデザイン —ニッポンの美、ここに始まる—」 再掲(P20)</p> <table border="1" data-bbox="759 349 1407 542"> <tr> <td>開催日</td> <td>2020.10.10（土）～12.13（日）56日間</td> </tr> <tr> <td>会場</td> <td>県陶磁美術館</td> </tr> <tr> <td>主な内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記念対談「弥生の美を語る」</li> <li>・考古学セミナー「あいちの考古学2020」等</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>観覧者数</td> <td>4,905人</td> </tr> </table>	開催日	2020.10.10（土）～12.13（日）56日間	会場	県陶磁美術館	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記念対談「弥生の美を語る」</li> <li>・考古学セミナー「あいちの考古学2020」等</li> </ul>	観覧者数	4,905人
開催日	2020.10.10（土）～12.13（日）56日間								
会場	県陶磁美術館								
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記念対談「弥生の美を語る」</li> <li>・考古学セミナー「あいちの考古学2020」等</li> </ul>								
観覧者数	4,905人								

## 数値目標の達成状況・評価

「あいち文化芸術振興計画 2022」では、計画の評価を行うために、16 の数値目標を設定しています。数値目標として設定した指標について、2019-2020 年度の達成状況・評価は以下のとおりです。なお、2020 年度の施設来館者、劇場稼働率については、新型コロナウイルス感染症の影響による減少であるため、評価しないこととする。（「-」で表記）

評価区分	目標達成状況（評価の目安）	
A	予定を上回る効果があり、着実に進捗	100%以上
B	予定どおり進んでおり、概ね順調に進捗	80%以上 100%未満
C	一部で予定どおり進んでおらず、やや進捗が遅れている	60%以上 80%未満
D	予定どおり進んでおらず、進捗が遅れている	60%未満

	指標	数値目標	策定時の実績	2019 実績	2020 実績	2020 評価
創造・発信 「世界・未来へ」 「愛知発」の	1 「あいちトリエンナーレ」来場者アンケートにおける満足度	開催年度に80%以上	80% (H28/2016)	72.40%	-	-
	2 施設年間来館者数 (1) 愛知芸術文化センター栄施設	毎年度 200 万人以上	185 万人 (H27/2015)	171 万人	50 万人	-
	3 施設年間来館者数 (2) 県図書館	毎年度 55 万人以上	55 万人 (H29/2017)	50 万人	34 万人	-
	4 施設年間来館者数 (3) 県陶磁美術館	毎年度 10 万人以上	6.8 万人 (H29/2017)	7.6 万人	4.9 万人	-
	5 県芸術劇場稼働率	毎年度 80% 以上	83.3% (H27/2015)	75.8%	45.6%	-
	6 アーツ・チャレンジの応募数	実施年度に90件以上	90件 (H29/2017)	-	-	-
県民が等しく文化芸術に親しむこと ができる環境の整備	7 県芸術劇場主催のファミリー向け公演における新規来場者率	毎年度 30% 以上	30.7% (H29/2017)	31.5%	20.0%	-
	8 WEB サイトアクセス数 (1) 愛知芸術文化センタートップページ(※)	毎年度 200 万回以上	106 万回 (H27/2015)	133 万回 (WEB ページ全体 2,115 万回)	96 万回 (WEB ページ全体 1,750 万回)	B
	9 WEB サイトアクセス数 (2) 県図書館蔵書検索	毎年度 180 万回以上	178 万回 (H29/2017)	170 万回	179 万回	B
	10 WEB サイトアクセス数 (3) 生涯学習情報システム「学びネットあいち」トップページ	毎年度、前年度を上回る	11 万回 (H29/2017)	20 万回	15 万回	B
	11 劇場と子ども 7 万人プロジェクトの賛同施設数	2023 年度までに 20 施設以上	1 施設 (H29/2017)	4 施設	27 施設	A
	12 県美術館と県陶磁美術館が実施する移動美術館、サテライト展示、県政お届け講座等の回数	毎年度 15 回以上	15 回 (H29/2017)	14 回	5 回	B
愛知の文化芸術のポテンシャルを活かした地域力	13 愛知に誇ることのできる文化資源があると考える人の割合 (%)	2022 年度までに 60% 以上	-	-	47.4%	-
	14 清洲貝殻山貝塚資料館の拡充整備	2020 年秋までに整備	-	-	2020.11.22 オープン	B
	15 beyond2020 認証件数(件/累計)	2020 年度までの累計 500 件以上	31 件 (H29/2017)	610 件 (累計)	676 件 (累計)	A
	16 文化芸術振興に係る計画を策定している県内市町村の数	2022 年度までに現在より増加	16 (H29/2017)	17	19	-

※ 2019 年度より、トップページを経由することなく、各ページにアクセスできるようになったため、トップページへのアクセス数は減少している。よって、参考に WEB ページ全体へのアクセス数を ( ) 内に記載している。

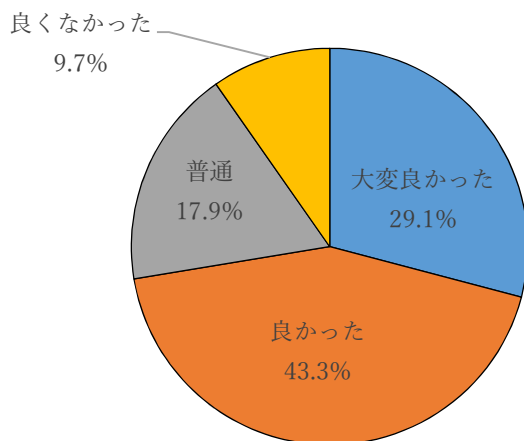
## 1 「あいちトリエンナーレ」来場者アンケートにおける満足度

- ・2020年度はあいちトリエンナーレの開催年度ではなかったため、この指標における数値実績はない。

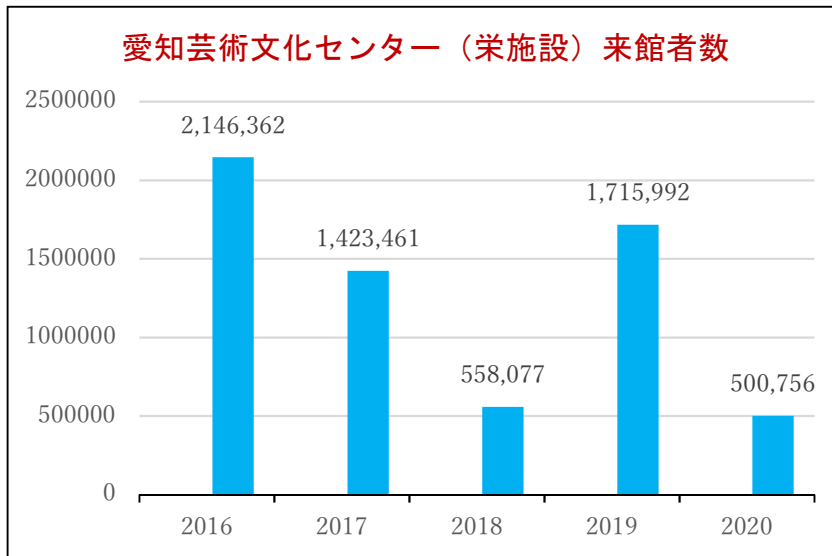
<参考> 「あいちトリエンナーレ2019」における来場者アンケートにおける満足度

- ・「あいちトリエンナーレ2019」のアンケートにおける満足度は、72.4%であった。(来場者全体の満足度としては、目標(80%以上)を下回った。)
- ・来場者数が過去最大となるとともに、「大変良かった」という感想の割合も過去最高となったが、来場者全体のアンケートにおける満足度としては、目標の80%を達成することができなかつたため、新たな芸術祭においては、来場者の満足度をより向上させていくために現代アートの魅力を幅広く伝えるとともに、地域の活性化や魅力向上に繋がる芸術祭を検討していく必要がある。

「あいちトリエンナーレ2019」  
来場者アンケートにおける満足度



## 2 施設年間来館者数（愛知芸術文化センター栄施設）



・大規模改修による休館（2018年度）

県美術館 （ギャラリー）	2017. 11. 28～2018. 11. 25
（所蔵品・企画展示室）	2017. 11. 20～2019. 3. 31
県芸術劇場	2018. 4. 1～2019. 4. 22
アートスペース	2017. 11. 28～2018. 7. 22

・新型コロナウイルス感染症の影響による休館

県美術館	2020. 4. 6～5. 31
県芸術劇場	2020. 4. 25～5. 31

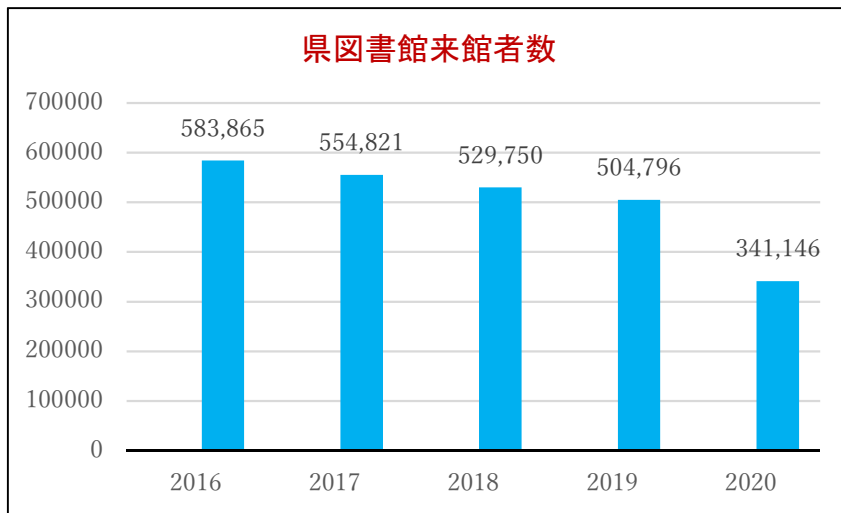
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年4月25日から2020年5月31日にかけて臨時休館（県美術館は、2020年4月6日から2020年5月31日にかけて臨時休館）し、展覧会等が中止となったこと等が影響し、来館者数は、前年度と比較して、1,715,992人から500,756人となり、70.9%減となった。
- ・2020年6月以降は、新型コロナウイルス感染症対策を実施し、安全に鑑賞できる環境を整備するとともに、引き続き魅力的な展覧会等の開催に努めた。
- ・文化芸術活動を支援するため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を理由に施設利用の中止を行う場合は、事前に納付のあった施設利用料の全額還付を行った。また、愛知県芸術劇場の施設利用料金を7月1日利用分から50%減免した。さらには、施設利用料金の支払い期限を、2020年12月1日から6か月前から1か月前までに変更した。
- ・県内文化施設の所蔵作品等を題材とした映像作品の制作をアーティストに依頼し、特設ウェブサイトを通じたオンライン配信（AICHI\$ONLINE）を実施することにより、多様な鑑賞機会の提供を図った。
- ・今後も多くの方に来ていただけるよう文化情報の発信に努めるとともに、映像事業、普及・教育事業等を実施し、多様な鑑賞機会の提供を図っていく。

（参考）オンライン配信をした公演の視聴数等

公演の視聴数（回）	32,970
講習の参加者数（人）	316
計	33,759



### 3 施設年間来館者数（県図書館）



・新型コロナウイルス感染症の影響による休館

休館期間：2020. 3. 10～6. 1

- ・来館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年3月10日から6月1日まで休館したことが大きく、前年度と比較して、504,796人から341,146人となり、32.4%減となった。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況については今後も予断を許さないが、防止策を講じながら、県民のニーズに即した資料収集やYotteko（ヨッテコ）等での企画展示の実施、学習スペースの提供など来館者サービスの充実に努める。
- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大を防ぐため、新しい貸出サービスとして、県民が来館せずともパソコン、スマートフォン、タブレット等の端末を使用し、在宅等でインターネットを経由して書籍が利用できる環境を整備した。（電子書籍サービス 2021年1月26日利用開始）
- ・今後も利用者ニーズに即した資料収集の重点化や、エントランスを利用した自主企画事業の充実、学習スペースの提供といった利用者サービスの向上に努め、来館者数の確保に努めていくとともに、電子書籍サービスの充実も図る。

### 4 施設年間来館者数（県陶磁美術館）



・新型コロナウイルス感染症の影響による休館

休館期間：2020. 4. 11～5. 18

- ・来館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月11日から2020年5月18日まで休館し、開館後も外出自粛により来館者数は伸び悩み、前年度と比較して、76,639人から49,468人となり、35.4%減となった。
- ・来館者増のための具体策として、2019度に引き続き、SNSを活用した情報発信に取り組むほか、新

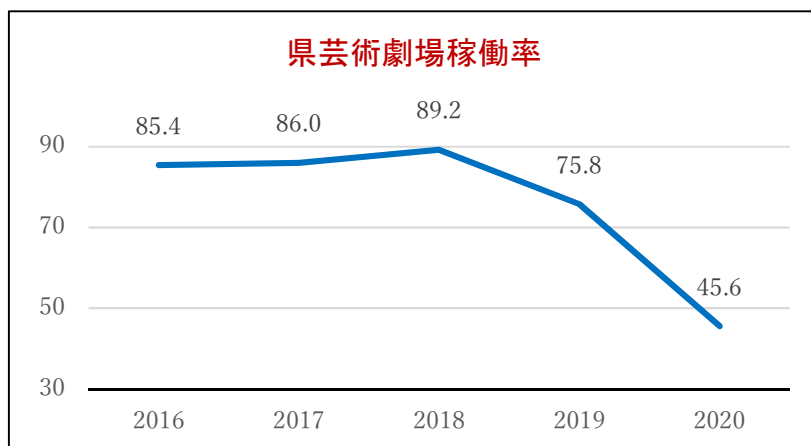
たに、陶製こま犬や現代陶芸を使った展示や敷地内の案内表示のリニューアルを行い、広報の強化、魅力的な展示を行っていく。

- ・緊急事態宣言の発出などにより外出を控えた方々にも展覧会を鑑賞できるよう、2つの展覧会の模様を、オンラインで配信した。
- ・新型コロナウイルス感染症への対策の一つとして、「在宅」で、オンライン配信された動画を見ながら、やきものづくりを体験できる在宅陶芸「おうちで織部」を開催した。

(参考) オンライン配信をした展覧会の視聴数等

展覧会の視聴数 (回)	37,000
陶芸体験の動画再生数 (回)	9,148
計	46,148

## 5 県芸術劇場稼働率



- ・県芸術劇場は、新型コロナウイルス感染症の影響により、稼働率は、前年度と比較して、75.8%から45.6%となり、30.2ポイント減となった。
- ・新型コロナウイルス感染症に対しては、2020年7月1日から、県芸術劇場（大ホール、コンサートホール、小ホール）の利用料金を50%減免するなどの対応を行っている。今後も施設利用料金の減免等を通して、文化芸術活動の継続支援を行い、併せて稼働率の向上も図っていき、収束後も引き続き当劇場を利用していただけるよう、適切なサービスの提供に努める。

## 6 アーツ・チャレンジの応募数

- ・アーツ・チャレンジは国際芸術祭開催年の前年に実施しており、2020年度は未実施であったため、この指標における数値実績はない。
- ・2021年度は、「ARTS CHALLENGE (アーツ・チャレンジ) 2022」を、国際芸術祭「あいち2022」のイベントとして開催する。

<開催概要>

○作品プランの募集

- ・若手アーティストから愛知芸術文化センターのパブリック・スペースや展示室（アートスペースX）を活用する作品プランを募集
- ・テーマ I Got Up 生きなおす空間

・募集期間 2021年7月3日(土)～8月30日(月)

○審査・選考 2021年9月中旬～10月初旬

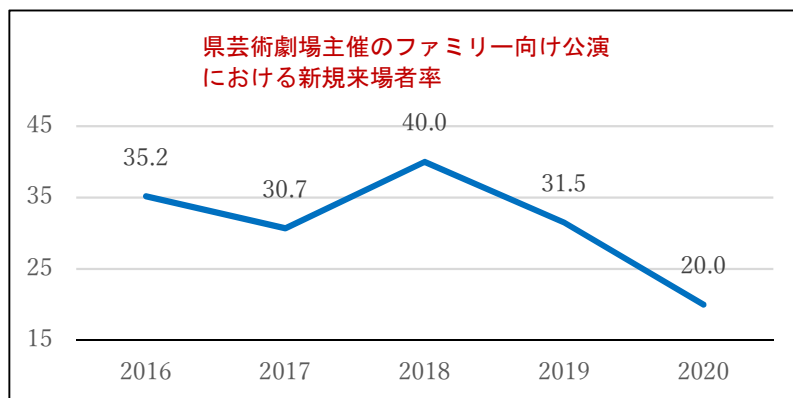
○入選作品の展示

・展示期間 2022年1月22日(土)～2月6日(日)

・会場 愛知芸術文化センター アートスペース X 及びパブリック・スペース

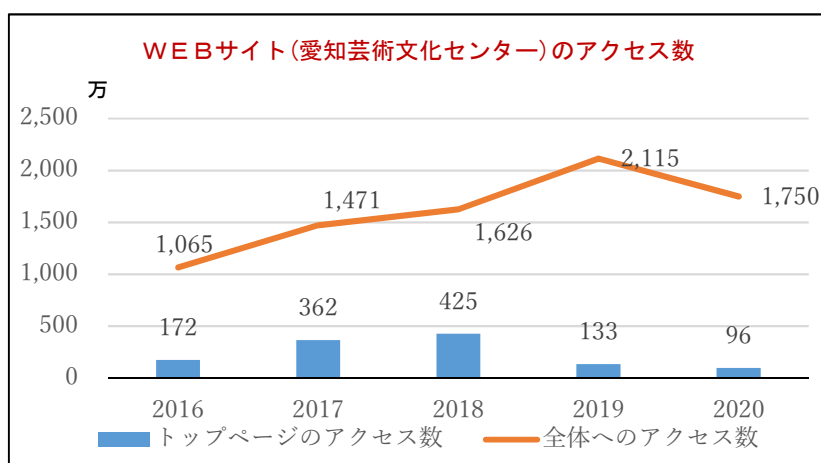


## 7 県芸術劇場主催のファミリー向け公演における新規来場者率



- ・新規来場者率の減少については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、紙アンケートではなくウェブアンケートを導入したことにより、アンケート自体の回収率が低くなったことが原因と考えられる。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により新規来場者率の調査に支障をきたしている状況であるが、教育機関を通じたPRなど、事業の効果的な周知に努めて新規来場者率を維持しつつ、さらなるプログラムの充実により、幅広い世代が楽しめる魅力的な舞台芸術を提供し、舞台芸術に親しむ客層の拡大を図っていく。

## 8 WEBサイトアクセス数(愛知芸術文化センタートップページ)

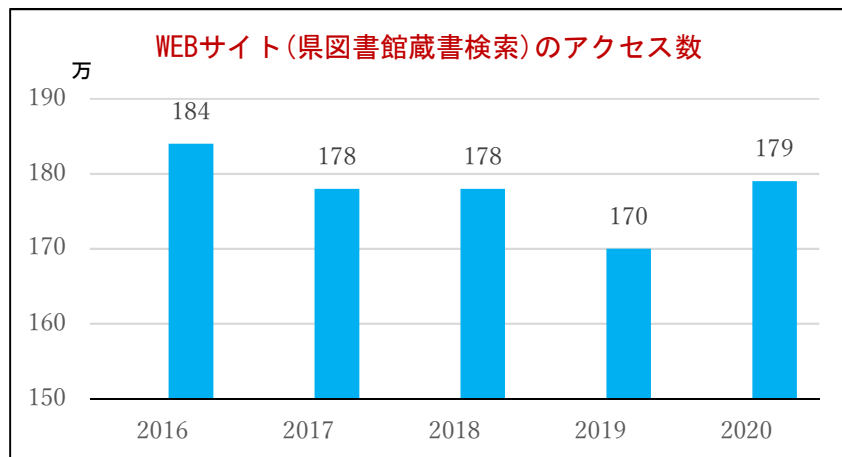


※2019年度より、トップページを経由することなく、各ページにアクセスすることができるようになったため、トップページへのアクセス数と参考にWEBページ全体へのアクセス数を掲載している。

- ・新型コロナウイルス感染症による施設休館等の影響により、愛知芸術文化センタートップページのアクセス数は、前年度と比較して、133万回から96万回となり、37万回減少しており、センター全体へのアクセス数も1,750万回となっており、2019年度の2,115万回から365万回減少している。

- ・引き続きコンテンツの魅力化を図り、ページ全体のアクセス数増加を目指していく。
- ・県内文化施設の所蔵作品等を題材とした映像作品の制作をアーティストに依頼し、特設ウェブサイトを通したオンライン配信（AICHI5ONLINE）を実施し、アクセス数は、2021年3月31日現在で29,251件であった。

## 9 WEB サイトアクセス数（県図書館蔵書検索）

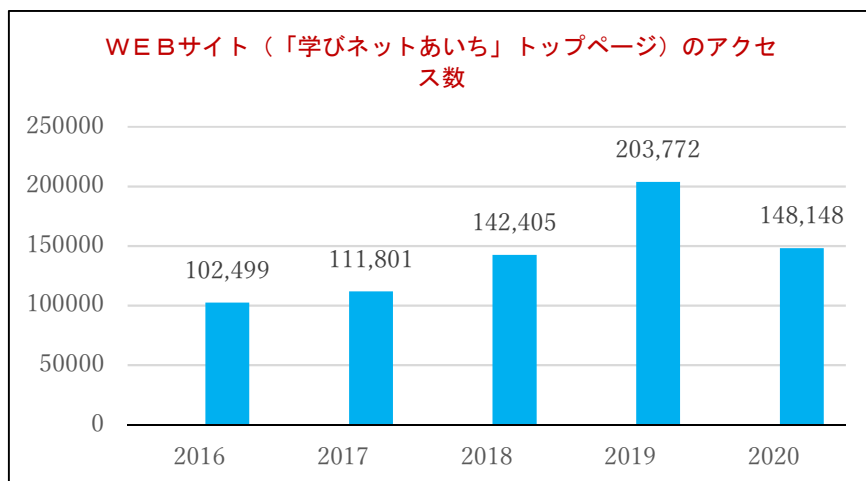


※2018年度から、スマートフォンや携帯端末からのアクセス数を含む

- ・県図書館蔵書検索のアクセス数は、179万回となった。数値目標の「毎年度180万回以上」に対して、達成率は99.4%であり、若干下回る結果となった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛などの「新しい生活様式」が要望されたこと、また2021年1月から電子書籍サービスを開始したことにより、2018、2019年度に比べて検索回数は増加を見た。今後も「新しい生活様式」を意識した県民の方の情報ニーズを踏まえ、電子書籍も含めた魅力ある蔵書構成を図ることに努める。

※参考 電子書籍閲覧数 47,847件（2021年1月26日から2021年5月31日の実績）

## 10 WEB サイトアクセス数（生涯学習情報システム「学びネットあいち」トップページ）



- ・「学びネットあいち」トップページのアクセス数は、前年度と比較して、27.2%減となった。新型コロナ

ウイルス感染症の影響により講座・イベント等が中止となり、情報登録件数が減少したためと考えられる。

- ・県民の高度化かつ多様化する学習ニーズに対応するため、常に魅力的な学習情報を提供するとともに、継続的に県民の関心を保ち続けることが課題である。

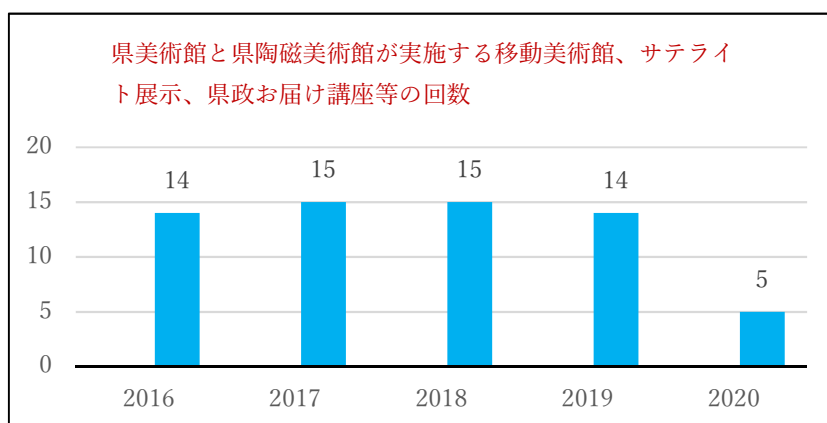
## 11 劇場と子ども7万人プロジェクトの賛同施設数

- ・劇場と子ども7万人プロジェクトの賛同施設数は、前年度の4施設から23施設が増え、27施設となった。
- ・数値目標である「2023年度までの20施設以上」を達成したが、引き続き、県芸術劇場と市町村の共催公演を継続するとともに、県芸術劇場と共催して実施した市町村に対し、単独で学校招待公演を開催するよう働きかける。また、既に単独で実施している市町村も含め、学校招待公演を実施している市町村を当プロジェクトの賛同者として位置づけ、協力して当事業の充実を図っていく。

### <劇場と子ども7万人プロジェクトの賛同施設> (27施設)

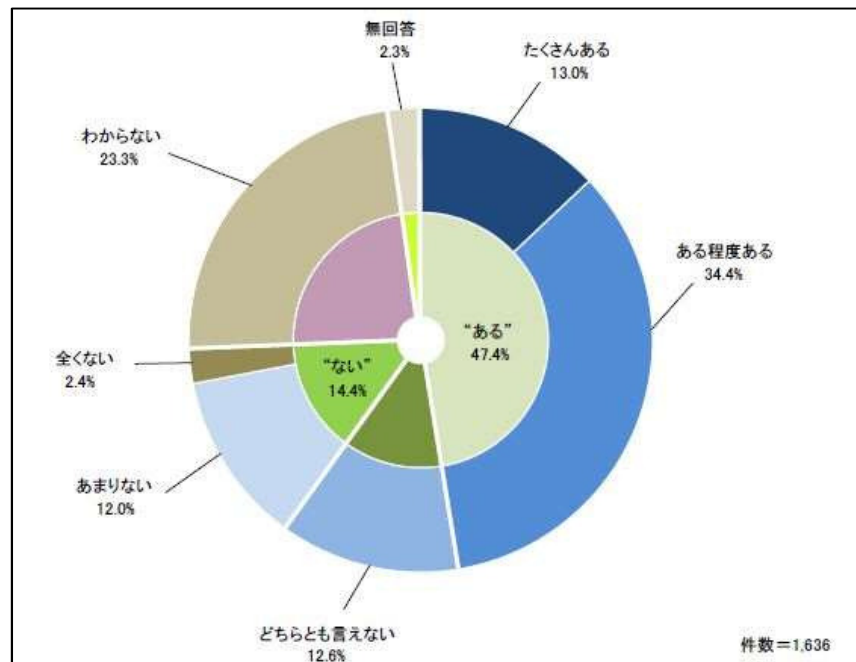
市町村	施設
名古屋市	名古屋市芸術創造センター、名古屋市青少年文化センター(アートピア)、名古屋市中村文化小劇場(中村公園文化プラザ)、名古屋市南文化小劇場、名古屋市西文化小劇場、名古屋市港文化小劇場、名古屋市天白文化小劇場、名古屋市名東文化小劇場、名古屋市守山文化小劇場、名古屋市北文化小劇場、名古屋市緑文化小劇場、名古屋市東文化小劇場、名古屋市熱田文化小劇場、名古屋市千種文化小劇場(ちくさ座)、名古屋市中川文化小劇場、名古屋市瑞穂文化小劇場、名古屋市昭和文化小劇場、名古屋能楽堂
半田市	半田市福祉文化会館(雁宿ホール)
春日井市	春日井市民会館
碧南市	碧南市芸術文化ホール(エメラルドホール)
西尾市	西尾市文化会館
小牧市	小牧市市民会館
新城市	新城地域文化広場(新城文化会館)
知立市	知立市文化会館(パティオ池鯉鮒)
みよし市	みよし市勤労文化会館(文化センターサンアート)
設楽町 東栄町 豊根村	奥三河総合センター

## 12 県美術館と県陶磁美術館が実施する移動美術館、サテライト展示、県政お届け講座等の回数



- ・移動美術館、サテライト展示、県政お届け講座等の回数は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動美術館の中止のため、前年度より9回減少した。
- ・県広報広聴課が受付窓口となっている「県政お届け講座」について、実施依頼がくるよう引き続き各美術館の魅力向上とPRに努める。
- ・県陶磁美術館は、ワークショップ等アウトリーチ活動を積極的に実施しており、引き続き、館外における教育普及事業の充実を図っていく。

## 13 愛知に誇ることのできる文化資源があると考える人の割合（％）



- ・2020年度に実施した「県政世論調査」において、「愛知県には、誇ることのできる文化芸術資源がある」と考える人の割合」を調査した結果、47.4%であった。2018年度に実施した同調査結果では、49.9%であり、2.5ポイント減となった。
- ・60歳代より上の世代は「ある」と回答した人が50%以上であったが、20歳代は42.2%、30歳代は35.1%と低くなっている。どの世代にも「愛知に誇ることのできる文化芸術資源がある」と考えてもらえるよう、愛知芸術文化センターを始めとした文化施設、国際芸術祭を始めとした文化イベントによる発

信力の向上、また、伝統芸能や文化財、アニメーションや食文化といった本県が誇る文化資源を活かした地域力の向上に努めていく必要がある。

#### 14 清洲貝殻山貝塚資料館の拡充整備

---

- ・東海地方最大級の弥生集落である朝日遺跡の魅力発信する「あいち朝日遺跡ミュージアム（清洲貝殻山貝塚資料館）」の拡充整備については、新資料館の建設工事、展示物の製作、既設資料館の改修、史跡の整備を進め、2020年11月22日に開館した。引き続き東海地方最大の弥生集落である朝日遺跡の魅力発信し、運営を行なっていく。
- ・入館者は、2020年度は、24,430人であり、清洲貝殻山貝塚資料館の2017年度（休館前、建築工事着工前）の10,178人と比べ増加している。



#### 15 beyond2020 認証件数（件/累計）

---

- ・beyond2020 プログラムについては、2017年10月から認証組織となって認証事務を開始し、beyond2020 プログラムの認知度を高めるために積極的な広報活動を行い、日本文化の魅力発信するとともに、多様性・国際性に配慮した多様な文化イベントの認証を行っている。
- ・2020年度末でbeyond2020 認証件数は累計676件となり、数値目標である「2020年度までの累計500件以上」を大幅に上回り達成した。

#### 16 文化芸術振興に係る計画を策定している県内市町村の数

---

- ・県内54市町村のうち、文化芸術振興に係る計画を策定している県内市町村の数については、前年度から安城市、知立市の2市が増加し、計19市町であり、引き続き文化芸術振興に係る計画を策定している県内市町村の数が増えるよう、県内市町村への啓発活動や情報提供に努めていく。

<文化芸術振興に係る計画を策定している県内市町村>

名古屋市、豊橋市、岡崎市、瀬戸市、春日井市、豊川市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知立市、尾張旭市、長久手市、武豊町（19市町村）

### ◆新型コロナウイルス感染症に係る対応等

2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な文化芸術関係のイベントが中止・延期となり、また、愛知県独自の緊急事態措置及び国の緊急事態宣言発出による施設の休業要請を受けて、愛知芸術文化センター及び県陶磁美術館については、2020年度当初に休館となった。休館からの再開後も、外出自粛等により、中止や開催期間を短縮した事業もあったが、感染対策を講じた上で、参加者も少なくなるなど例年の規模で実施できないものもあったが、様々な創意工夫をし、事業を展開した。また、オンライン配信というこれまでにない新しい手法での研修や芸術鑑賞を実施した。

一方で、県内の文化芸術活動の継続を支援するため、活動の場が減少した文化芸術活動関係者への本県独自の文化芸術活動応援金の交付や、愛知県芸術劇場の施設利用料金を50%減免するなど文化芸術活動関係者への支援を実施した。更に、活動の縮小を余儀なくされているアーティストやクリエイター、伝統文化芸術活動者へ活動の場を提供し、その活動をオンライン配信により、広く県民に文化芸術の魅力を発信した。

新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数などの数値目標が達成できない状況であり、以前の水準に戻ることは時間がかかると考えられるが、今後も、感染症対策を講じ、魅力的な展覧会や公演等を実施し、またオンライン配信など様々な手法も活用しながら、計画に沿った事業を展開していく。

### ◆基本目標1 世界・未来へ“愛知発”の創造・発信

世界に創造・発信する愛知からの文化芸術としては、2022年に開催する国際芸術祭「あいち2022」に向けて、2020年9月に組織委員会を設立、企画概要を公表するなど開催準備を行った。引き続き愛知から文化芸術を世界に発信できる国際芸術祭を目指していく。

愛知芸術文化センター等を拠点とした芸術創造の展開については、新型コロナウイルス感染症の影響の中で、県美術館では、県内文化施設の所蔵作品等を題材とした映像作品の制作をアーティストに委託し、Webサイトを通したオンライン配信(AICHI≠ONLINE)の実施や、美術品等取得基金を活用して若手作家の現代美術作品を重点的に購入し、コレクション展で公開した。また、愛知県芸術劇場の施設利用料金を50%減免するなど、文化芸術活動関係者への支援を実施した。県図書館では、新型コロナウイルス感染症の影響により「新しい生活様式」が求められる中で、非来館型サービスの充実を図るため、電子書籍サービスを導入した。

県陶磁美術館では、緊急事態宣言の発出などにより外出を控えた方々にも展覧会を御覧いただけるよう、2つの展覧会の模様のオンラインでの配信や、「在宅」で、オンライン配信された動画を見ながら、やきものづくりを体験できる在宅陶芸「おうちで織部」の開催など、創意工夫を重ね、多種多様な事業を実施した。

なお、2020年3月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各施設休館等の措置をとっていたこともあり、施設稼働率や来館者数は目標に達していないが、今後とも、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ、多様な文化芸術を創造・発信していく。

文化芸術を担う人材育成については、「アートラボあいち」での芸術系大学と連携した展覧会の開催、陶磁美術館における若手アーティストを講師とした「陶芸教室」の開催、県芸術劇場における、「舞台芸術人



材養成ラボ」の実施や、勅使川原芸術監督による地元ダンサー育成プログラムの実施、現代美術地域展開事業における、若手現代美術作家等による現代美術作品の制作・展示、県図書館における、司書を育成するための研修などを実施した。今後も、集合しての研修をオンラインなどの手法で実施するなど、感染対策を講じ、文化芸術を担う多様な人材の育成に引き続き取り組んでいく。

## ◆基本目標2 県民が等しく文化芸術に親しむことができる環境の整備

新型コロナウイルス感染症の影響で美術館などに出かけて文化芸術を直接供受する機会が減少する中、県として次の事業を行った。

県民の鑑賞機会の充実については、県内文化施設の所蔵作品等を題材とした映像作品（AICHI×ONLINE）や、伝統的な文化芸術活動の魅力を伝える映像作品（愛知県伝統文化活動緊急支援事業「伎芸精髓（ぎげいせいずい） あいちのエスプリ」）のオンライン配信の実施、また「在宅」で、オンライン配信された動画をみながら、やきものづくりを体験できる在宅陶芸「おうちで織部」を開催するなど、オンライン配信を活用した事業を実施した。

また、県芸術劇場における車椅子スペースやおよこ室の活用、聴覚障害者や視覚障害者への鑑賞サポート、県内劇場やアーティストのネットワークを活かした公演の実施、地域の文化施設等と連携したワークショップや講座、サテライト展示等の開催により、県民の誰もが気軽に文化芸術を鑑賞できる機会の充実を図った。

子どもの文化芸術活動の充実については、県芸術劇場において、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業もあるが、オンラインでの実施や感染予防に配慮した作品の創作・上演等を実施し、高校生のゲネプロへの無料招待を実施し、質の高い舞台芸術の体験機会の拡大・充実を図った。また、家族で楽しめる「ファミリー・プログラム」を実施し、子どもを中心に幅広い年齢層が芸術文化に触れる機会を提供した。

高齢者・障害者等の文化芸術活動の充実については、地域における社会活動の中核を担う人材の養成する「あいちシルバーカレッジ」が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、昨年度から引き続き、生涯学習情報システム「学びネットあいち」による学習情報の提供を行った。また、「あいちオール・ブリュット展」の開催により、障害者の芸術・文化活動を通じた社会参加と障害の有無をこえた交流を図った。

今後も、新型コロナウイルス感染症により影響をうける文化芸術団体等の活動継続を支援し、年齢や障害などにかかわらず県民が文化芸術に親しむことができるよう、環境の整備、鑑賞機会の充実に引き続き取り組んでいく。

## ◆基本目標3 愛知の文化芸術のポテンシャルを活かした地域力の向上

愛知の文化資源としては、伝統的工芸品等の販路開拓への支援を行うなど、モノづくり文化を活かした地域力の向上や、アニメ、ゲーム、コスプレ等の「ポップカルチャー」を観光資源として捉え、「あいちポップカルチャーフェスティバル」をオンラインで開催するなど、地域の活性化につなげた。

伝統芸能や文化財等の継承と発展については、「あいち山車まつり日本一協議会」の活動支援等による県内外への発信のほか、東海地方最大の弥生集落である朝日遺跡の魅力を発信する「あいち朝日遺跡ミュージアム」を2020年11月22日に開館した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により活動の縮小を余儀なくされている山車まつり保存団体に対し、あいち山車まつり緊急支援金を交付した。

様々な分野や主体との連携・協働については、「文化芸術連携推進事業」により、愛知の多様な文化資源

を活用し、関連分野と連携したワークショップの開催や、県内劇場やアーティストのネットワークを活かし、文化庁受託事業である「ジャパン・ライブエール・プロジェクト@あいち 2020」を実施したほか、市町村や文化芸術団体、芸術系大学との連携、文化施設間の連携事業を実施してきた。引き続き、様々な分野や主体との連携事業を一層推進することで、地域力の向上を図っていく。

## 有識者意見

### ◆事業成果の評価・検証について

- 昨年度はコロナ禍のなかで、現場では苦勞して事業を展開していく道を探りながらやっていたことがわかる。
- 県は独自のコロナの支援事業を実施し、全体としてはよくやっている。これは評価すべきだと思う。
- 昨年度は継続につなげる一年間で、事業を途絶えさせないということが目的の一つだったと思う。2020年度に頑張っ、なんとか継続につなげたことが、2021年度につながっている。ただ、コロナ対策の記載が目立つのは残念である。
- 文化芸術活動応援金により、文化芸術に携わる者や担い手の活動を支えたことは誇っていいことである。また、県美術館での若手作家の現代芸術作品の購入は、次世代の芸術家への支援という面においても有意義である。
- 2021年度もコロナ禍の状況のなかで、どう支援するかを考えていく必要がある。現場は何を求めているか聞き取りをして、対応できることを考えるべきである。
- 各施策・事業がそれぞれで完結して終了しているのではなく、それぞれの施策・事業がどう関係しているのかが見えるマップのようなものがあるとよいと思う。
- 3つの目標、9つの基本課題、37の主な施策と、どんどん細分化している。落とし込み、分けると楽だが、それぞれでやって終わりのようになってくる。

### ◆主な施策の実施状況について

- 基本目標1について、愛知県は色々な文化が根付いているので、もっと文化芸術の発信ができるのではないかという思いがある。可能性がありながら、今ひとつ伸び悩んでいると思う。
- 来年度開催の国際芸術祭「あいち2022」は、大林組の大林剛郎さんが組織委員会会長に、森美術館の片岡真実さんが芸術監督に就任され、民間の力をどう取り入れていくか期待している。
- 芸術文化センターのアートライブラリーについて、設立当時は先端の書籍があったが、最近はそのまま残っている状況で機能していない。ある分野に特化するなどして、工夫して活性化を図るべきである。
- 図書館は、気軽に本に触れていただく施設であり、居心地の良さをもう少し出すとよいと思う。蔵書などを管理する方に気がいってしまうと、来館者が緊張してしまう。そういった雰囲気を解消することが必要だと思う。
- 図書館の電子書籍サービスについては、良い取組である。電子書籍は読み上げ、朗読サービスに対応していて、目の不自由な人にも有益、バリアフリーの重要な可能性を示唆している。
- 陶磁美術館については、誇っていいものだと思う。ただ、立地の問題があるため、マネジメントが大事である。
- アートマネジメントができる人材については、例えば音楽、演奏活動といった専門領域を持っているが、一つだけの狭い視野ではなく、専門分野プラスアルファを持つことが必要である。別の分野を併せ持つことによりマネジメントができ、他の分野の何かと結びつくことにより新たな発想につながる。
- 基本目標2については、他の自治体と比べて、手厚く、幅広く、一生懸命やっていると思う。子どもたちや障害者のことも含め、もう少し広く活動を広げていけると特徴がでてくるかと思う。
- 劇場と子ども7万人プロジェクトの賛同施設について、自主事業を積極的に行っている施設は賛同してくれているが、そうでない施設は賛同していない。

- 子どもや高齢者はコロナ禍で文化に触れる機会が減り、損失が生じているが、オンラインという手段で、これまで文化芸術に触れていない人にも、新たな機会ができた。
- 文化芸術に触れる機会がない人について、触れる機会のなかった理由を把握し、バリアを取り除いていく、興味がない理由も深掘りしていきたいところ。学校での体験などで、文化芸術に触れたいのに触れられない人を減らしていく。
- オンラインには、事業を継続する効果と、普及啓発的な効果があるので、そこを活かしていければ、今後の愛知県の文化が芽吹くと思う。オンラインが劇場等に足を運ぶきっかけになるようなアウトリーチ的なコンテンツになっていくと思う。また、オンラインのための人材も必要である。
- 実際の会場と同時にオンライン配信すると、会場に来られない人も参加できる。事業を計画する際に、オンライン配信を前提に考えればよい。図録などもオンラインで作成することも考えられる。
- 伝統芸能はもともと脆弱になっているところに、コロナ禍でそれがより現れてくると思う。民俗芸能大会については、発表だけでなく、悩みや先進事例を共有するとか、考える場をつくとよい。
- 市町村との連携は、現場どうしの連携があるとよい。また、市町村との連携事業がうまくいった場合には、評価できるような仕組みがあると良い。
- 地域の民俗芸能を伝承している団体は、プロと言うよりボランティアのようなものもあるが、きちんと団体・法人として、成立しているのが理想である。
- アートマネジメントや組織として成り立たせていくNPOの支援など、零細団体の担い手の足腰を強くしていけるとよい。団体に、自分たちは経営体なのだとして認識してもらい、事業者として活動していけるよう自立をサポートすることが必要である。
- アフターコロナを考えると、SNSやWEBをどのように活用していくかが大切だろう。
- 多くの人が、知り合いのSNSなどのつながりから公演等を知り、劇場に足を運んでいる。つながりをどうつくるか。これをみたら、次はこれがあるよというような広報をすると良い。

#### ◆数値目標の達成状況・評価について

- 2020年度は、コロナに巻き込まれた一年で、大変な思いをした一年である。県美術館の浮世絵展も3日で終わった。そういう意味では来館者数や稼働率といった数値的な評価が下がったことは、やむを得ないと思う。
- 数値目標については、新型コロナウイルス感染症の影響のため、来場者数減などの結果なのでこぼこは気にしない。
- 数値目標は、各施策を達成したことを示すものになっていない。成果を現すため報告書で補っていくとよい。
- 国際芸術祭の満足度については、発信したい相手の満足度を考えるとよい。地元の人だけが満足するものだと、発信を測る指標にならない。
- 来館者数については、足を運びたくても運べなかった人もいる。次の計画で、オンラインも評価の対象にすると良い。
- 文化の目標について、数値が示されていることで比較ができ、わかりやすいので、定量的な目標はあってよい。定性的な目標を評価するには、外部の評価委員会の評価となる。